SONY

3-076-966-**03**(2)

BSデジタルハイビジョンチューナー内蔵
ブルーレイディスクレコーダー

BDZ-S77

取扱説明書（接続と準備編）

お買い上げいただきありがとうございます。

はじめにお読みください。操作については、別冊の「操作」編をご覧ください。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「操作」編、「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

この取扱説明書での放送の表記について

地上波
従来の、NHKや民放各局のテレビ放送（VHF/UHF）です。地上にある電波塔や中継塔から放送信号が送られるため地上波と呼びます。

BS（またはBSデジタル）
2000年12月に本放送を開始したBSデジタル放送です。
例：BS放送、BSチャンネル、BSテレビ、BSラジオ、BSデータなど

BSアナログ
従来からのBSアナログチューナー内蔵テレビやビデオで受信できるBSアナログ放送の4チャンネル（NHK衛星第一／第二、NHKハイビジョン、WOWOW ）と、独立音声ラジオ放送（St. GIGA）です。
例：BSアナログ放送、BSアナログチューナー内蔵テレビ、BSアナログチューナー内蔵ビデオなど

各種設定

必ずお読みください

録画についてのご注意

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

本機を使用中、万一不具合により録画・録音されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

- 著作権保護のための信号が入っている放送やソフトを録画すると、映像・音声信号は記録されません。あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、無許諾のディスク（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクは再生することができません。

録画防止機能について

BSデジタルチューナーや別売りのデジタルCSチューナーの番組をご視聴の場合、番組に録画防止機能（コピーガード）がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

画面分割機能について

本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、2画面分割機能などを利用して、画面の分割表示や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

地上波番組表（EPG）についてのご注意

- 「接続と準備」が終わってから地上波番組表データの受信が終了するまでに、1日程度かかることがあります。地上波番組表データの受信/更新中は、地上波番組表は空欄になります。
- お住まいの地域や電波状況によっては、地上波番組表データを受信できない場合があります。また、気象条件などにより、地上波番組表データを受信/更新できないこともあります。これらの場合、地上波番組表は空欄になります。
- 本機の日付と時刻が正しく設定されていないと、地上波番組表データを受信/更新できません。
- 放送局側の都合により、地上波番組の内容や放送時間が変更になることがあります。本機での予約は、放送局側の都合による変更には対応できません。
- 引越した場合は、受信する放送局が同じであっても、最適な地上波番組表データの受信のために必ず「接続と準備」（☞9ページより）をやりなおしてください。

使用上のご注意

設置について

本機は周囲から離し、風通しのよいところに設置してください

風通しを良くするためです。特に本体後面の通風孔は周囲から10cm以上離してください。内部に熱がこもり、本体内部の温度上昇の原因となることがあります。

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

ディスクを入れたままで、または、フロント扉やトレーを開けたままで本機を動かさないでください。
ディスクを入れたまま動かすと、ディスクを傷めることがあります。

音量を調整するときは

本機と接続しているテレビやアンプのボリュームを上げすぎないようにご注意ください。特に、ディスクの無音部分や音が非常に小さい部分を再生しているときにボリュームを調節すると、必要以上にボリュームが大きくなってしまうことがあります。急に思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損する恐れがありますので、ボリュームは、音を聞きながら、小さな状態から少しずつ大きくしていくように心がけましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。
窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。もし数時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭きとり、乾いた布で仕上げてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

クリーニングディスクについて

市販のCD/DVDレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

メニューや本機の設定画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイやプロジェクションテレビでは、残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

録画・再生できるディスク

ディスクの種類	操作	ロゴ
ブルーレイ　ディスク Blu-ray Disc （以下、BD）	録画・再生	Blu-ray Disc™
DVDビデオ	再生のみ	DVD VIDEO
DVD-RW	再生のみ	DVD RW
音楽用CD	再生のみ	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
音楽用CDフォーマットのCD-R/CD-RW	再生のみ	COMPACT disc Recordable COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable COMPACT disc ReWritable

"BD（Blu-ray Disc）" ロゴ、"DVD VIDEO" ロゴおよび"DVD RW"ロゴは商標です。

BD録画・再生時のご注意

本機は、容量23GB（ギガバイト）の書き換え型のBDを使って録画・再生することができます。書き換え型のBDは、パッケージなどに、「Rewritable」または「RE」と表示されています。

BDのカートリッジには、ディスクの全面をカバーしたタイプと、ディスクの記録面のみカバーしたタイプがありますが、本機では両方とも録画・再生することができます。

ディスクのパッケージなどに印刷されている表示をご確認の上、お使いください。

ディスクの全面をカバーしたタイプ

ディスクの記録面のみカバーしたタイプ

CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW再生時のご注意

CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RWドライブで記録されたディスクには、傷や汚れ、または記録状態が原因で再生できないものがあります。すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。また、CPRM*対応のDVD-RWディスクに一世代のみ（1回のみ）録画することを許可された映像を記録した部分は、「著作権データで制限があります」と画面に表示され、再生できません。詳しくは、レコーダーの取扱説明書をご覧ください。

パケットライト方式で作成されたディスクは再生できません。

* CPRM（Content Protection for Recordable Media）とは、著作権を保護するために、映像素材を暗号化する技術です。

CD再生時のご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。最近、いくつかのレコード会社から、著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

地域番号（リージョンコード）について

DVDのパッケージには地域番号が表示されています。

地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

録画・再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを録画・再生することはできません。

- CD-ROM（PHOTO CDを含む）
- CD-ROM、CD-R、CD-RWに記録されているMP3（MPEG-1 Audio Layer3）ファイル
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVD-RAM
- DVD-ROM
- DVDオーディオ
- スーパーオーディオCDのHD（ハイデンシティ）レイヤー
- ビデオCD
- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）のDVD
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク（本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク

DVD再生操作について

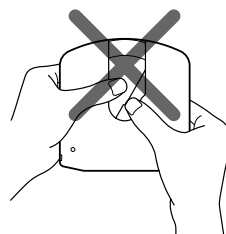
DVDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

ディスクの取り扱い上のご注意

BDのとき

本機を使用していない時は、本機からBDを取り出し、専用ケースで保管しておいてください。

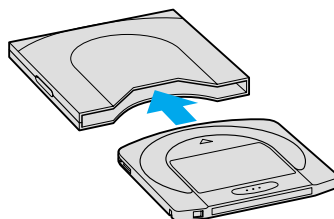
取り扱いかた

- BDはカートリッジに収納されているため、ほこりや指紋を気にせずに手軽に取り扱えるように設計されています。ただし、ほこりや傷などが誤動作の原因となることもあります。傷などがつくと録画できなくなったり、録画した内容を再生できなくなったりすることがありますので、取り扱いには充分注意し、大切に保管してください。
- カートリッジ内のディスクに直接触れないでください。
  シャッターを無理に開けると壊れます。

- カートリッジを分解しないでください。

保管のしかた

直射日光が当たるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、カートリッジにほこりなどが入る可能性のあるところには放置しないでください。

BD専用ケースについて

BDを使用しないときは、専用ケースに入れて保管してください。

お手入れのしかた

カートリッジ表面についたほこりやゴミは、乾いた布で軽く拭き取ってください。

DVD/CDのとき

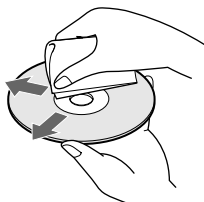
取り扱いかた

- 再生面に手を触れないように持ちます。

保管のしかた

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、立てかけておくと変形の原因になります。

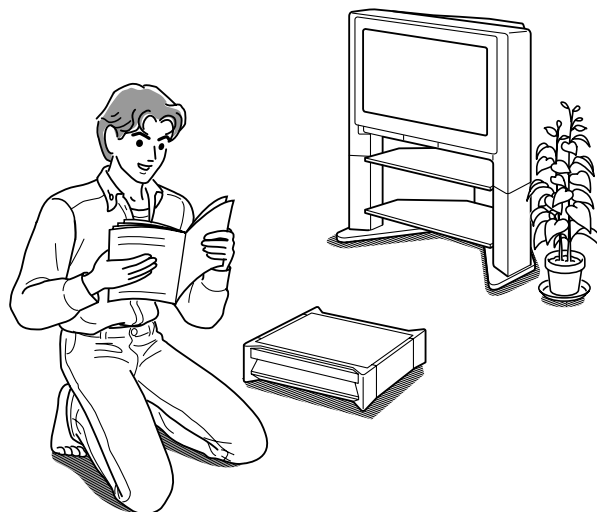
お手入れのしかた

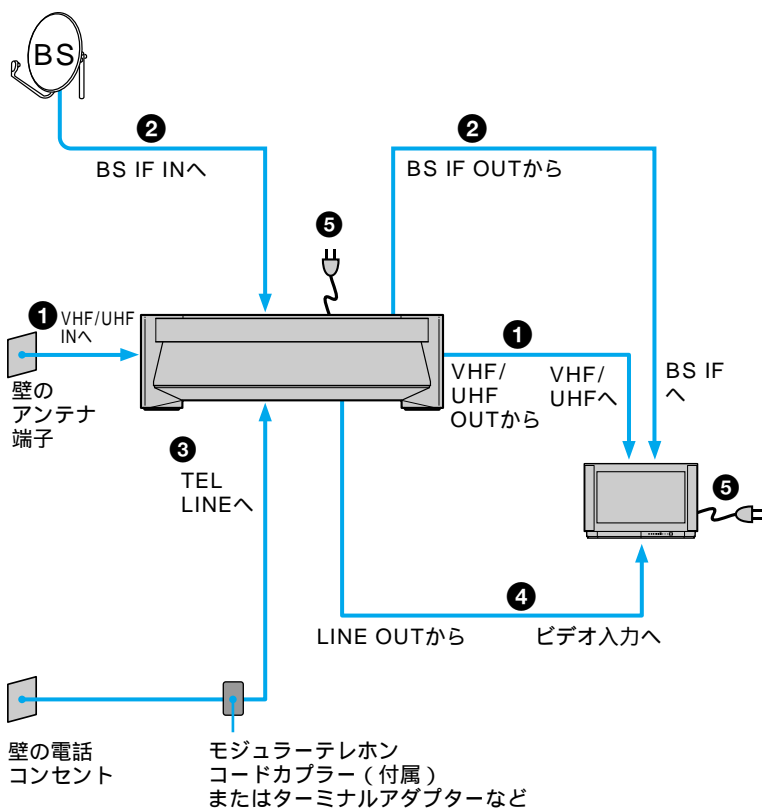
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買いあげ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

本書内のイラストについて
本書で使われているイラストや画面は、実際のものと異なる場合があります。

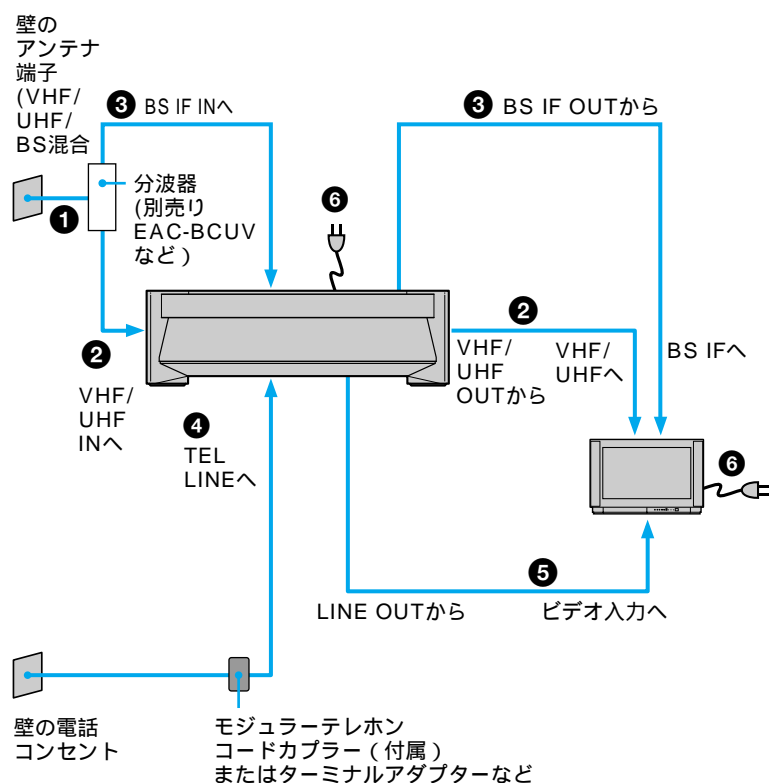
接続と準備

ここでは、リモコンの電池の入れかたやBSアンテナのつなぎかたなどの接続と、基本的な設定を説明しています。

BSアンテナを本機に直接つなぐ

アンテナがテレビにつながっているときは、いったんテレビから取りはずしておきます。

❶ 地上波アンテナを、本機を経由してテレビにつなぐ（☞14ページ）
❷ BSアンテナを、本機を経由してテレビにつなぐ（☞15ページ）
❸ 電話回線をつなぐ（☞18ページ）
❹ 本機とテレビをつなぐ（☞22ページ）
❺ 電源コードをつないで、「かんたん初期設定」を行う（☞33ページ）。

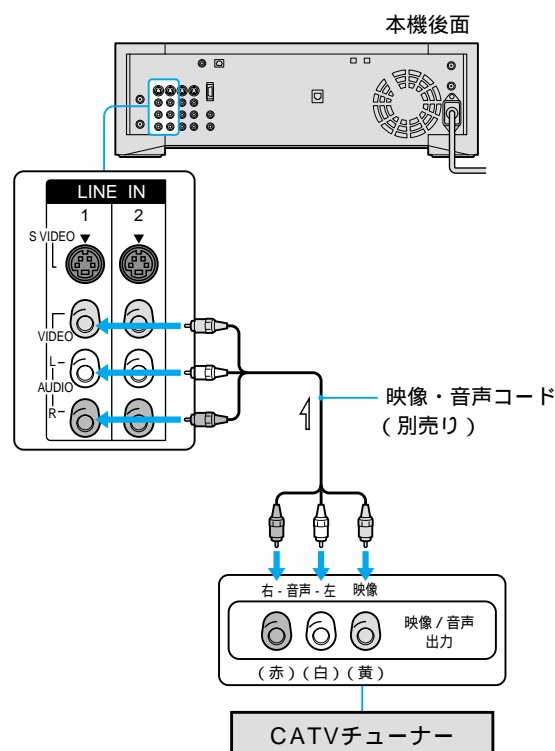
次のページにつづく

壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合のとき（マンションなどの共同受信システム*など）

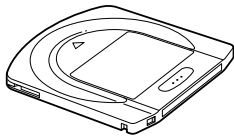
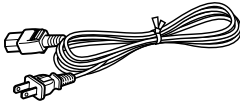
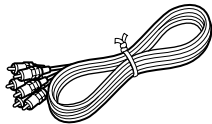
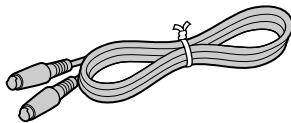
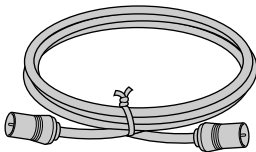
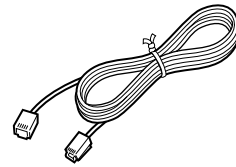
アンテナがテレビにつながっているときは、いったんテレビから取りはずしておきます。

❶ 分波器を使って、VHF/UHFとBSに分波する（☞16ページ）
❷ 地上波アンテナを、本機を経由してテレビにつなぐ（☞16ページ）
❸ BSアンテナを、本機を経由してテレビにつなぐ（☞16ページ）
❹ 電話回線をつなぐ（☞18ページ）
❺ 本機とテレビをつなぐ（☞22ページ）
❻ 電源コードをつないで、「かんたん初期設定」を行う（☞33ページ）。

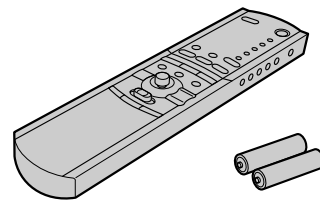
* 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

ケーブルテレビ

CATV局と受信契約すると送られてくるCATVチューナーをつなぐと、CATVを受信することができます。なお、CATVは受信できない地域もあります。詳しくは、お近くのCATV局にお問い合わせください。
CATVチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
CATVを受信し、チャンネルを変えるには48ページをご覧ください。

準備1：付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。（　）内の数字は個数です。

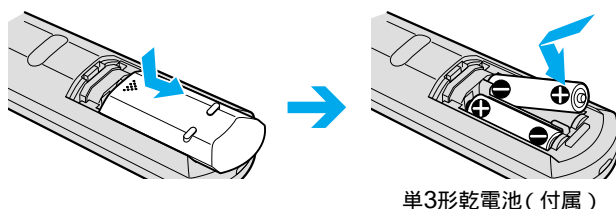
BDディスク（1）

電源コード（1）

映像/音声コード（1）

S映像コード（1）

F型コネクター付き同軸ケーブル（1）

テレホンコード（10m）（1）

モジュラーテレホンコードカプラー（1）

リモコン（1）、
単3形マンガン乾電池（2）

BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）**カード**）（1）
B-CAS**用ユーザー登録はがき台紙**（1）
取扱説明書
　「接続と準備」編（**本書**）（1）
　「操作」編（1）
安全のために（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
ソニーお客様ご愛用者カード（1）
ブルーレイディスクレコーダーご登録はがき（1）
保証書（1）

付属品がそろっていないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

準備2：リモコンを準備する

➕と➖の向きを合わせて、単3形乾電池（付属）2個を入れ、ふたを閉めてください。
本機を操作するときは、本機のリモコン受光部🅁にリモコンを向けて操作してください。

必ずイラストのように➖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりするとショートの原因になり、発熱することがあります。

単3形乾電池（付属）

ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。
  次のことを必ず守ってください。
  – 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  – 乾電池は充電しないでください。
  – 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  – 液もれしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部🅁に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

他社のテレビを操作する

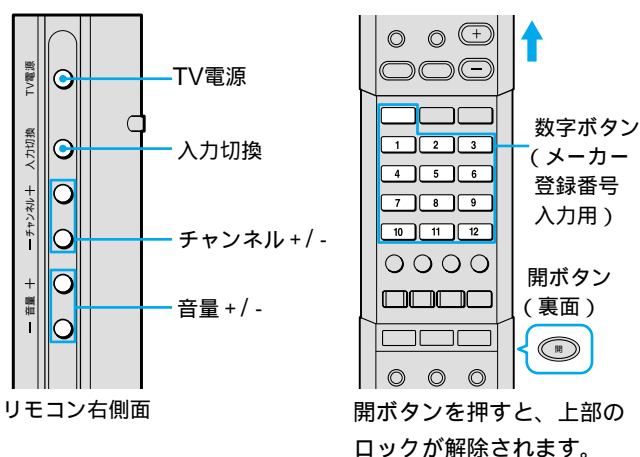
出荷時は、ソニー製テレビを操作できる設定になっています。他社製テレビを操作するときは、メーカー登録番号を設定してください。

TV電源ボタンを押しながら、操作したいテレビのメーカー登録番号を2ケタ続けて押す。

登録番号が複数あるメーカーは、お手持ちのテレビが操作できるまで、設定し直してください。

テレビのメーカー	登録番号
ソニー [*1]	01（出荷時の設定）、12
松下電器産業 [*1]	02 、13
東芝	03
日立製作所	04
三菱電機	05
日本ビクター	06
三洋電機 [*1]	07、15
シャープ [*1]	08、16
NEC	09
パイオニア [*2]	10
富士通ゼネラル	11
フナイ	14
アイワ	17
三星電子（SAMSUNG）	18

[*1] メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してテレビが操作できるほうをお選びください。
[*2] 入力切換ボタンは使えません。

各社のテレビに使えるボタン

リモコン右側面

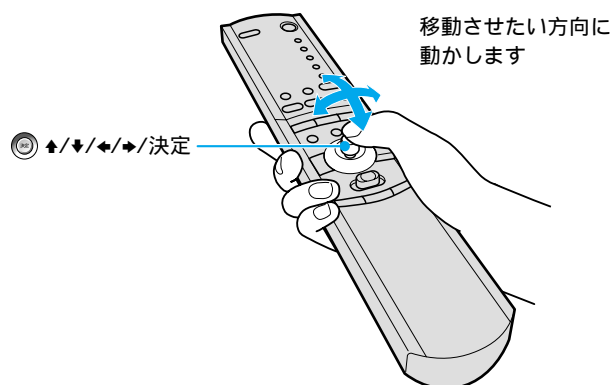
開ボタンを押すと、上部のロックが解除されます。

ご注意

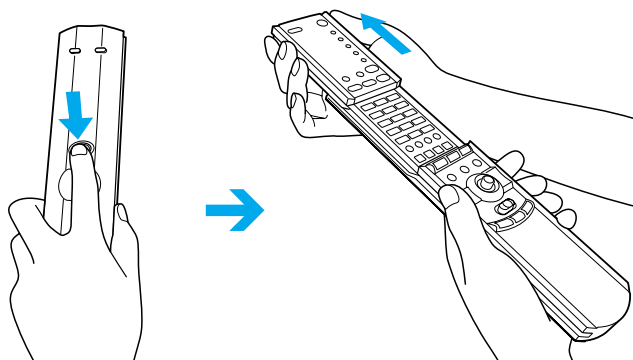
- リモコン上部を開くときは、必ず裏面の**開ボタン**を押してください。無理に開けようとすると、破損することがあります。
- リモコンの電池を取り出したり、電池が寿命になると、設定した内容は消えて、出荷時の設定に戻ります。もう1度設定し直してください。
- メーカーによっては複数のリモコン信号を採用しているため、操作できないことがあります。そのときは、テレビのリモコンでテレビを操作してください。
- 本機リモコンのボタンに対応する機能がテレビにない場合は、そのボタンは働きません。

リモコンの使いかた

この取扱説明書では、主にリモコンのボタンを使って、操作方法を説明しています。
本機では、ほとんどの操作をリモコンの(ジョイスティック）で行います。

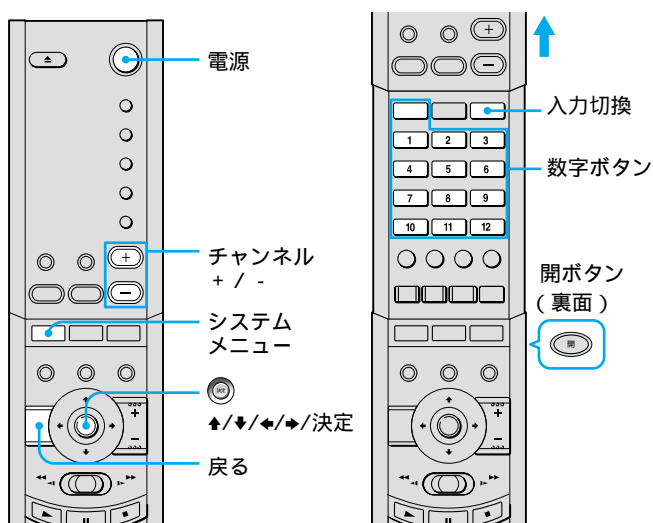
カーソルを移動するには

決定するには

リモコンの上部を開くには

裏面の開ボタンを押し、リモコン上部をスライドさせて開きます。

本書で使うボタン

図のボタンを操作して、本機を使えるように設定できます。

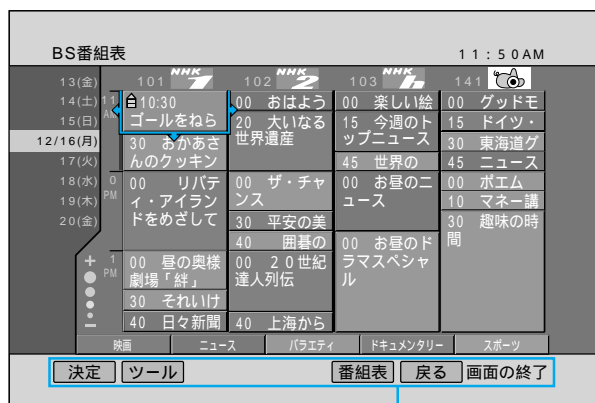
開ボタンを押すと、上部のロックが解除されます。

ご注意

リモコン上部を開くときは、必ず裏面の**開ボタン**を押してください。無理に開けようとすると、破損することがあります。

操作ガイドの見かた

画面やメッセージの下部には操作ガイドが表示されます。操作ガイドには、その画面で使用するボタンが表示されます。
例えば、［ツール］と表示されているときは、ツールボタンを使うことができます。

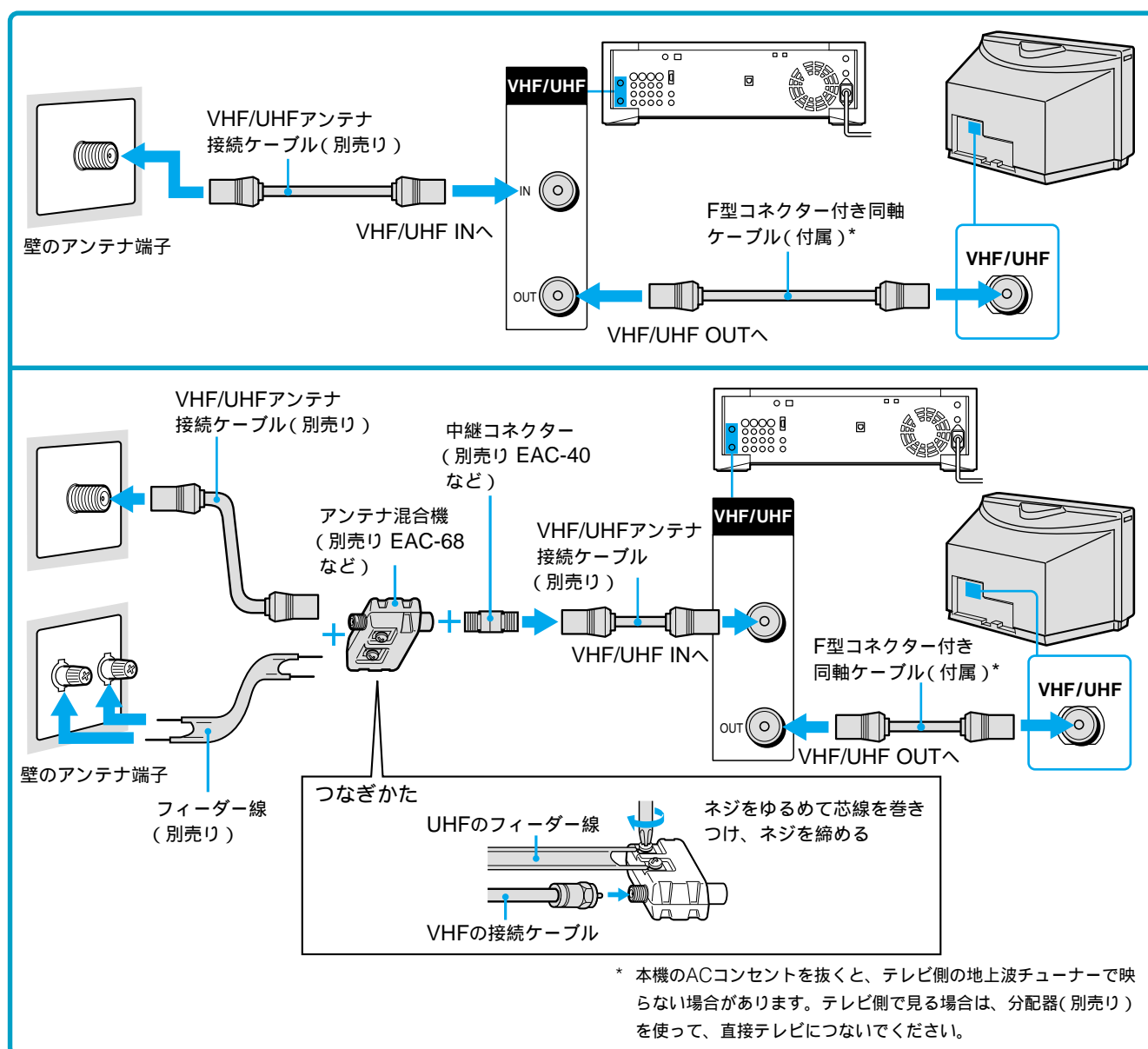
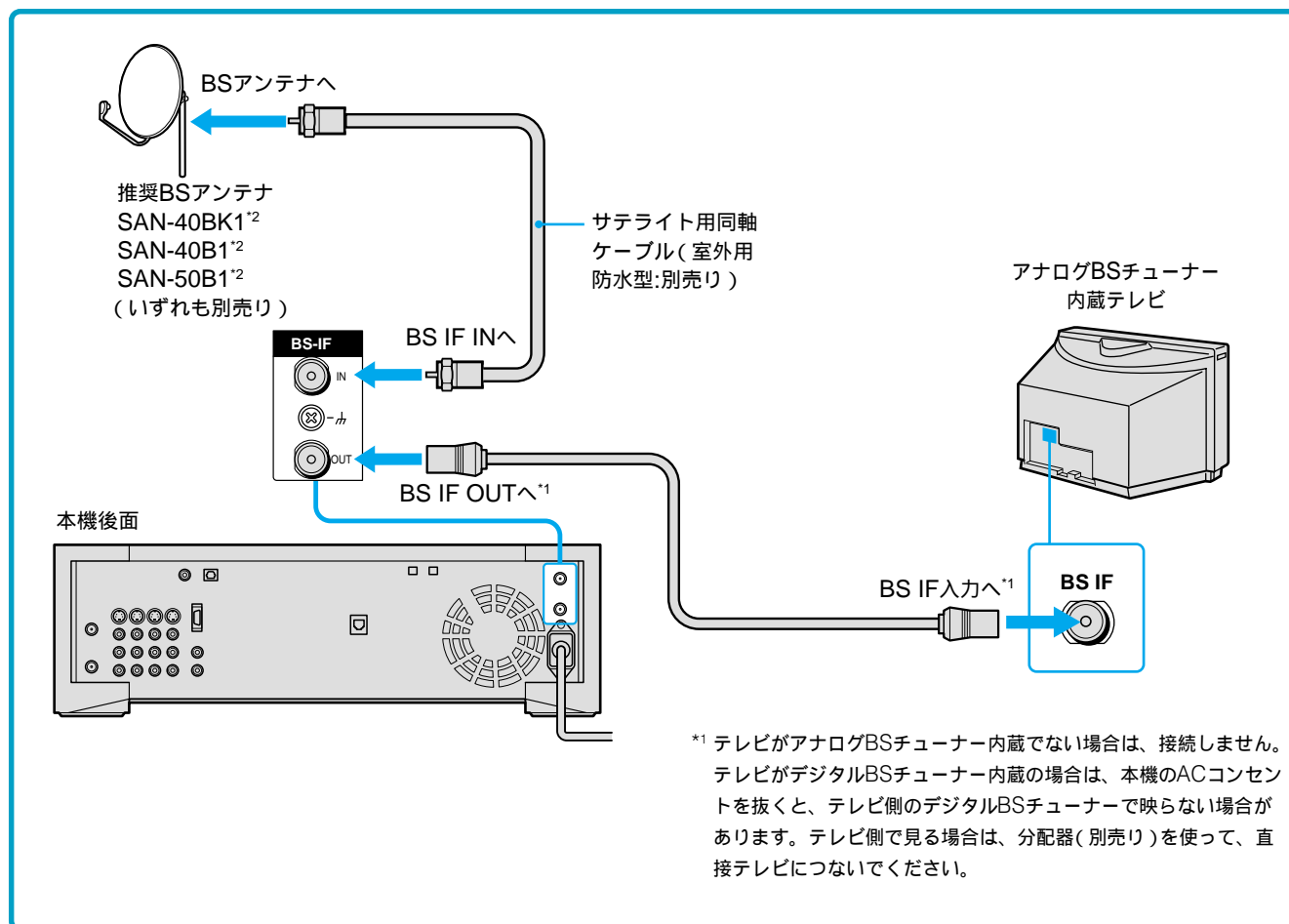
準備3：アンテナをつなぐ

アンテナを本機に直接つなぎます。アンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。
すでにアンテナをお使いの場合は、以下のようにしていったんアンテナをテレビから取りはずしてから、本機につなぎます。
マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS混合のときは、16ページをご覧ください。

本機の電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
BSコンバーター電源のショートを防ぐためにも、下記の手順で接続してください。
①サテライト用同軸ケーブルをつなぐ。
②接続がすべて終わった後に、電源コードをつなぐ。
③本機の電源を入れる。

地上波アンテナをつなぐ

* 本機のACコンセントを抜くと、テレビ側の地上波チューナーで映らない場合があります。テレビ側で見る場合は、分配器（別売り）を使って、直接テレビにつないでください。

BSアンテナを本機に直接つなぐ

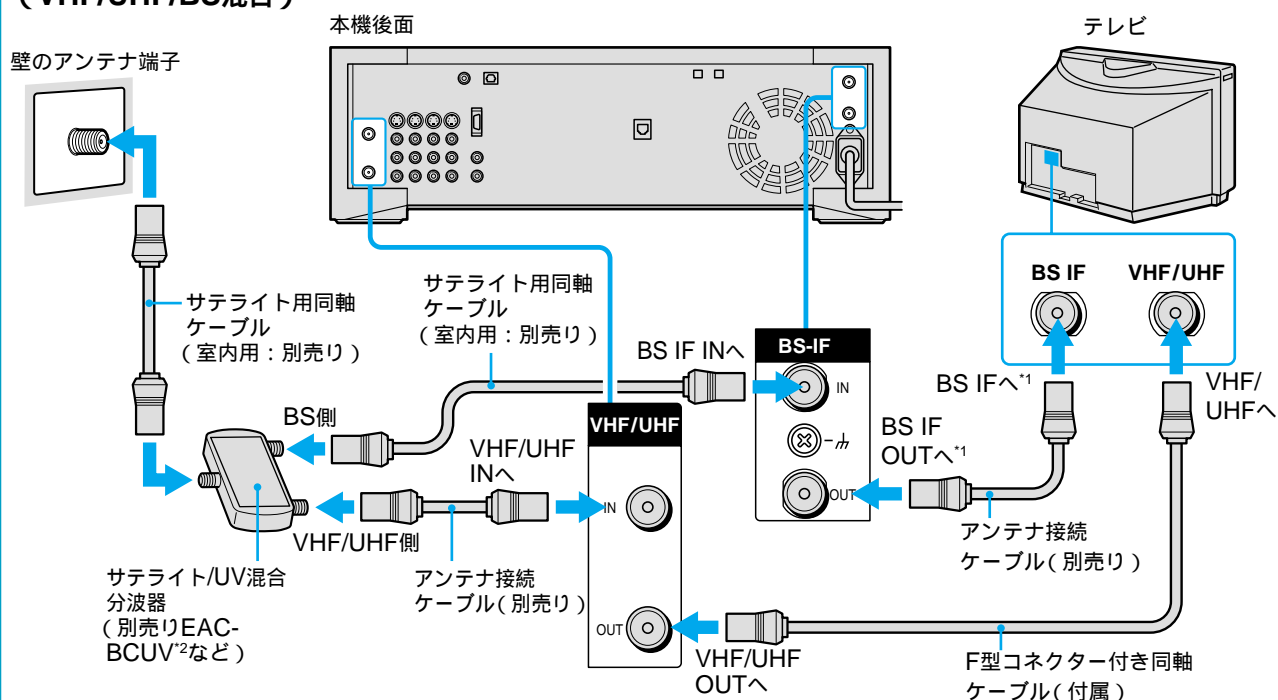
*1 テレビがアナログBSチューナー内蔵でない場合は、接続しません。テレビがデジタルBSチューナー内蔵の場合は、本機のACコンセントを抜くと、テレビ側のデジタルBSチューナーで映らない場合があります。テレビ側で見る場合は、分配器（別売り）を使って、直接テレビにつないでください。

ご注意

- **DIGITAL BS入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。** BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源（DC 15V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
  推奨ケーブル
  – 室外用防水型：SAK-C10/C20/C30*2など
- 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  – お住まいの地域またはBSを送信する放送衛星会社（☞38ページ）のある地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  – BSアンテナに雪が付着しているとき
  – 強風などでアンテナの向きが変わったとき（BSアンテナの向きを調整してください。☞61ページ）
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは（☞16ページ）、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りEAC-BC2*2またはEAC-BC4*2など）を必ずお使いください。

*2 2002年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

壁のアンテナ端子がVHF/UHF/BS混合のとき（マンションなどの共同受信システムなど）

壁のアンテナ端子ひとつでBS放送とテレビ放送を受信できる共同受信システムのときは、下の接続図のように、BS放送とテレビ放送を分波して接続してください。また、「セットアップ」画面の「BS設定」で、「各種設定」の「アンテナ電源」を「切」にしてください（☞60ページ）。

ちょっと一言
マンションなどの共同受信システムで、BS放送のアンテナレベルが低いときは、サテライトブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に確認してください。

BSアナログチューナー内蔵テレビやBSアナログチューナー内蔵ビデオをお持ちのときは15ページをご覧になり、お持ちの機器に合わせて、サテライト分配器で信号を分けて、機器をつないでください。

*1 テレビがBSチューナー内蔵でない場合は、接続しません。
本機のACコンセントを抜くと、テレビ側のデジタルBSチューナーで映らない場合があります。テレビ側で見る場合は、分配器（別売り）を使って、直接テレビにつないでください。

*2 2002年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

デジタルCS放送を含めた共同受信システムのときは

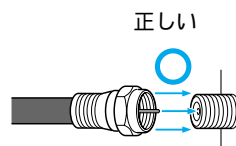
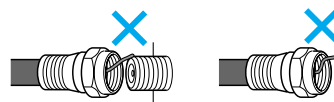
お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示にしたがって、接続および受信方法の設定（☞60ページ）を行ってください。

「取扱説明書をご覧いただき、BSアンテナ電源（コンバーター電源）を確認してください」という表示が出たら

安全のため、「セットアップ」画面の「BS設定」で、「各種設定」の「アンテナ電源」が自動的に「切」になります。以下の操作をしてください。

1 いったん本機の電源を切る。

2 同軸ケーブルやアンテナコネクターの芯線などがBS IF IN端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認する。

正しい

芯線がBS IF IN端子やケーブルのまわりの金属部分に触れないように、気をつけてください。

すでにBSアナログ放送をご覧いただいているときは

お持ちのBSアンテナの向きを変えることなく、そのままBSデジタルもBSアナログもそれぞれに対応したBSチューナーで受信できます。
ただし、一部のBSアンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないため、受信できない場合があります。受信状況が悪い場合は、BSアンテナ製造元のお客様窓口や、BSアンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。

準備4：
電話回線につなぐ

以下をするためには、**必ず本機を電話回線につないでください。**

- BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）に記憶された番組購入・契約状況などの情報を、電話回線を通じて定期的に本機から放送局へ自動送信するため
- ペイ・パー・ビュー（PPV）契約をして、番組単位で購入するときのため
- 電話回線を使用した視聴者参加型番組などで放送局と通信を行うとき

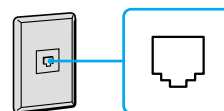
ご注意

次の電話回線には、つなげません。
- 公衆電話および、共同電話、地域集団電話
- 携帯電話および、PHS、自動車電話
- 船舶電話
- 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」または「9」以外の数字を付けるとき

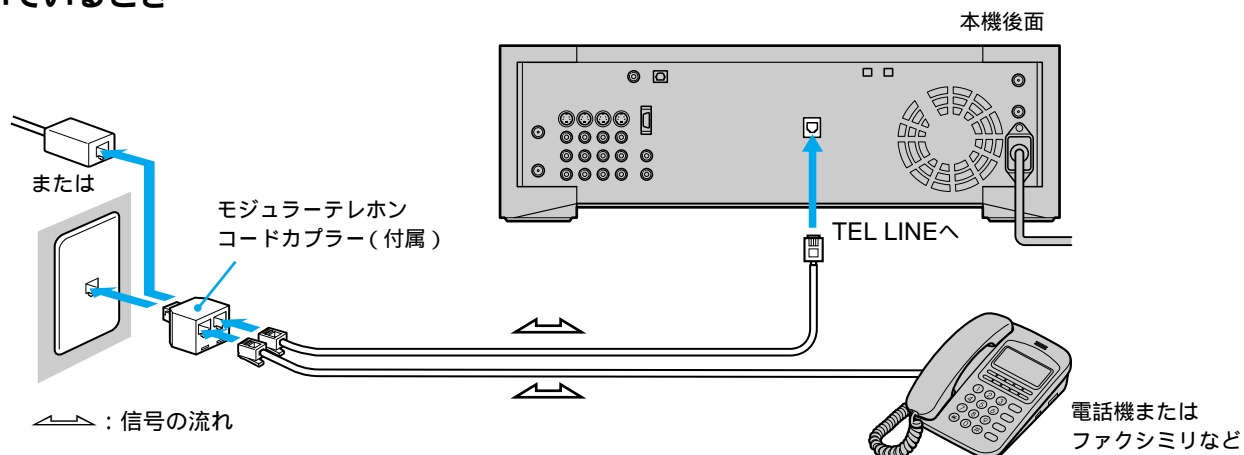
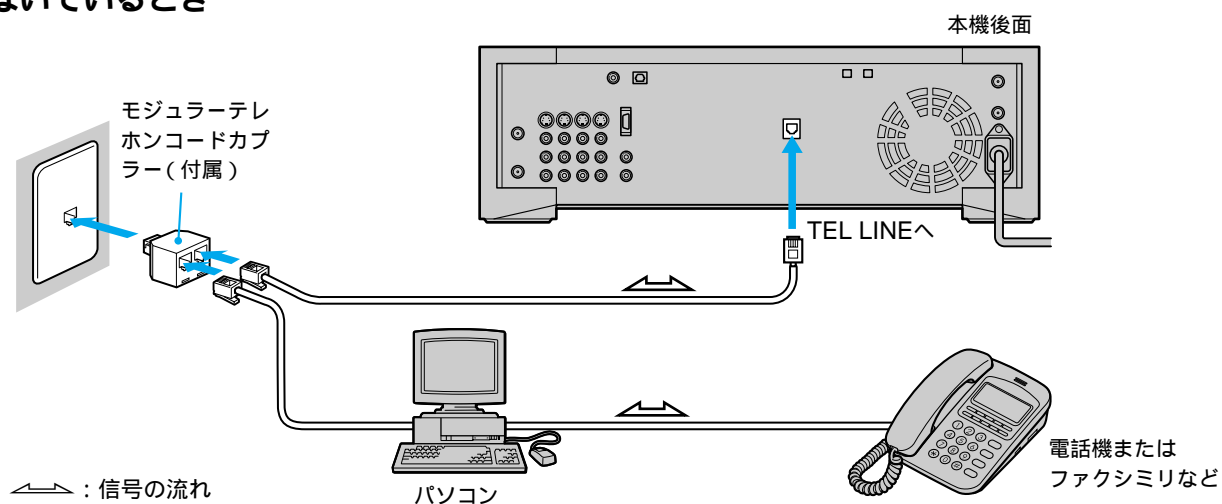
ちょっと一言

番組購入・契約状況などの情報の送受信について
- B-CASカードに記録される視聴記録データは、定期的に電話回線を通じ、（株）B-CASへ自動送信されます。（株）B-CASへのデータ送信の電話料金は無料です。
- 本機から電話回線を通じて通信を行うと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様負担となります。
- 購入情報などの送受信中には、本機の表示窓に「☎」と表示されます。
- 本機が電源スタンバイ（電源ランプが赤く点灯のとき）のまま、自動的に購入情報などを送受信することがあります。
- 購入情報などの送信には、1回あたり約30秒程度かかります。このときに、電話がかかってきたときは、話し中になります。
- 本機が放送局と、購入情報などを送受信しているときは、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーの代わりに別売りの自動転換機TL-P20を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器SMD-AP20（2口用）をご使用ください。
- 緊急に電話をかけたいときなどは、本機の電源コードを抜いて、電源を切ってください。
- 電話機やファクシミリを使っているときは、購入情報などの送受信はできません。

電話回線の使用状況に合わせてつなぐ

お住まいの電話回線の状況を次ページから選んで、つないでください。
また、**壁の電話コンセントがモジュラージャック式でないときは「その他のとき」（**☞21ページ**）をご覧ください。**

モジュラージャック

ご注意

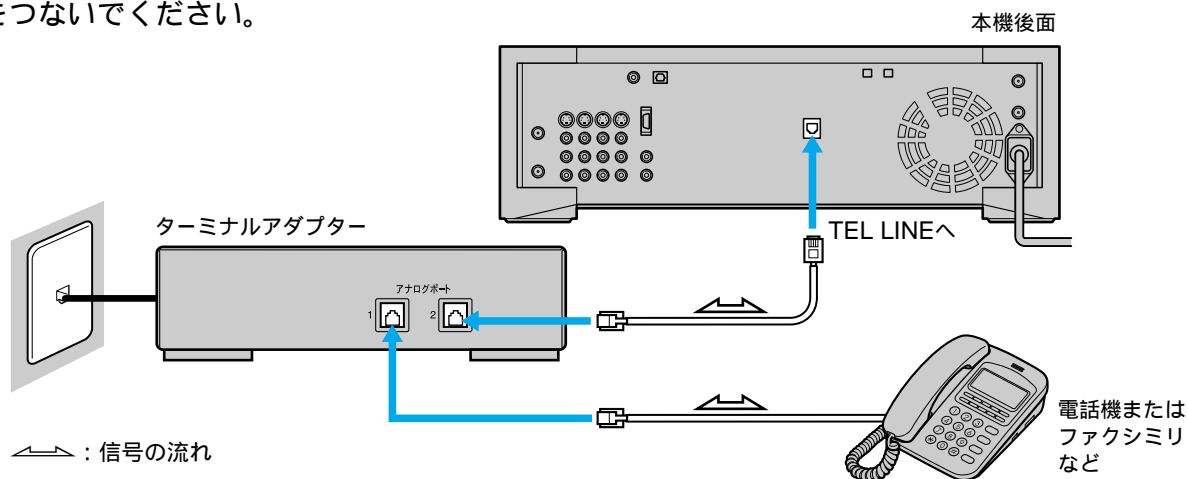
ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。

* 2002年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

ちょっと一言

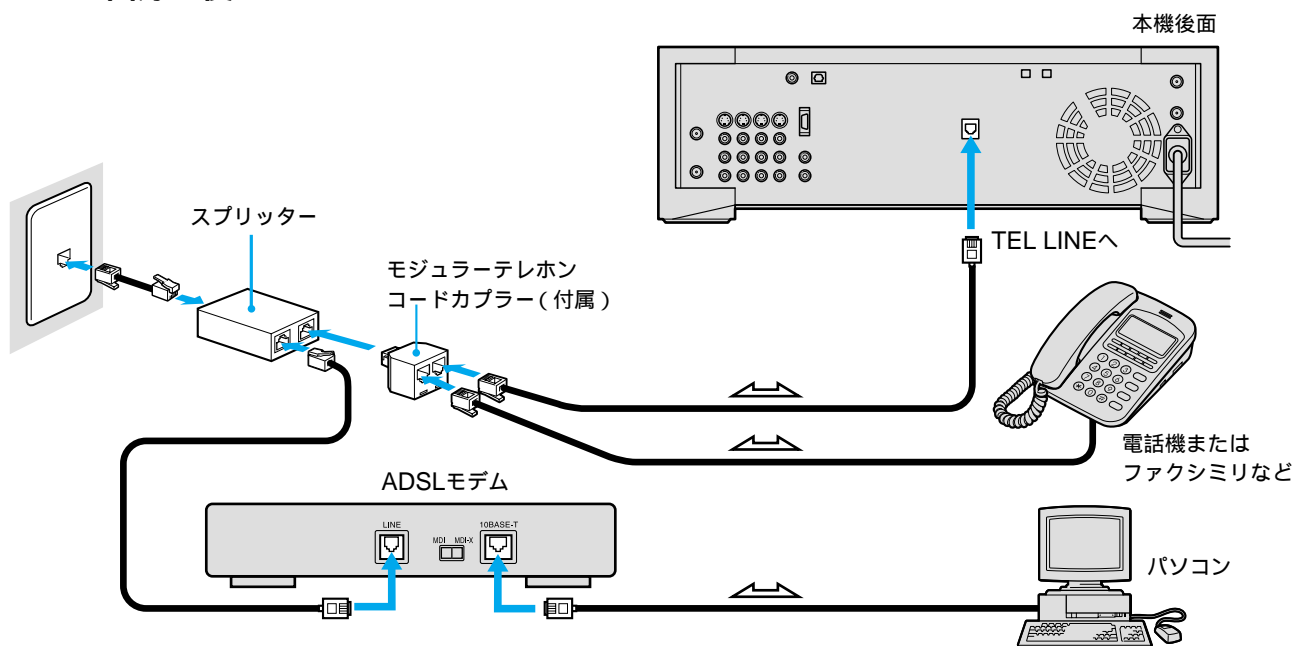
パソコンなどの通信や、すでに電話機やファクシミリなど通信機器を2台以上電話回線につないでいるときは、接続された通信機器がお互いに影響しあって、通信がうまくできないことがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーの代わりに、別売りの高速データ通信用自動転換器SMD-AP20*（2口用）やSMD-AP300*（3口用）を使ってください。

準備4：電話回線につなぐ（つづき）

ISDN回線を使っているとき

お手持ちのターミナルアダプターやダイアルアップルーターのアナログポートに直接、本機をつないでください。

ご注意

- アナログポートには、付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。2分配すると、正しく本機が働かないことがあります。
- ISDN回線端子に付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。
- ターミナルアダプターによっては、うまく通信できないことがあります。詳しくは、ターミナルアダプターの製造元にお問い合わせください。
- 本機の電話回線を「トーン」に設定してください。（☞35ページ）
- 別売りのコードレス通信ユニットCTU-50とは併用できません。また、別売りのコードレス通信ユニットSPP-TU1と併用するときは、うまく通信できないことがあります。

ADSL回線を使っているとき

ご注意

ADSLモデムと本機を直接つながないでください。本機はADSL回線には対応していません。

その他のとき

壁の電話コンセントが3ピンプラグ式

3ピンプラグ式

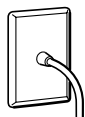
電話コンセントと付属のモジュラーテレホンコードカプラーの間に、別売りのテレホンモジュラーアダプターTL-30をつないでください。

壁の電話コンセントがローゼット式ジャック

ローゼット式

別売りのモジュラーアダプター（TL-36など）でつなげます。
この方式の電話工事は、「工事担任者」資格者（NTT116番）に依頼してください。

壁の電話コンセントが直付けタイプ

直付けタイプ

「工事担任者」資格者（NTT116番）に、モジュラージャックへの変換工事を依頼してください。

壁の電話コンセントと本機を使う場所が離れている

別売りのコードレス通信ユニットCTU-50*やSPP-TU1*などが使えます（☞64ページ）。

壁の電話コンセントに3つの通信機器をつなぐ

別売りのテレホンモジュラートリプルアダプターTL-23*を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器SMD-AP300*（3口用）を使ってください。

壁埋め込みタイプのホームテレホン（電話機、ターミナルボックス、ドアホンアダプター）

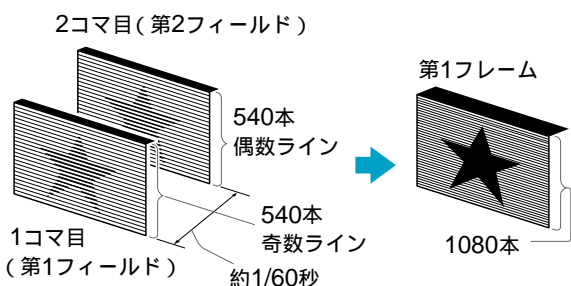
専門業者による工事が必要です。

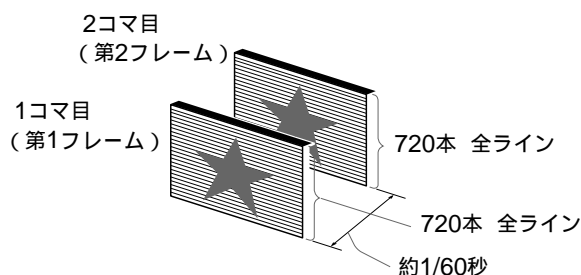
* 2002年11月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

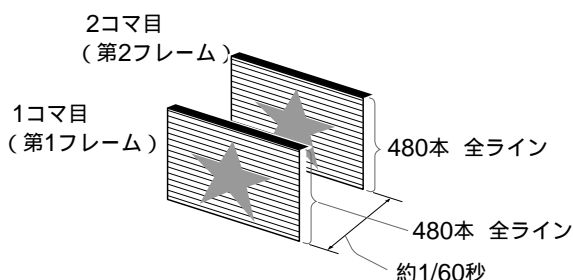
準備5：
テレビにつなぐ

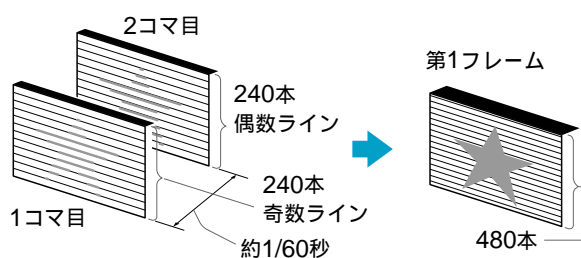
BSデジタルの画質について

BSデジタルには、高画質のデジタルハイビジョン放送 HD と、現行テレビと同等の画質の標準テレビ放送 SD の2種類があります。
それぞれの放送に2つずつ、以下のように**全部で4種類の画像方式があります。**

1125i（1080i）のデジタルハイビジョン放送 HD

1125本（1080本）の走査線*を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式*）の画像方式。

750p（720p）のデジタルハイビジョン放送 HD

750本（720本）の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式*）の画像方式。画面や文字のちらつきが少なくなります。

525p（480p）の標準テレビ放送 SD

525本（480本）の走査線を順番どおりに描く（プログレッシブ方式*）の画像方式。画面や文字のちらつきが少なくなります。

525i（480i）の標準テレビ放送 SD

525本（480本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（インターレース方式*）の画像方式。地上波放送やBSアナログ放送と同等の解像度です。

iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。（　）内は有効走査線数*で数えたときの別称です。
* の詳しい説明は、別冊の「操作」編の用語解説をご覧ください。

テレビにつなぐ

お手持ちのテレビの映像入力端子によって、本機とテレビの映像端子のつなぎかたと、本機前面のD1/D3/D4映像出力切換ボタン（☞32ページ）での設定が異なります。よりよい画質でお楽しみいただくために、お手持ちのテレビに付いている端子を調べてください。複数の端子が付いているときは、
A → B → C → D → E → F → G
の順に該当するタイプを選んでください。

A D4端子が付いている

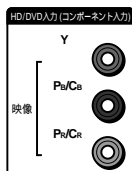
接続のしかたについては、
24ページをご覧ください。

D4端子は付いていない

B D3端子が付いている

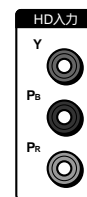
接続のしかたについては、
25ページをご覧ください。

D3端子は付いていない

C HD/DVD入力端子（Y, PB/CB, PR/CR）が付いている

接続のしかたについては、
26ページをご覧ください。

HD/DVD入力端子は付いていない

Dへ

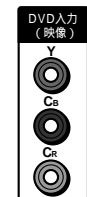
D コンポーネント入力端子（Y, PB, PR）が付いている

接続のしかたについては、
27ページをご覧ください。

コンポーネント入力端子は付いていない

E D1端子が付いている

接続のしかたについては、
29ページをご覧ください。

D1端子は付いていない

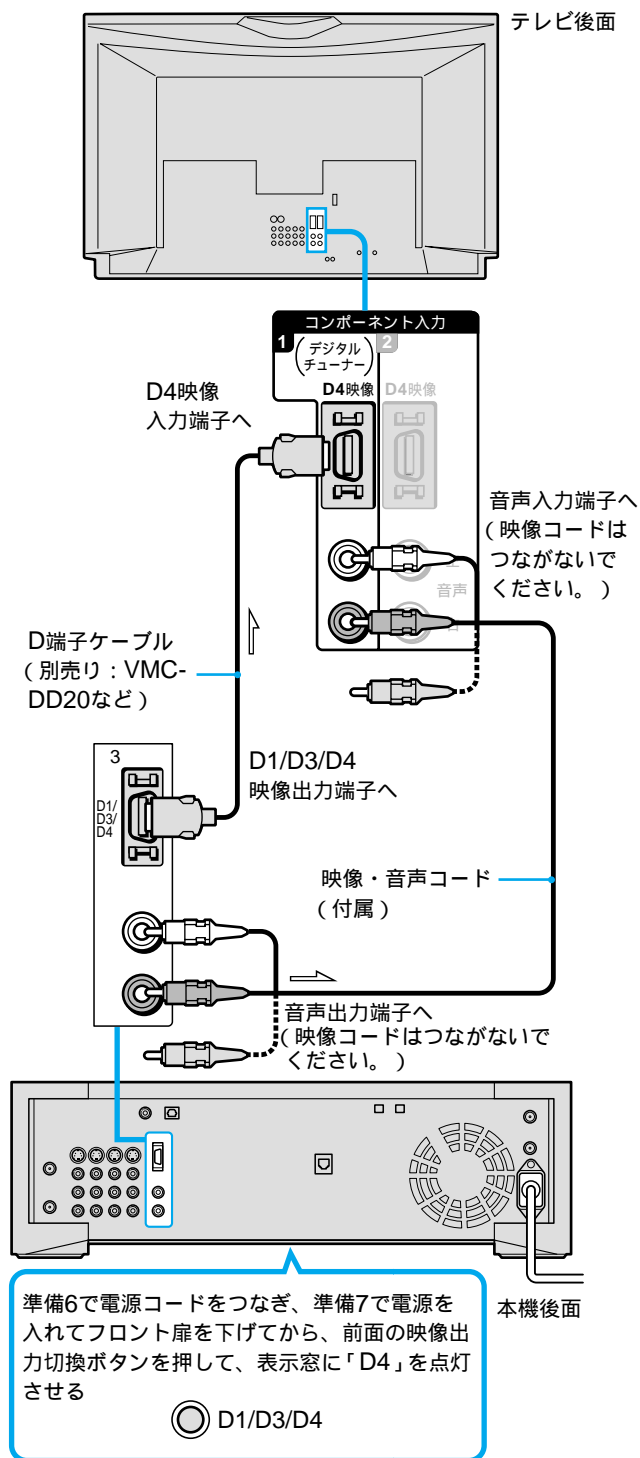
F DVD入力端子（Y, CB, CR）が付いている

接続のしかたについては、
30ページをご覧ください。

DVD入力端子は付いていない

G S映像入力端子または映像入力端子のみが付いている

接続のしかたについては、
31ページをご覧ください。

準備5：テレビにつなぐ（つづき）

A D4端子が付いているテレビの場合

BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「コンポーネント」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビに出力される信号について

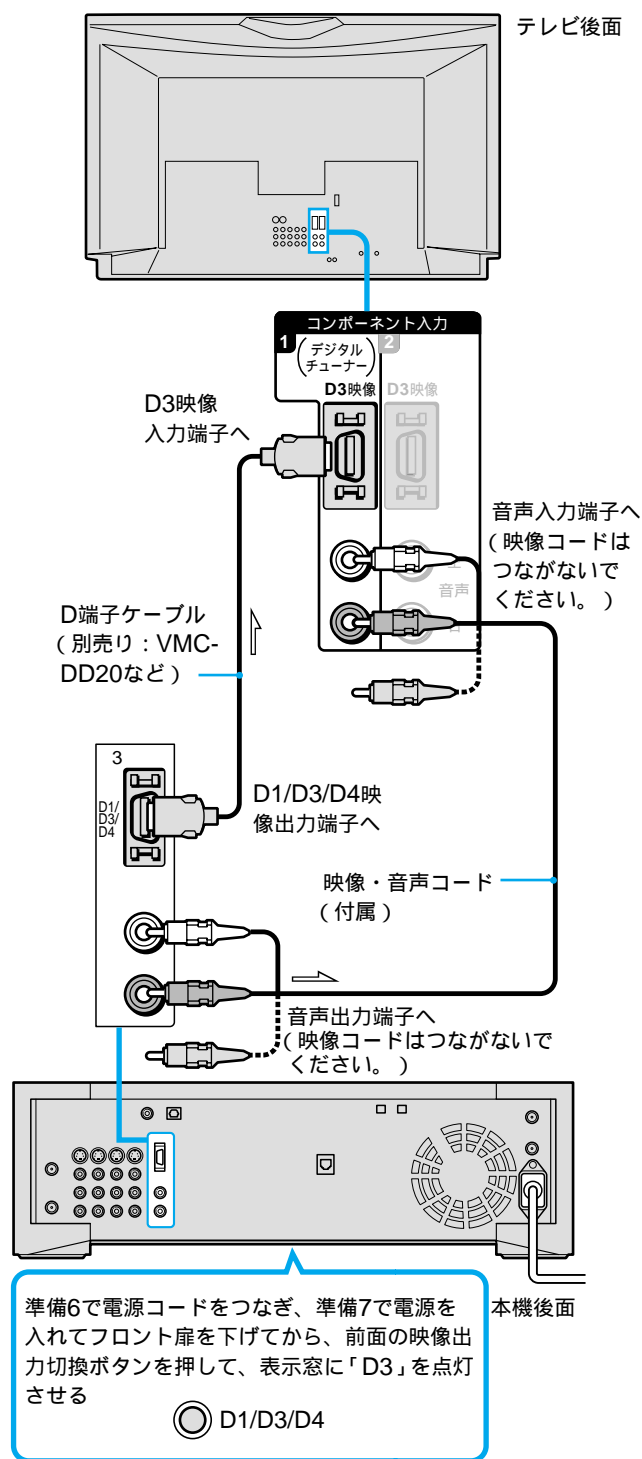
映像出力切換（D1/D3/D4）ボタンを押して「D4」に設定すると、次のように変換されてテレビに出力されます。

	本機が受信する標準テレビ信号、BSデジタル信号またはDVD再生画		本機後面のD1/D3/D4映像出力端子からテレビに出力する信号*
HD デジタルハイビジョン放送	HD (1125i)	→	HD (1125i)
	HD (750p)	→	HD (750p)
SD 標準テレビ放送	SD (525p) SD (525i)	→	HD (1125i)
DVD再生	SD (525i)	→	SD (525p)
DVD-RW VR再生	SD (525i)	→	HD (1125i)

* 本機後面のS映像/映像/音声出力端子からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、常に525i（480i）の SD 標準テレビ放送に変換されて出力されますが、「D1」に設定するとより美しく見ることができます。

ちょっと一言

- BDの再生の場合、テレビに出力される信号は録画モードや録画時の受信信号によって異なります。詳しくは、「操作」編の「録画モードを切り換える」をご覧ください。
- テレビの横縦比に画像を合わせるには83ページをご覧ください。

B D3端子が付いているテレビの場合

：映像・音声信号の流れ

BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「コンポーネント」など）に切り換える。詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビに出力される信号について

映像出力切換ボタン（D1/D3/D4）を押して「D3」に設定すると、次のように変換されてテレビに出力されます。

	本機が受信する標準テレビ信号、BSデジタル信号またはDVD再生画	本機後面のD1/D3/D4映像出力端子からテレビに出力する信号*
HD デジタルハイビジョン放送	HD (1125i)	HD (1125i)
	HD (750p)	
SD 標準テレビ放送	SD (525p)	
	SD (525i)	
DVD再生	SD (525i)	SD (525p)
DVD-RW VR再生	SD (525i)	HD (1125i)

* 本機後面のS映像/映像/音声出力端子からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、常に525i（480i）の SD 標準テレビ放送に変換されて出力されますが、「D1」に設定するとより美しく見ることができます。

ご注意

映像出力切換の設定を「D4」に設定すると、750pのBSデジタルの映像が映りません。

ちょっと一言

- BDの再生の場合、テレビに出力される信号は録画モードや録画時の受信信号によって異なります。詳しくは、「操作」編の「録画モードを切り換える」をご覧ください。
- テレビの横縦比に画像を合わせるには83ページをご覧ください。

次のページにつづく

C HD/DVD入力端子（Y, PB/CB, PR/CR）が付いているTVテレビの場合

BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「HD/DVD」や「コンポーネント」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビに出力される信号について

映像出力切換（D1/D3/D4）ボタンを押して「D3」に設定すると、次のように変換されてテレビに出力されます。

	本機が受信する標準テレビ信号、BSデジタル信号またはDVD再生画	本機後面のD1/D3/D4映像出力端子からテレビに出力する信号*1
HD デジタルハイビジョン放送	HD (1125i) HD (750p)	HD (1125i)
SD 標準テレビ放送	SD (525p) SD (525i)	HD (1125i)
DVD再生	SD (525i)	SD (525p)*2
DVD-RW VR再生	SD (525i)	HD (1125i)

*1 本機後面のS映像/映像/音声出力端子からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、常に525i（480i）の SD 標準テレビ放送に変換されて出力されますが、「D1」に設定するとより美しく見ることができます。

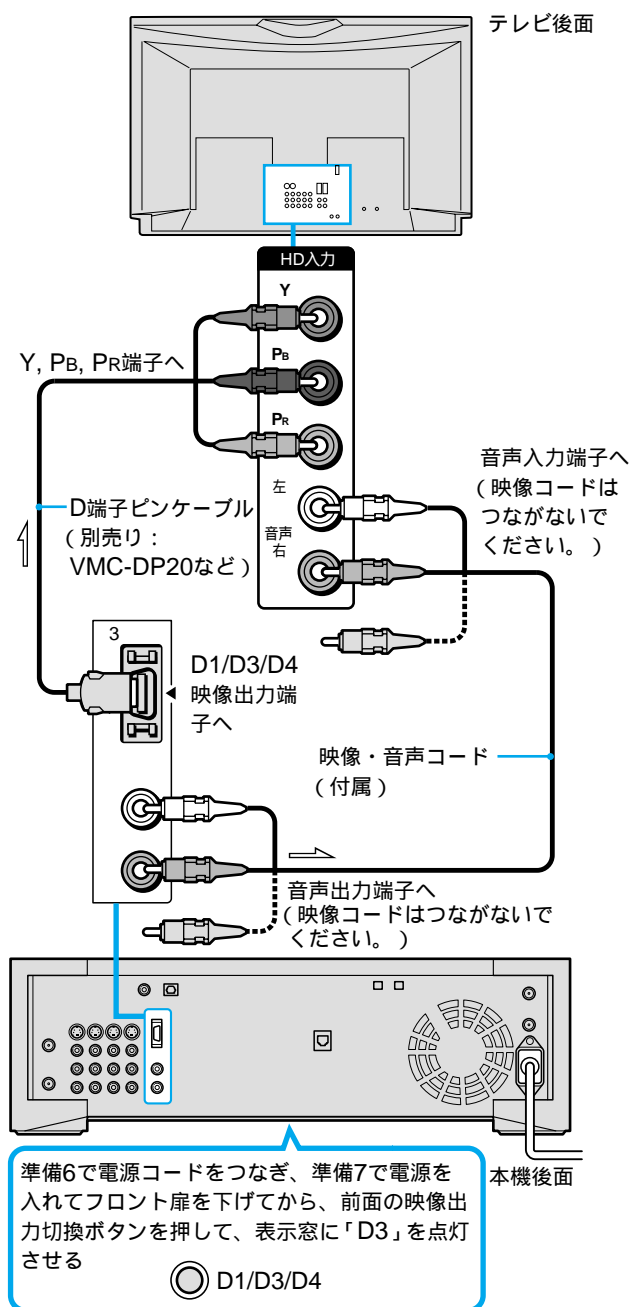
*2 525pに対応していない一部のテレビでは、525iで映ります。

ご注意

映像出力切換の設定を「D4」に設定すると、750pのBSデジタルの映像が映りません。

ちょっと一言

- BDの再生の場合、テレビに出力される信号は録画モードや録画時の受信信号によって異なります。詳しくは、「操作」編の「録画モードを切り換える」をご覧ください。
- テレビの横縦比に画像を合わせるには83ページをご覧ください。

D ハイビジョン入力専用のコンポーネント入力端子（Y, PB, PR）端子が付いているテレビの場合

BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「HD入力」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビに出力される信号について

映像出力切換（D1/D3/D4）ボタンを押して「D3」に設定すると、次のように変換されてテレビに出力されます。

	本機が受信する標準テレビ信号、BSデジタル信号またはDVD再生画	本機後面のD1/D3/D4映像出力端子からテレビに出力する信号[*1]
HD デジタルハイビジョン放送	HD (1125i) HD (750p)	HD (1125i)
SD 標準テレビ放送	SD (525p) SD (525i)	HD (1125i)
DVD再生	**DVDを見るときは、次ページの接続図にしたがって接続してください。**	
DVD-RW VR再生	SD (525i)	HD (1125i)

[*1] 本機後面のS映像/映像/音声出力端子からの信号は、映像出力切換の設定に関係なく、常に525i（480i）の SD 標準テレビ放送に変換されて出力されますが、「D1」に設定するとより美しく見ることができます。

ご注意

- 映像出力切換の設定を「D4」に設定すると、750pのBSデジタルの映像が映りません。
- テレビが525pに対応していない場合[*2]は、映像出力切換を「D1」に設定してください。「D3」に設定していると、映像が映りません。対応しているかどうかについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

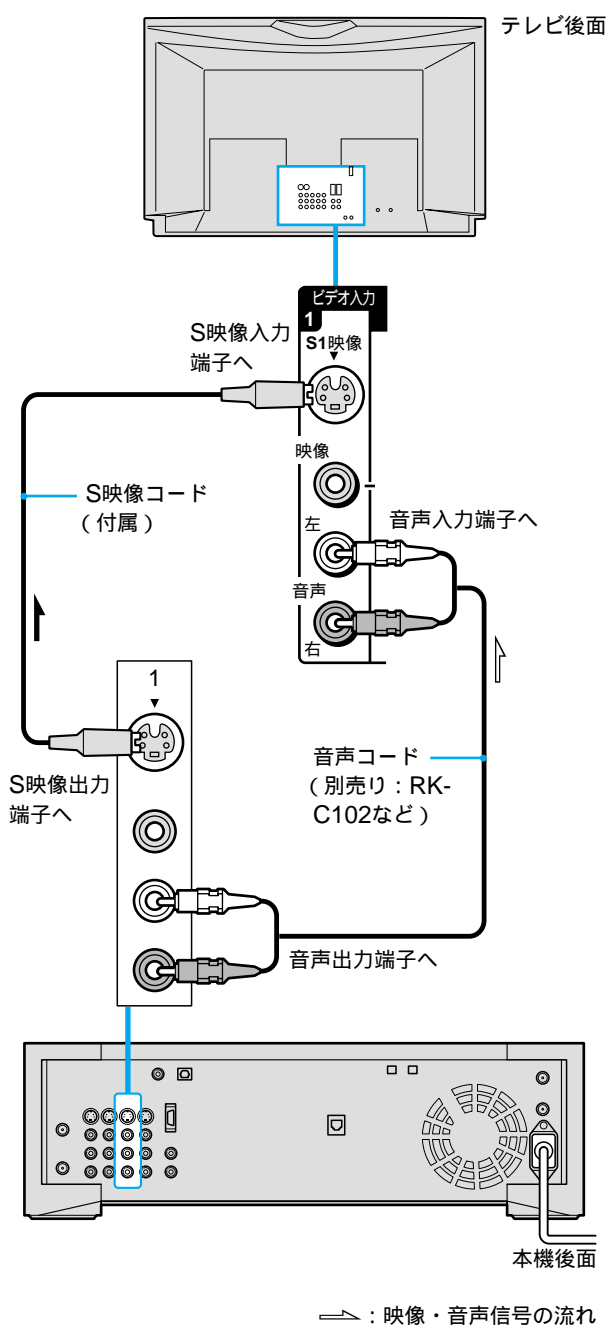
  [*2] 該当するソニー製テレビは下記です。
  - ハイビジョンテレビ（96年以前の発売の下記モデル）：KW-28HD1、KW-28HD2、KW-28HD5、KW-32HD1、KW-HD5、KW-2810HD、KW-3200HD、KW-3210HD、KW-3220HD
  - モニター：KW-32HV50

ちょっと一言

- BDの再生の場合、テレビに出力される信号は録画モードや録画時の受信信号によって異なります。詳しくは、「操作」編の「録画モードを切り換える」をご覧ください。
- テレビの横縦比に画像を合わせるには83ページをご覧ください。

次のページにつづく

DVDを見る

前ページの接続とともに、下の接続と設定を行ってください。
このように接続すれば、テレビの入力切換をビデオにすることで、DVDを見ることができます。出力信号は525i（480i）になります。

ちょっと一言

- BDの再生の場合、テレビに出力される信号は録画モードや録画時の受信信号によって異なります。詳しくは、「操作」編の「録画モードを切り換える」をご覧ください。
- テレビの横縦比に画像を合わせるには83ページをご覧ください。
- 本機後面のS映像/映像/音声出力端子からの信号は、映像出力切換スイッチの位置に関係なく、常に525i（480i）の標準テレビ放送に変換されて出力されますが、「D1」に設定するとより美しく見ることができます。

E D1端子が付いているテレビの場合

ちょっと一言

D1映像端子があるソニー製テレビには、Y, CB, CR入力端子も備えているものがありますが、D1映像入力端子につないでください。より高画質な画像をお楽しみいただけます。

BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「コンポーネント」など）に切り換える。詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビに出力される信号について

映像出力切換（D1/D3/D4）ボタンを押して「D1」に設定すると、次のように変換されてテレビに出力されます。

	本機が受信する標準テレビ信号、BSデジタル信号またはDVD再生画	本機後面のD1/D3/D4映像出力端子からテレビに出力する信号
HD デジタルハイビジョン放送	HD (1125i) HD (750p)	SD (525i)
SD 標準テレビ放送	SD (525p) SD (525i)	
DVD再生	SD (525i)	
DVD-RW VR再生	SD (525i)	

ご注意

映像出力切換の設定を「D4」または「D3」に設定すると、テレビの映像が映りません。

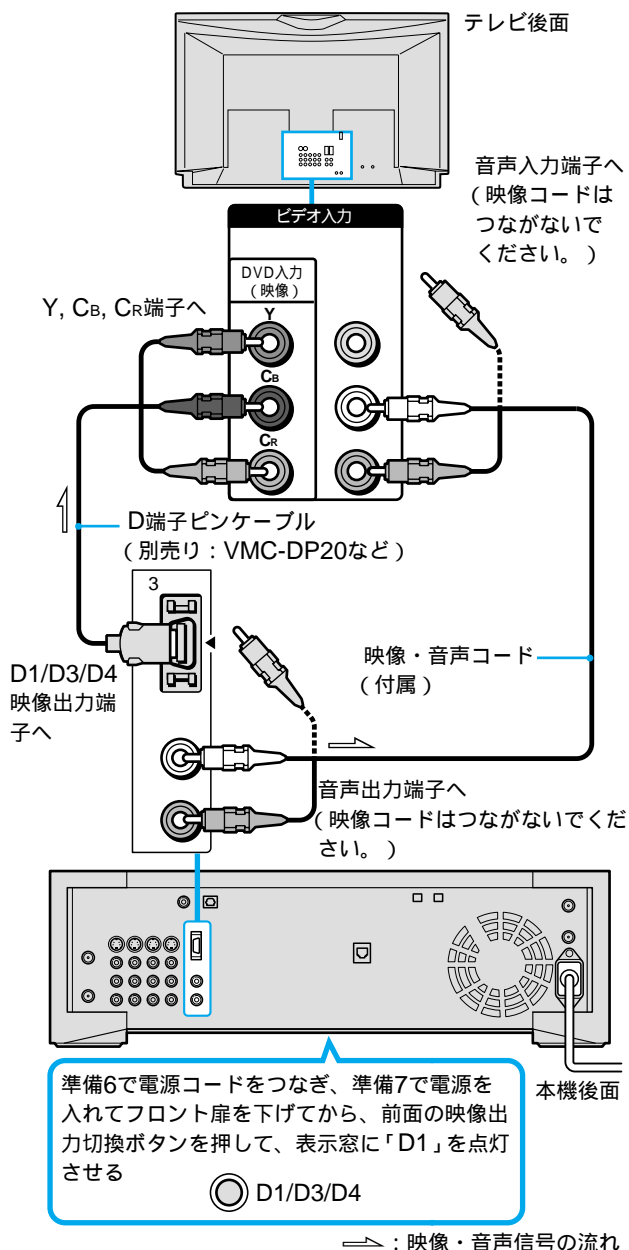
ちょっと一言

- BDの再生の場合、テレビに出力される信号は録画モードや録画時の受信信号によって異なります。詳しくは、「操作」編の「録画モードを切り換える」をご覧ください。
- テレビの横縦比に画像を合わせるには83ページをご覧ください。

準備5：テレビにつなぐ（つづき）

F DVD入力端子（Y, CB, CR）が付いているTVの場合

ちょっと一言

DVD入力端子（Y, CB, CR）があるソニー製テレビには、D1映像端子も備えているものがあります。このときは、D1映像入力端子につないでください。より高画質な画像をお楽しみいただけます（☞前ページ）。

BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「DVD入力」や「ビデオ入力」など）に切り換える。

詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビに出力される信号について

映像出力切換（D1/D3/D4）ボタンを押して「D1」に設定すると、次のように変換されてテレビに出力されます。

	本機が受信する標準テレビ信号、BSデジタル信号またはDVD再生画	本機後面のD1/D3/D4映像出力端子からテレビに出力する信号
HD デジタルハイビジョン放送	HD (1125i) HD (750p)	SD (525i)
SD 標準テレビ放送	SD (525p) SD (525i)	SD (525i)
DVD再生	SD (525i)	SD (525i)*
DVD-RW VR再生	SD (525i)	SD (525i)

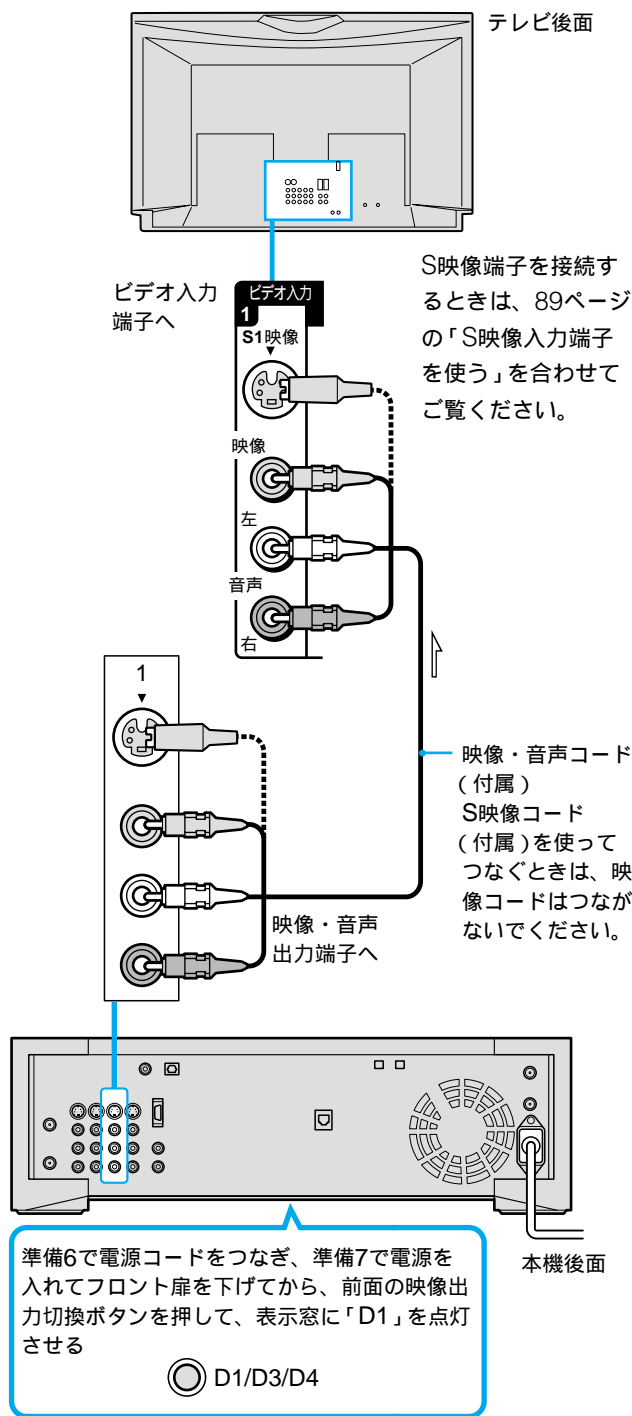
* テレビが525pに対応している場合は、DVDの再生時、映像出力切換を「D3」に設定すると、よりちらつきのない映像で見ることができます。
ただし、テレビを見るときは、映像出力切換を「D1」に設定してください。「D3」のままにしていると、テレビの映像が映りません。

ご注意

映像出力切換の設定を「D4」または「D3」に設定すると、テレビの映像が映りません。

ちょっと一言

- BDの再生の場合、テレビに出力される信号は録画モードや録画時の受信信号によって異なります。詳しくは、「操作」編の「録画モードを切り換える」をご覧ください。
- テレビの横縦比に画像を合わせるには83ページをご覧ください。

G 映像入力端子のみが付いているテレビの場合

⟶：映像・音声信号の流れ

BSデジタルを見るときは

テレビ側で、本機をつないだ端子の入力（「ビデオ1」など）に切り換える。
詳しくは、テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

テレビに出力される信号について

映像出力切換の設定 をD1にしてください。

<table>
<tr><th></th><th>本機が受信する標準テレビ信号、BSデジタル信号またはDVD再生画</th><th>本機後面のD1/D3/D4映像出力端子からテレビに出力する信号</th></tr>
<tr><td>HD デジタルハイビジョン放送</td><td>HD (1125i)
HD (750p)</td><td rowspan="4">SD (525i)</td></tr>
<tr><td>SD 標準テレビ放送</td><td>SD (525p)
SD (525i)</td></tr>
<tr><td>DVD再生</td><td>SD (525i)</td></tr>
<tr><td>DVD-RW VR再生</td><td>SD (525i)</td></tr>
</table>

ちょっと一言

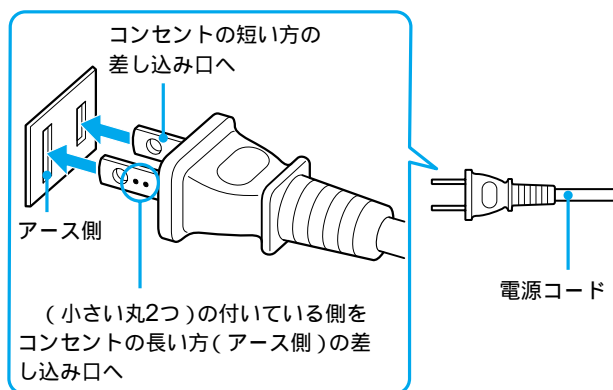
- BDの再生の場合、テレビに出力される信号は録画モードや録画時の受信信号によって異なります。詳しくは、「操作」編の「録画モードを切り換える」をご覧ください。
- テレビの横縦比に画像を合わせるには83ページをご覧ください。

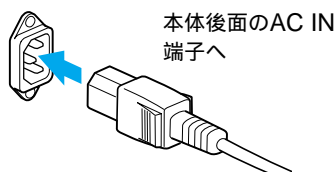
準備6：電源コードをつなぐ

本機およびテレビなどの接続した機器の電源コードを電源コンセントにつなぎます。

電源コードはすべての接続が終わってから差し込んでください。
なお、本機の電源コードは、アンプなどの電源スイッチに連動した電源コンセントにつながないでください。アンプの電源を切ったときに、各種設定の内容が消去されることがあります。

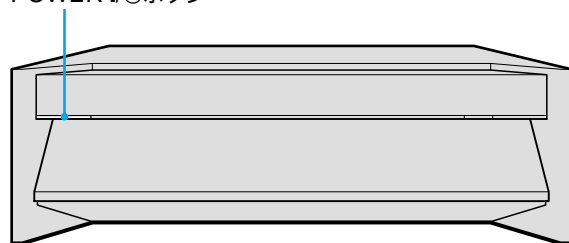
電源コードの極性について

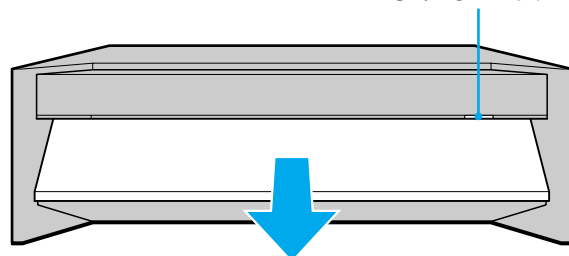
各機器の電源コードの極性を合わせて、より良い音質で音楽をお楽しみいただくために、本機の電源コードの一方には○○が付いています。
○○が付いている側がコンセントの差し込み口の長い方（アース側）にくるように差し込みます。

電源を接続する

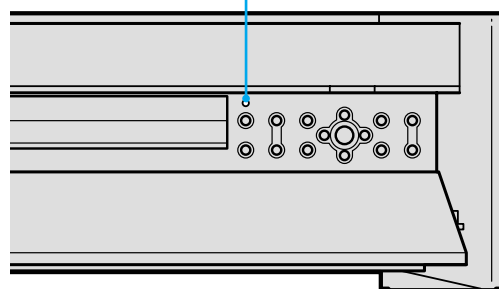
付属の電源コードを本体後面のAC IN端子に接続します。

電源を接続したら
電源コードを接続したら、**そのまましばらくお待ちください。**
コンセントを入れると一度電源が入り作動しますが、しばらくして電源が切れ、待機状態になります。待機状態になるまで約1分かかります。その間は操作ができません。

準備7：電源を入れる

電源を入れて、テレビとの接続方法に合わせて映像出力の設定を行います。

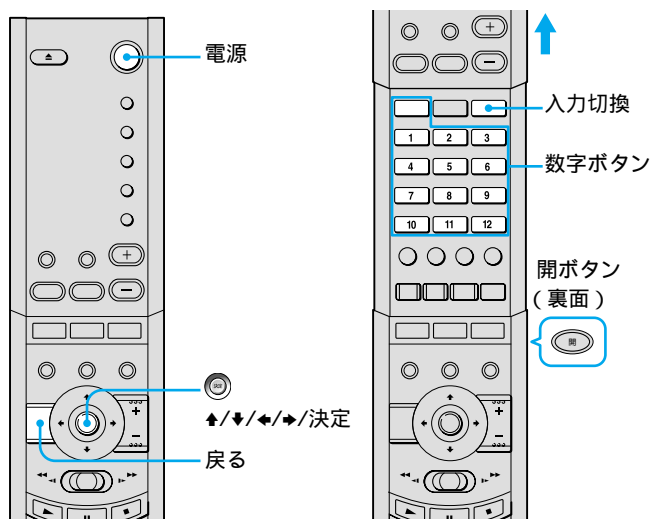
1 本体のPOWER I/⏻（電源）ボタンに軽く触れる。

2 本体のUP/DOWNボタンに軽く触れる。

フロント扉が下がります。

3 本体のD1/D3/D4映像出力切換ボタンを押して、映像出力の設定を行う。

「D1」、「D3」または「D4」を点灯させます。どれを点灯させるかは、準備5で行ったテレビとの接続のしかたによって異なります。

準備8：かんたん初期設定をする

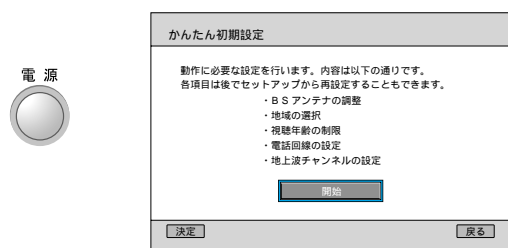
初めて電源を入れたら

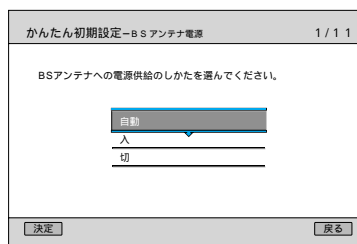
準備7まで正しく進んだ場合、「かんたん初期設定」画面が表示されます。自動的に表示されない場合は、100ページをご覧ください。
かんたん初期設定でひと通りの設定を行うと、本機を使うことができます。

使用するボタン

1 テレビの電源を入れてから、本機をつないだ入力にテレビを切り換える。

2 電源を押して、本機の電源を入れる。

「かんたん初期設定」画面が表示されます。

→

3 決定の真ん中を押して、かんたん初期設定を開始する。

「BSアンテナ電源」を設定する画面が表示されます。

4 決定を↑/↓に動かして［自動］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

マンションなどの共同受信システムのときは

「切」を選び、決定の真ん中を押す。

BSアンテナをつないでいるときは

「入」または「自動」を選び、決定の真ん中を押す。

BSが映ったり消えたりするとき

「入」を選び、決定の真ん中を押す。

●自動	本機の電源を入れたときに、本機がBSアンテナに電源を供給する。本機の電源が切れているときは供給しない。
入	本機の電源と関係なく電源を供給する。
切	電源を供給しない。 「切」を選んだ場合は、手順6に進みます。

●出荷時の設定

5 BSアンテナを動かして、アンテナレベルを調整する。

アンテナレベルができるかぎり最大の数値になるように、アンテナの向きを固定します（☞61ページ）。

次のページにつづく

準備8：かんたん初期設定をする（つづき）

6 の真ん中を押して決定する。

郵便番号を入力する画面が表示されます。

7 お住まいの郵便番号7桁を入力する。

- **を使う**
  ↑/↓に動かして数字を選び、→に動かしてカーソルを次の桁に移動させます。
- **数字ボタンを使う**
  数字ボタンを押すと数字が表示され、カーソルが次の桁に移動します。続けて数字を入力します。

1つ前の画面に戻るには

戻る を押します。

8 7桁目を入力したら、の真ん中を押して決定する。

県域を選ぶ画面が表示されます。

9 を↑/↓に動かして、お住まいの県域を選び、の真ん中を押して決定する。

地域番号を選ぶ画面が表示されます。
お住まいの地域と受信できるチャンネルについて詳しくは、「地域コード一覧」（☞114ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

「東北海道」と「西北海道」は下記の地域です。
「東北海道」：宗谷、上川、留萌、網走、根室、釧路、十勝の各支庁
「西北海道」：石狩、空知、後志、胆振、日高、渡島、桧山の各支庁

ご注意

電波状態によっては、「地域コード一覧」（114ページ）に記載されている放送局が受信できないこともあります。

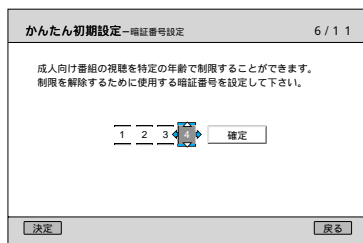
10 を↑/↓に動かして、お住まいの地域を選び、の真ん中を押して決定する。

暗証番号を入力する画面が表示されます。

11 暗証番号を入力する。

視聴年齢制限付き番組（BS放送のみ）の視聴や再生、視聴年齢制限付きDVDディスクの再生を制限するために、暗証番号を設定します。

- **を使う**
  ↑/↓に動かして数字を選び、→に動かしてカーソルを次の桁に移動させます。
- **数字ボタンを使う**
  数字ボタンを押すと数字が表示され、カーソルが次の桁に移動します。続けて数字を入力します。

ご注意

暗証番号を忘れたときは、初期設定で出荷時の状態に戻してから設定し直すか（☞99ページ）、サービス対応になります。暗証番号は忘れないようご注意ください。

12 決定を→に動かして［確定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

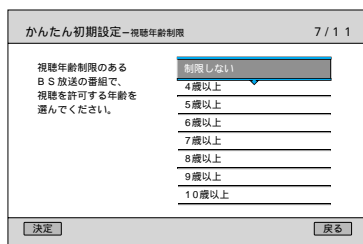
視聴年齢制限を設定する画面が表示されます。

「制限しない」～「20歳以上」で設定できます。

例えば「14歳以上」に設定すると、15歳から視聴可能な番組を視聴するときに暗証番号の入力が必要です。

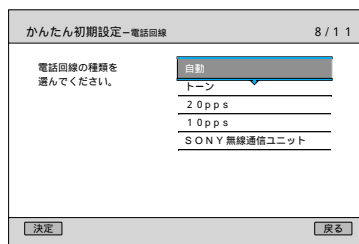
視聴制限をしないときは

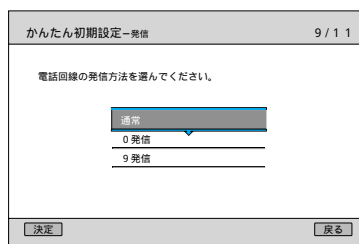
制限年齢を「制限しない」に設定する。

視聴年齢制限付き番組でも暗証番号を入力しないで、見ることができます。

13 決定を↑/↓に動かして設定を選び、決定の真ん中を押す。

電話回線を選ぶ画面が表示されます。

出荷時は、「自動」に設定されています。

- **「自動」でうまく通信できないときは**
  NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されているときは、**「トーン」**を選んでください。請求されていないときは、**「20pps」**を選んでください。
- **ISDN回線などによるターミナルアダプターやダイヤルアップルーターを使っているときは**
  「トーン」を選んでください。
- **別売りのコードレス通信ユニットCTU-50やSPP-TU1を使っているときは**
  「SONY無線通信ユニット」を選んでください。「SONY無線通信ユニット」でうまく通信できないときは**「10pps」**を選んでください。

14 決定を↑/↓に動かして電話回線の設定を選び、決定の真ん中を押して決定する。

発信方法を選ぶ画面が表示されます。

出荷時は、「通常」に設定されています。

- **外線に電話するときに、相手の電話番号にそのまかける場合は**
  「通常」に設定します。
- **外線に電話するときに、電話番号の前に「0」または「9」を付ける場合は**
  寮や会社、学校、団体、法人などでPBX（交換機）を使い、外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」を付ける（0発信する）、または「9」を付ける（9発信する）場合のみ、次のように設定します。
  0発信するとき→「0発信」を選ぶ。
  9発信するとき→「9発信」を選ぶ。

ご注意

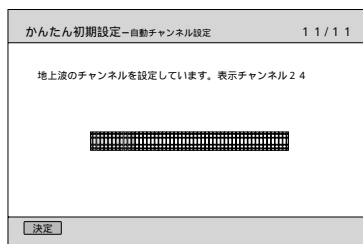
- 会社や法人などでビジネス回線を使っているときは、本機をつなげません。寮やビルの電話回線の管理者に、「2線式一般アナログ回線」を依頼してください。通常、ファクシミリはこの回線に接続されています。
- 引越しなどで外線に電話する方法が変わったときは、必ず発信方法の設定を行ってください。
- BS放送局によっては、ナンバーディスプレイで電話番号を「回線ごとに非通知設定」にしていると通信できないことがあります。NTTに問い合わせて、「回線ごとに非通知設定」を解除してください。

ちょっと一言

電話番号の通知／非通知、および電話会社の設定については、65ページをご覧ください。

次のページにつづく

15 「時刻は自動で取得されています。」と表示されたら、（決定）の真ん中を押して決定する。

「自動チャンネル設定」画面が表示されます。

BS放送受信時に、自動的に時刻を設定できなかったときは

時刻を設定する画面が表示されます。

（決定）を↑/↓に動かして数字を選び、→に動かしてカーソルを次の桁に移動させます。

ご注意

時刻の情報が自動で取得されなかった場合、BSデジタルの番組表が表示されないことがあります。

16 自動チャンネル設定が完了したら、（決定）の真ん中を押して初期設定を終了する。

地上波放送の番組（チャンネル番号が一番低い番組）が表示されます。

ちょっと一言

- 「電話回線を確認してください。」というメッセージが表示された場合は、「電話回線の接続を確認する」（☞65ページ）の手順に従って電話回線の接続を確認してください。
- テレビの横縦比に画像を合わせるには83ページをご覧ください。

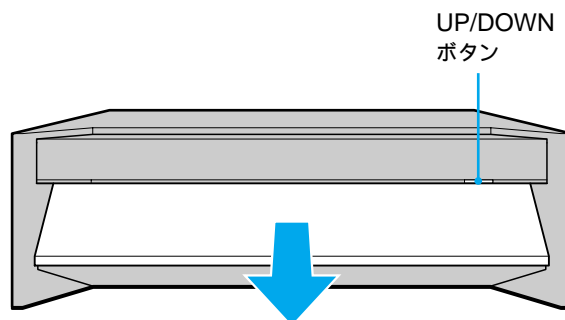
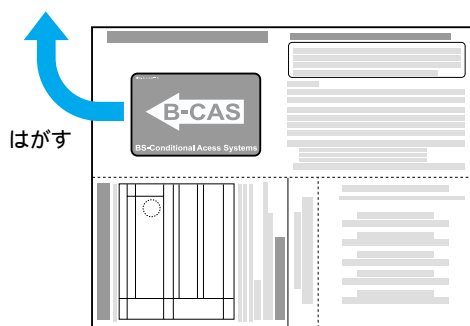
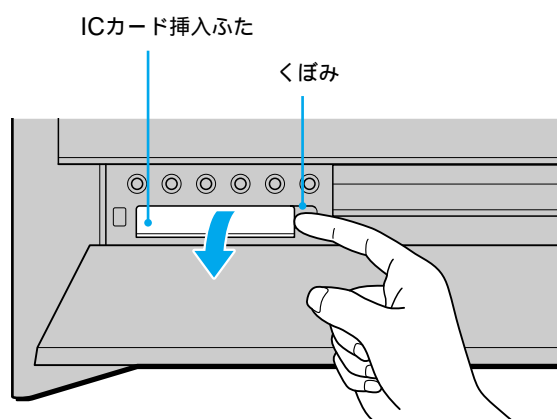
準備9：BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）を入れて登録する

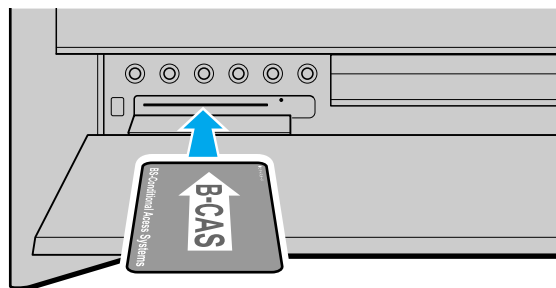
BSデジタル用ICカード（B-CAS*カード）はお客様とBS放送局をつなぐカードで、個々のお客様独自の番号などが記録されています。
BSデジタルでは、このカードを利用してCAS（限定受信システム）が採用されています。
ご登録いただくと双方向サービスが利用できるようになり、放送局からのメッセージを受信できます。
B-CASカードを本機に入れた後、必ずユーザー登録はがきを記入し、投函してください。

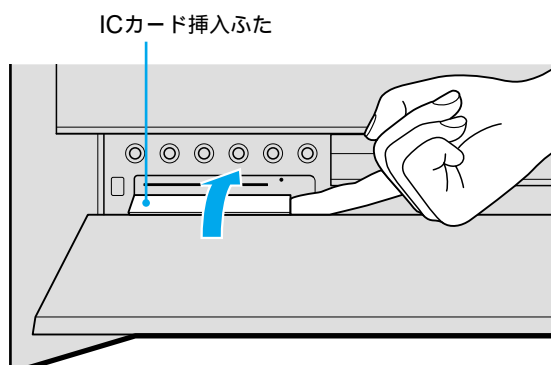
* B-CASは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

ご注意

ユーザー登録をしないと、ペイ・パー・ビュー（PPV）が視聴できなかったり、BSデータ放送の双方向サービスが受けられなかったりします。また、連絡先不明のため、カードの交換や更改などのサービスが受けられません。

1 本体のUP/DOWNボタンに軽く触れて、本機前面のフロント扉を下げる。

2 付属のB-CAS用ユーザー登録はがき台紙からB-CASカードをはがす。

3 ICカード挿入ふたの右側にあるくぼみに指をかけ、挿入ふたを手前に開ける。

4 B-CASカードがロックするまで、矢印の向きにしっかり挿入する。

取り出すときは、カードを押します。カードが少し出てくるので、引き抜いてください。

5 ICカード挿入ふたを閉める。

しっかりと閉めてください。しっかり閉めないと、カードが有効になりません。

6 同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する。

次のページにつづく

ちょっと一言
こんなメッセージが表示されたら...
（ICカードはB-CASカードのことです。）

- 「ICカードとのアクセスが成立しません
  ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください」
  → B-CASカードがロックするまでしっかり入っていない。
  → B-CASカードが前後逆向きに入っている。
  → B-CASカードが表裏逆向きに入っている。
  → B-CASカードが破損している。
  → B-CASカードとは別の種類のカードが入っている。
  → ご覧になっている各放送局のカスタマーセンターまたはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。
- 「ICカードの挿入口のふたを閉めてください」
  → ICカード挿入ふたが開いている。
- 「ICカードを入れてください」
  → B-CASカードを正しく入れてください。
  → B-CASカードが前後逆向きに入っている。
  → B-CASカードがロックするまでしっかり入っていない。
- 「このICカードは使用できません」
  「ICカードを交換してください」
  → ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターまたはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-00-0250）へお問い合わせください。

準備10：各局に視聴を申し込む

加入申し込みが必要な有料BS放送局のカスタマーセンター（お問い合わせ先）一覧

以下のBSは有料放送（NHKのBS受信料も含む）のため、視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。

加入申し込み方法は放送局により異なります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局へお問い合わせください。

また、BSデジタル用ICカード（B-CAS（ビーキャス）カード）を本体のICカード挿入口に入れて、B-CAS用ユーザー登録はがきを投函してください（☞前ページ）。

2002年9月現在の電話番号とホームページアドレスです。

放送局	お問い合わせ電話番号/ホームページアドレス
NHK BS1 NHK BS2 NHK デジタルハイビジョン	番組のお問い合わせは 0570-066066 受付　9:00～23:00 http://www.nhk.or.jp/
WOWOW	0570-008080 （携帯電話などをお使いの方は、045-683-8080） 受付 9:00～20:00 http://www.wowow.co.jp/ テレビ放送のみが、視聴申込が必要な有料放送です。ラジオ放送（WOWOW wave ：491 、492ch）と独立データ放送（WOWOW navi ：791、792ch）は無料放送です。

スター・ チャンネルBS	0570-010-110 （携帯電話などをお使いの方は、045-339-1555） 受付 10:00〜20:00 http://www.star-ch.co.jp/ テレビ放送のみが、視聴申込が必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。
セント・ギガ	0120-336-765 受付 10:00〜21:00 http://www.stgiga.co.jp/ ラジオ放送のみが、視聴申込が必要な有料放送です。独立データ放送（633 、636ch）は無料放送です。

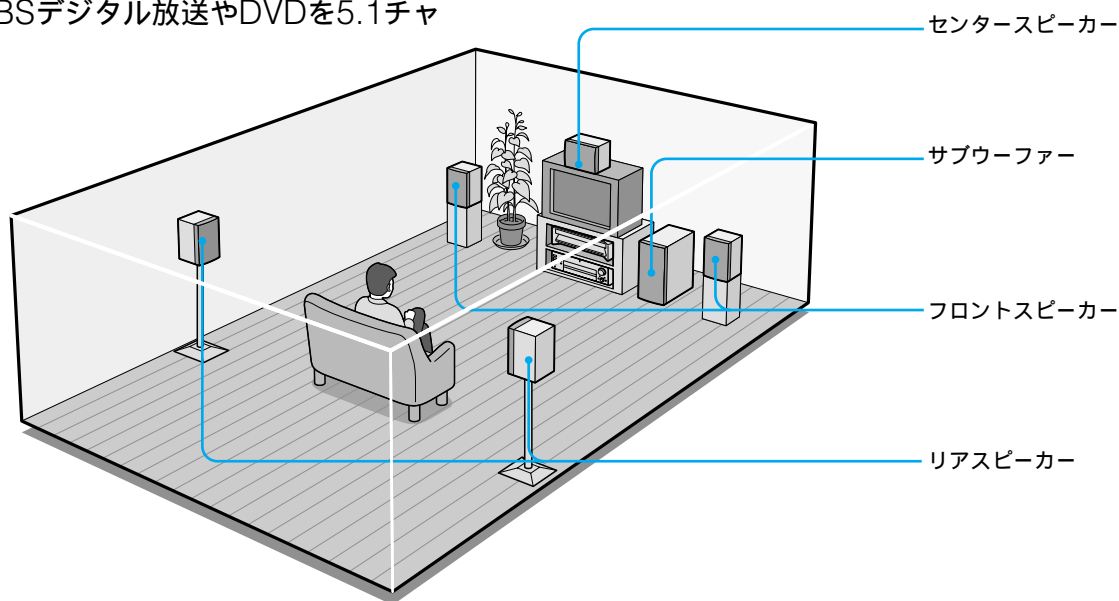
ご注意

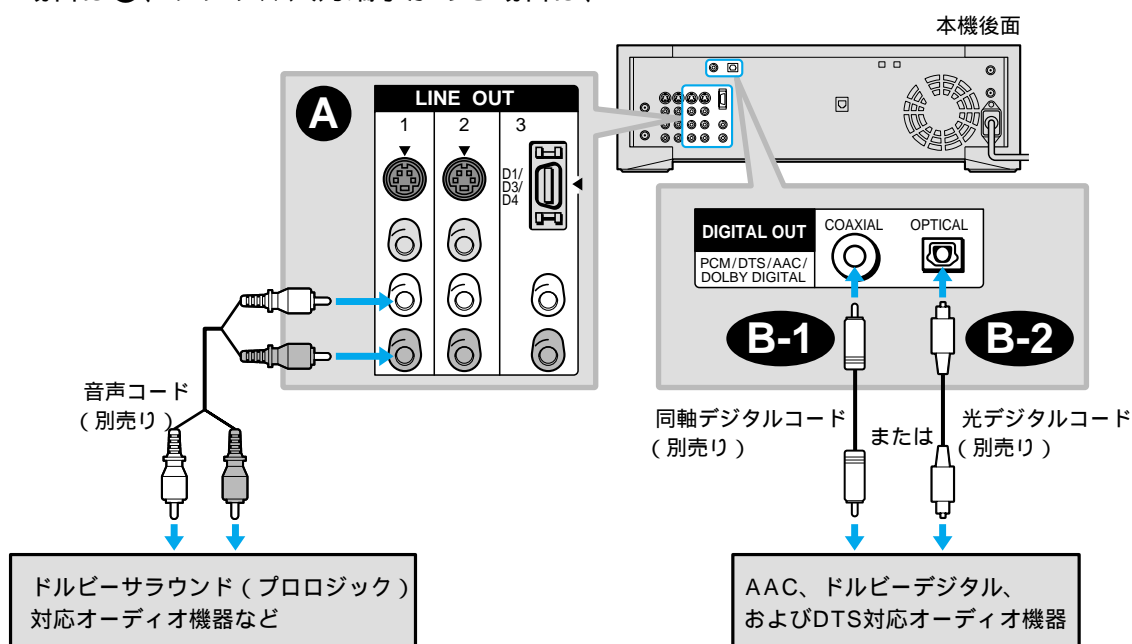
加入申し込みを行わずに、NHK（BS1、BS2、デジタルハイビジョン）を受信すると、テレビ画面に連絡をお願いする案内が、自動表示されることがあります。

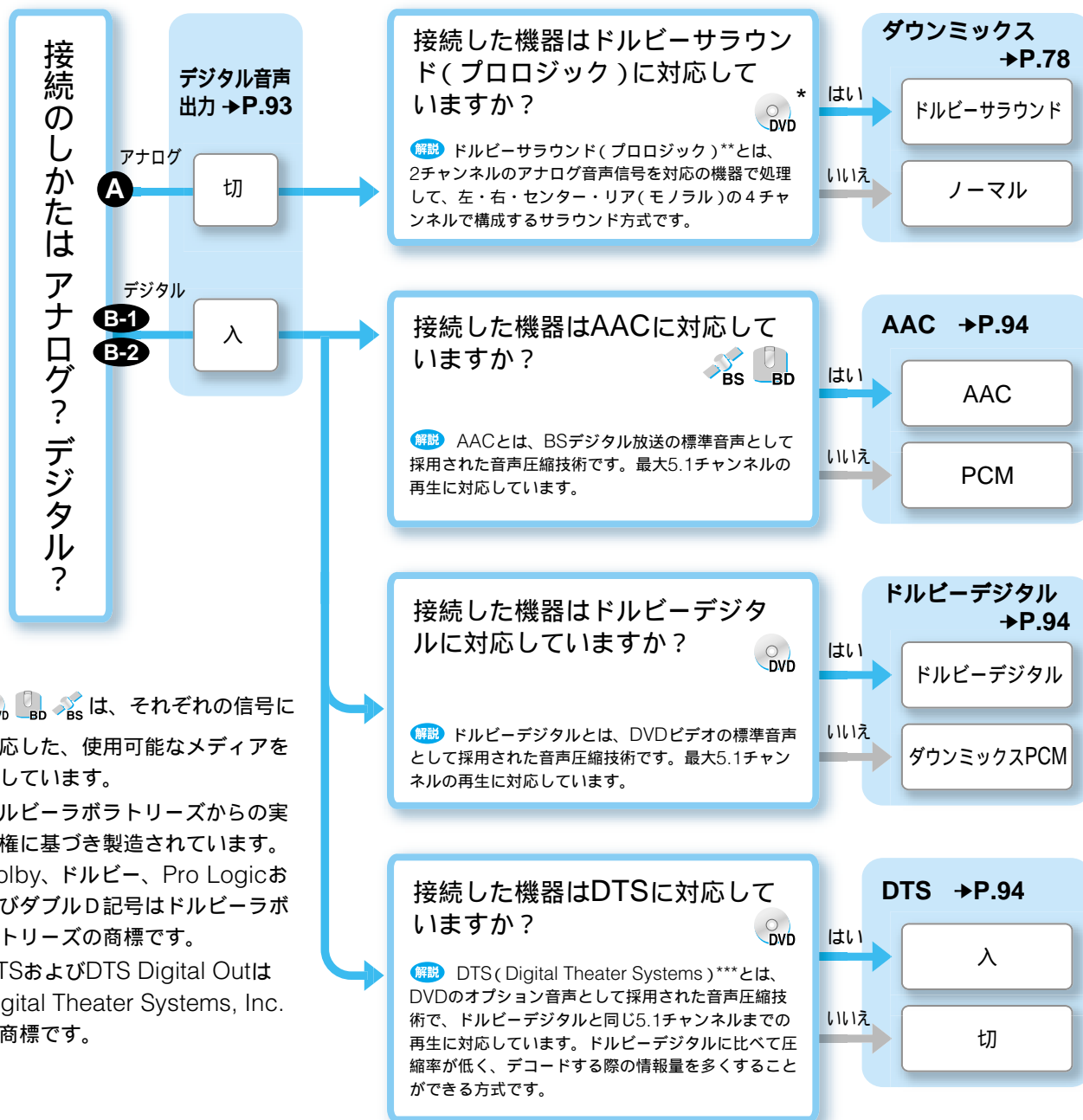
臨場感のある音声を楽しむ

6本のスピーカーを使ってサラウンド音声を楽しむ

本機のデジタル音声出力は、MPEG-2 AAC、ドルビーデジタルおよびDTSのサラウンド方式に対応しています。それぞれの方式に対応した機器（アンプ、デコーダー付きテレビなど）に接続すれば、BSデジタル放送やDVDを5.1チャンネルのサラウンドで聞くことができます。

サラウンドを充分に楽しむためには、5.1ch入力対応のオーディオ機器に加えて、5本のスピーカーとサブウーファーが必要です。

本機をアンプなどのオーディオ機器につなぐ

接続する機器がアナログかデジタルかで接続のしかたが異なります。アナログ入力端子しかない場合はⒶ、デジタル入力端子がある場合は、接続機器の端子に合わせてB-1またはB-2の方法で接続してください。

接続した機器に応じた設定をする

接続した機器が対応している音声方式によって、本機の音声出力の設定が異なります。下図にしたがって、接続した機器に応じた設定を行ってください。設定について詳しくは、各設定項目の参照ページをご覧ください。接続する機器が対応している音声方式については、接続する機器に付属の取扱説明書でご確認ください。

* DVD BD BS は、それぞれの信号に対応した、使用可能なメディアを表しています。

** ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

***DTSおよびDTS Digital OutはDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

地上波設定

チャンネルの番号をテレビに合わせる（ガイドチャンネル）

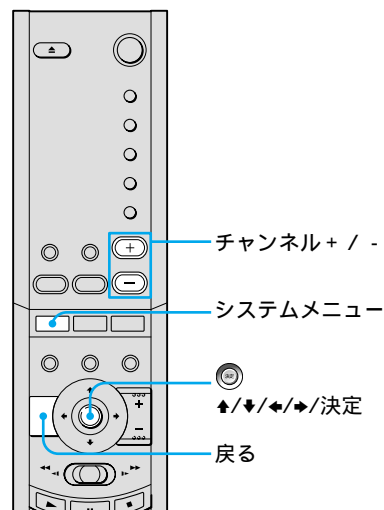
かんたん初期設定（☞33ページ）でチャンネルを合わせれば、お住まいの地域で受信できるチャンネルがご覧になれます。
ただしチャンネルを自動で合わせたときには、これまでご覧になっていたチャンネルと違うチャンネルになる場合があります。
例：テレビではNHK教育テレビが3チャンネルなのに、本機では50チャンネルになった
このようなときは、手動でテレビと同じチャンネルに変えることができます。

この手順で行う操作

チャンネルの番号をテレビと合わせるために、手順1～12で、次の2種類の設定の変更をします。

- **チャンネルの番号を変える（手順1～6）**
  画面に表示されるチャンネルをテレビと同じ番号に変えます。
- **Gガイドの設定を変える（手順7～12）**
  変えたチャンネルの番号にGガイドの設定を合わせます。この操作をしないと、Gガイド予約で正しく録画できません。

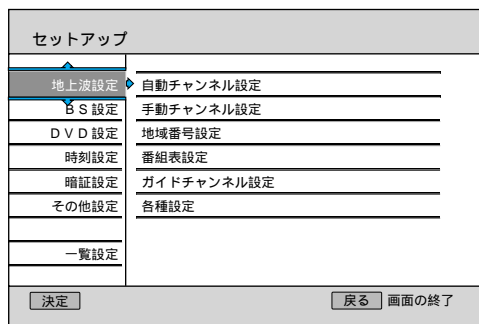
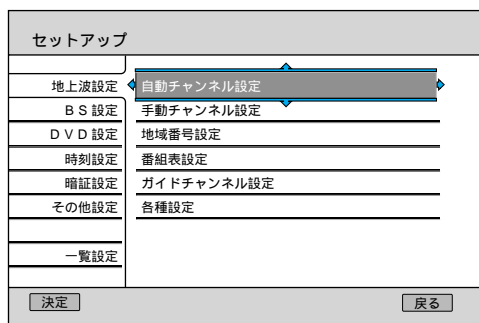
使用するボタン

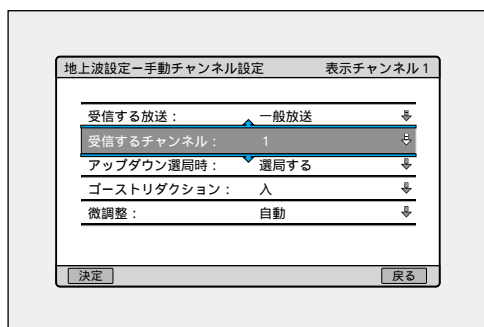
図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**
システムメニューが表示されます。
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

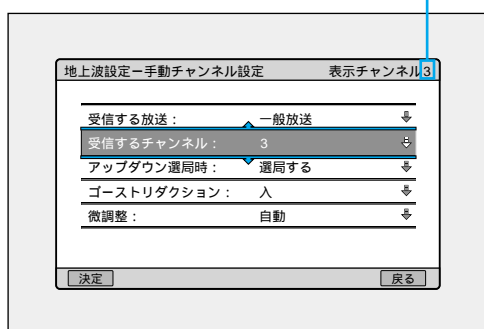
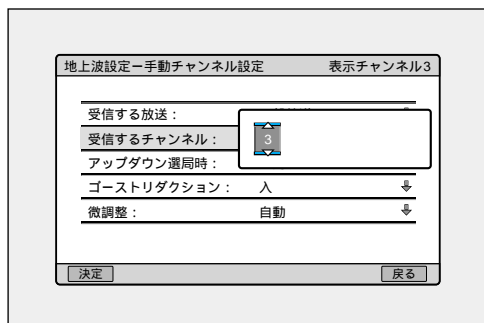
2 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**
「セットアップ」画面が表示されます。

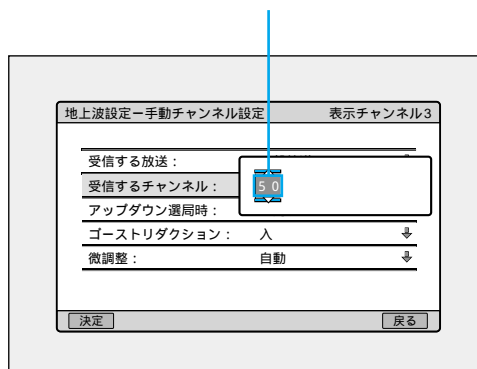
セットアップ

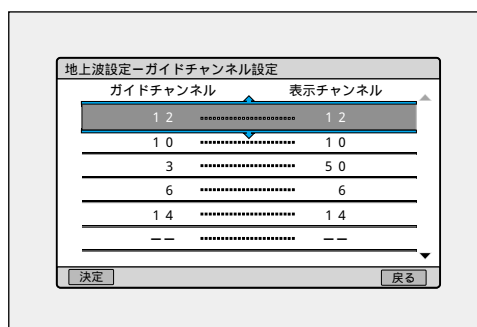
地上波設定	自動チャンネル設定
ＢＳ設定	手動チャンネル設定
ＤＶＤ設定	地域番号設定
時刻設定	番組表設定
暗証設定	ガイドチャンネル設定
その他設定	各種設定
一覧設定	

決定　戻る 画面の終了

3 **決定を↑/↓に動かして［地上波設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

4 ［決定］を↑/↓に動かして［手動チャンネル設定］を選び、［決定］の真ん中を押して決定する。

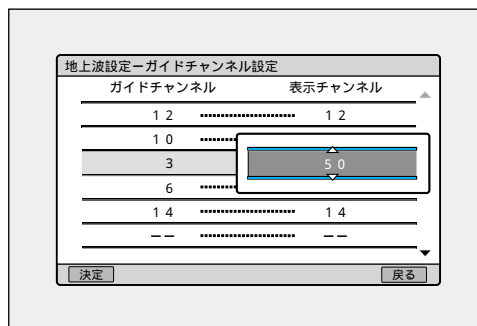
「手動チャンネル設定」画面が表示されます。

5 ⊕/⊖で設定したい表示チャンネルを選ぶ。

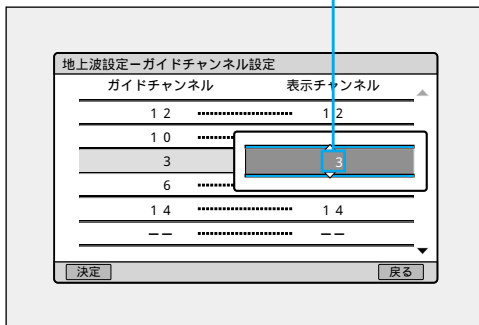
例：50チャンネルを3チャンネルに変えたいときは、ここ（表示チャンネル）を3にする

6 ［決定］を↑/↓に動かして［受信するチャンネル］を選び、［決定］の真ん中を押して決定する。

7 ［決定］を↑/↓に動かして受信するチャンネル番号を選び、［決定］の真ん中を押して決定する。

例：50チャンネルを3チャンネルに変えたいときは、ここ（受信チャンネル）を50にする

8 ［戻る］を押して［地上波設定］に戻る。

9 ［決定］を↑/↓に動かして［ガイドチャンネル設定］を選び、［決定］の真ん中を押して決定する。

10 ［決定］を↑/↓に動かして、手順7で選んだ受信チャンネルを表示チャンネル欄で選び、［決定］の真ん中を押して決定する。

地上波設定

次のページにつづく

11 **決定を↑/↓に動かして、表示したいチャンネル番号を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

例：50チャンネルの表示を3チャンネルに変えたいときは、ここ（表示チャンネル）を3にする

12 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

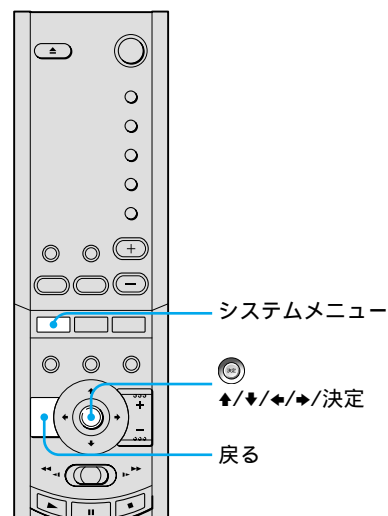
変更前のチャンネルをとばすには

チャンネルの番号をテレビに合わせると、合わせたチャンネルの他に、変更前のチャンネルでも、同じ放送局が映ります。

例：本機で映るNHK教育テレビを3チャンネルに変えたが、50チャンネルでも映る
このような場合、「不要なチャンネルをとばす」（☞48ページ）で、映らないようにできます。

Gガイドチャンネルを追加する

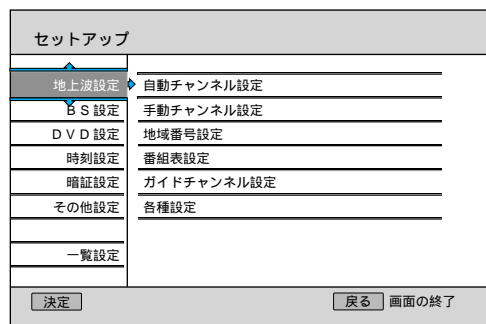
「手順8：かんたん初期設定をする」（☞33ページ）で設定した地域番号に含まれる放送局の他にご覧になれる放送局があるときは、Gガイドを利用できるように、チャンネルを追加します。追加する放送局のガイドチャンネルは、「地域コード一覧」（☞114ページ）をご覧ください。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**

システムメニューが表示されます。
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 [決定]を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、[決定]の真ん中を押して決定する。

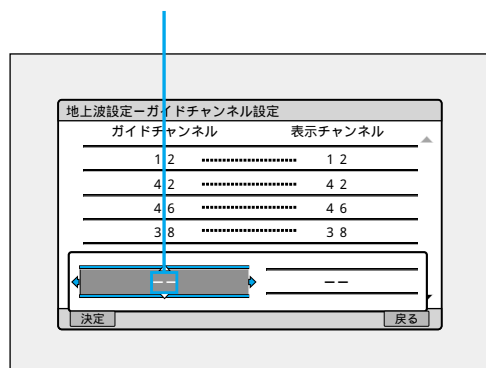
「セットアップ」画面が表示されます。

3 [決定]を↑/↓に動かして［地上波設定］を選び、[決定]の真ん中を押して決定する。

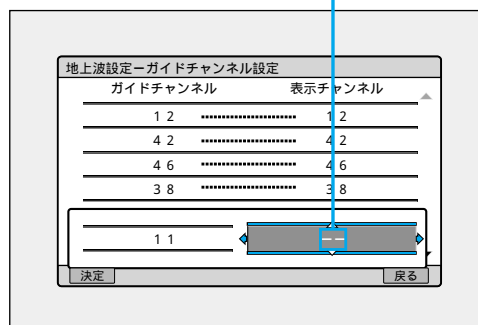
4 [決定]を↑/↓に動かして［ガイドチャンネル設定］を選び、[決定]の真ん中を押して決定する。

「ガイドチャンネル設定」画面が表示されます。

5 [決定]を↓に動かして、空欄の行を選び、[決定]の真ん中を押して決定する。

6 [決定]を↑/↓に動かして、追加する放送局のガイドチャンネル番号を選び、[決定]の真ん中を押して決定する。

例：小田原にお住まいの方が、静岡放送（ガイドチャンネル：11、表示チャンネル：11）を追加するときは、ここ（ガイドチャンネル）を「11」にする。

7 [決定]を↑/↓に動かして、追加する放送局の表示チャンネル番号を選び、[決定]の真ん中を押す。

例：小田原にお住まいの方が、静岡放送（ガイドチャンネル：11、表示チャンネル：11）を追加するときは、ここ（表示チャンネル）を「11」にする。

手順5～7を繰り返して、チャンネルを追加します。

8 [システムメニュー]を押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

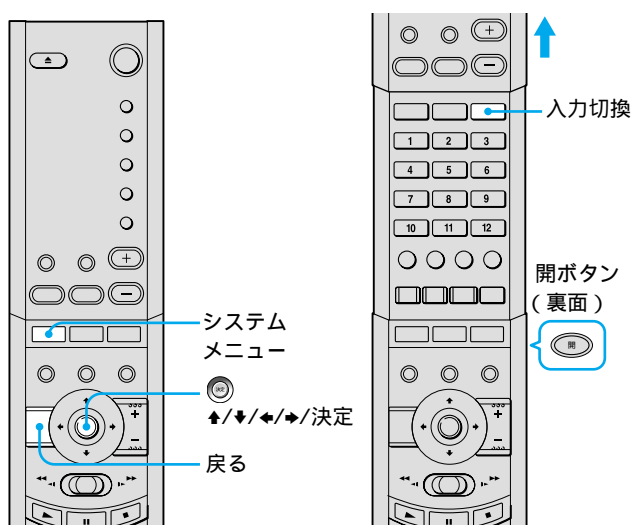
ちょっと一言

番組データから局名情報を取得できる場合は、番組表には放送局名が表示され、取得できない場合はチャンネル番号が表示されます。

地上波のチャンネルを設定する

チャンネルを1つ1つ設定します。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

セットアップ

地上波設定	自動チャンネル設定
ＢＳ設定	手動チャンネル設定
ＤＶＤ設定	地域番号設定
時刻設定	番組表設定
暗証設定	ガイドチャンネル設定
その他設定	各種設定
一覧設定	

決定　戻る　画面の終了

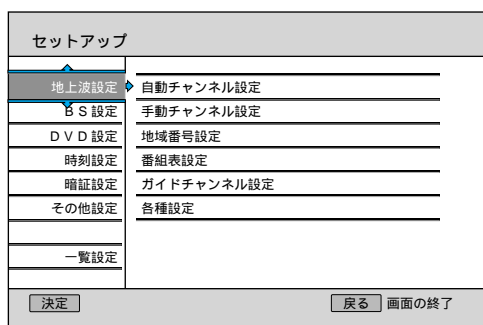
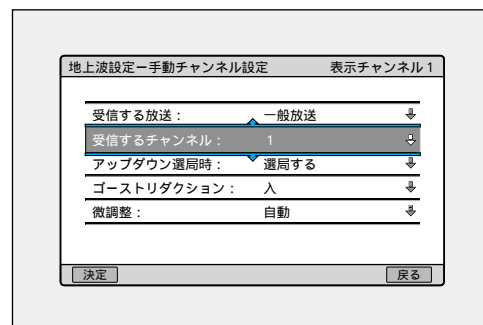
3 決定を↑/↓に動かして［地上波設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

4 決定を↑/↓に動かして［手動チャンネル設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「手動チャンネル設定」画面が表示されます。

地上波設定ー手動チャンネル設定　表示チャンネル１

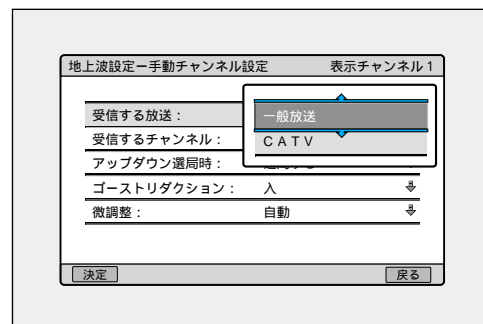
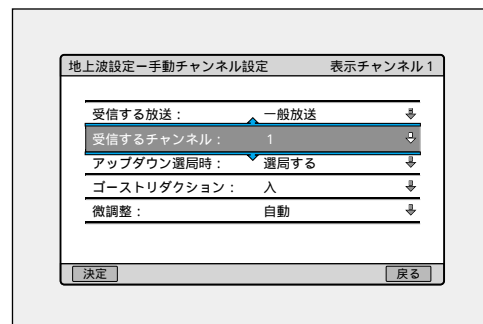
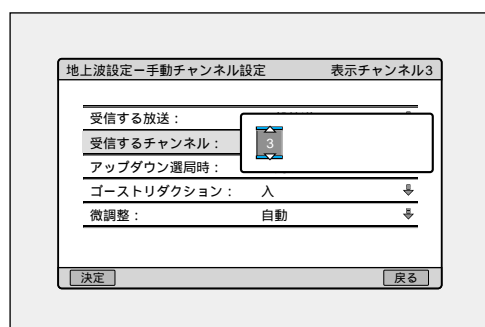
受信する放送：	一般放送
受信するチャンネル：	1
アップダウン選局時：	選局する
ゴーストリダクション：	入
微調整：	自動

決定　戻る

5 ＋/－で設定したい表示チャンネルを選ぶ。

6 決定を↑/↓に動かして［受信する放送］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

地上波設定ー手動チャンネル設定　表示チャンネル１

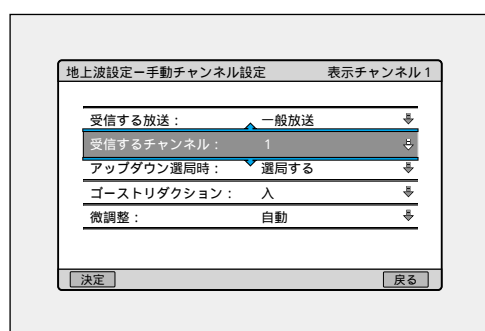
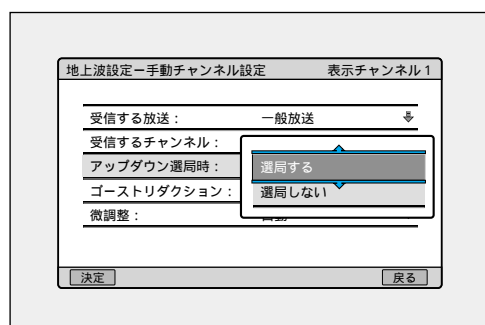
受信する放送：	一般放送
受信するチャンネル：	ＣＡＴＶ
アップダウン選局時：	
ゴーストリダクション：	入
微調整：	自動

決定　戻る

7 決定を↑/↓に動かして［一般放送］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

地上波設定ー手動チャンネル設定　表示チャンネル１

受信する放送：	一般放送
受信するチャンネル：	1
アップダウン選局時：	選局する
ゴーストリダクション：	入
微調整：	自動

決定　戻る

8 を↑/↓に動かして［受信するチャンネル］を選び、の真ん中を押して決定する。

9 を↑/↓に動かして、受信するチャンネル番号を選び、の真ん中を押して決定する。

10 を↑/↓に動かして［アップダウン選局時］を選び、の真ん中を押して決定する。

11 を↑/↓に動かして［選局する］を選び、の真ん中を押して決定する。

12 手順5～10を繰り返して、チャンネルを設定する。

13 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

自動チャンネル設定をするには

かんたん初期設定（☞33ページ）で入力した地域番号をもとに自動的にチャンネルを設定できます。

前ページの手順4で［自動チャンネル設定］を選び、表示される画面で［実行］を選ぶと、自動チャンネル設定が始まります。自動チャンネル設定が終了すると、地上波放送の番組が表示されます。

次のページにつづく

CATVを受信するには

1 **CATVチューナーで、受信したいチャンネルを選ぶ。**

2 **リモコンの 入力切換 を押して、テレビ画面に「入力1」または「入力2」を出す。**
CATVチューナーを入力1端子につないでいるときは「入力1」を、入力2端子につないでいるときは「入力2」を出します。

CATVのVHF/UHF放送のチャンネルを本機で受信するには

CATVのVHF/UHF放送の中には、本機で受信できるチャンネルもあります。

1 **F型コネクター付き同軸ケーブル（別売り）で、本機のVHF/UHF入力端子とCATVチューナーのVHF/UHF出力端子をつなぐ。**

2 **「地上波のチャンネルを設定する」の手順1〜5を行う。**

3 **決定を↑/↓に動かして［CATV］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

4 **決定を↑/↓に動かして［受信するチャンネル］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

5 **決定を↑/↓に動かして、受信するチャンネル番号を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

6 **決定を↑/↓に動かして［アップダウン選局時］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

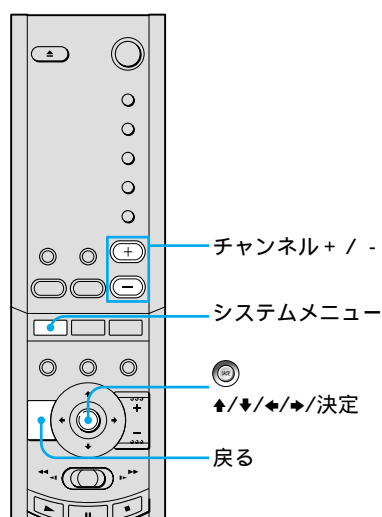
7 **決定を↑/↓に動かして「選局する」を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

8 **手順3から7を繰り返して、チャンネルを設定する。**

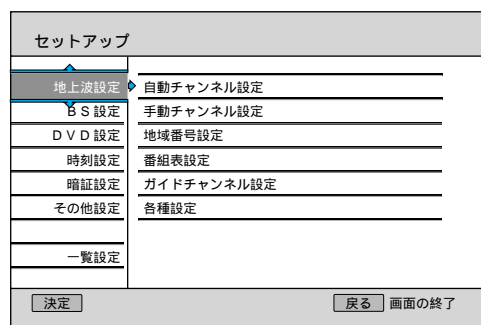
9 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

不要なチャンネルをとばす（アップダウン選局）

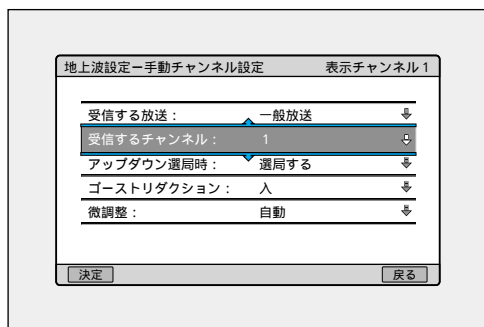
不要なチャンネルを映らないようにします。
＋/－でチャンネルを選ぶと、映るように設定したチャンネルだけを見ることができます。

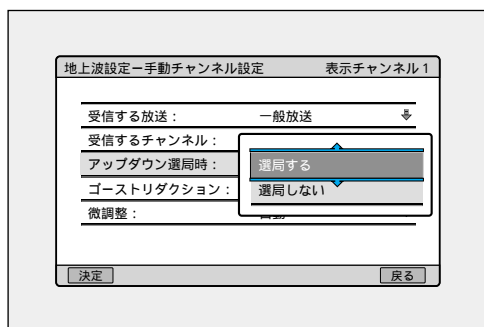
使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**
システムメニューが表示されます。
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**
「セットアップ」画面が表示されます。

3 を↑/↓に動かして［地上波設定］を選び、の真ん中を押して決定する。

4 を↑/↓に動かして［手動チャンネル設定］を選び、の真ん中を押して決定する。

「手動チャンネル設定」画面が表示されます。

5 /で表示チャンネルをとばしたいチャンネルにする。

6 を↑/↓に動かして［アップダウン選局時］を選び、の真ん中を押して決定する。

7 を↑/↓に動かして［選局しない］を選び、の真ん中を押して決定する。

8 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

ちょっと一言

「選局しない」に設定をしたチャンネルは、/を使ってとばしたときに映らなくなります。

ご注意

- 「選局しない」に設定したチャンネルは、表示されなくなります。
- 番組の表示チャンネルをとばすと、その番組を予約録画できなくなります。

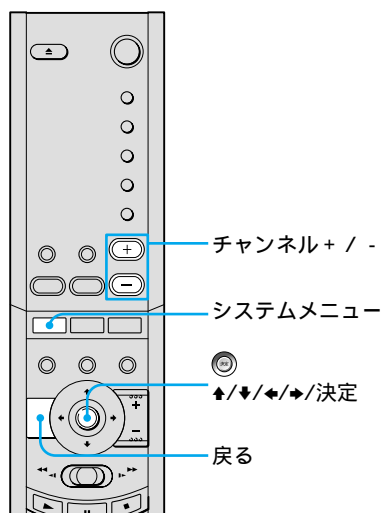
とばしたチャンネルを再度視聴できるようにするには

「不要なチャンネルをとばす」の手順7で「選局する」を選びます。

受信状態を調整する（ゴーストリダクション／微調整）

本機では地上波放送の受信状態を自動的に調整するので、何もしなくてもきれいな画像をお楽しみいただけます。それでも映りが悪いときは、手動で調整してください。

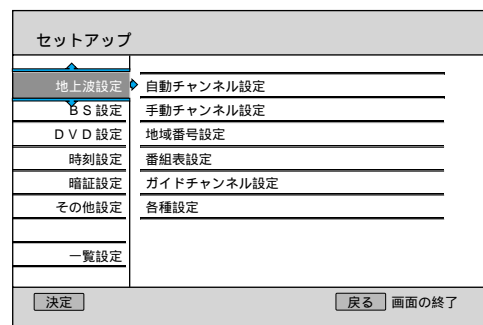
使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**

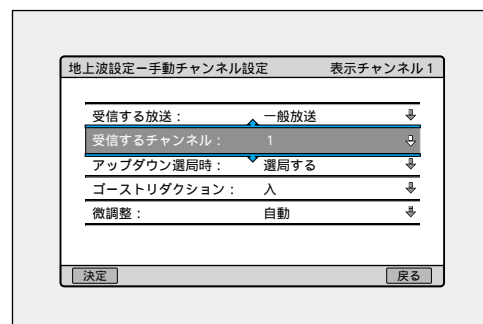
システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

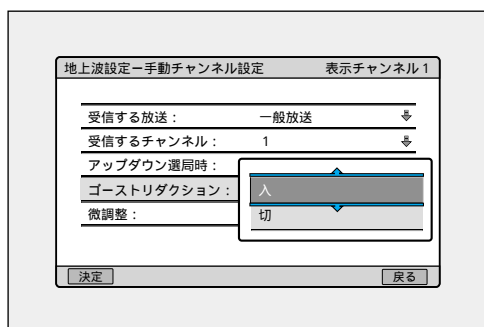
「セットアップ」画面が表示されます。

3 **決定を↑/↓に動かして［地上波設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

4 **決定を↑/↓に動かして［手動チャンネル設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「手動チャンネル設定」画面が表示されます。

5 **＋/－で表示チャンネルをゴーストリダクション機能を使用したいチャンネルまたは微調整したいチャンネルにする。**

続けて、「ゴーストリダクション」または「微調整」の手順に従って受信状態を調整します。

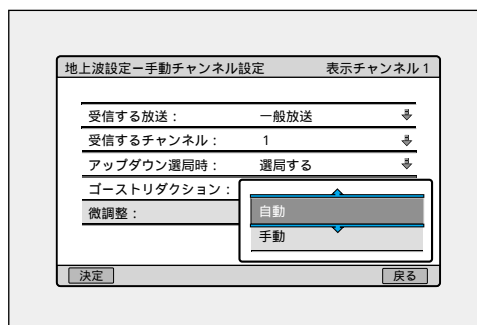
ゴーストリダクション

1 **を↑/↓に動かして［ゴーストリダクション］を選び、の真ん中を押して決定する。**

2 **を↑/↓に動かして［入］を選び、の真ん中を押して決定する。**

3 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

微調整

1 **を↑/↓に動かして［微調整］を選び、の真ん中を押して決定する。**

2 **を↑/↓に動かして［手動］を選び、の真ん中を押して決定する。**

3 **を←/→に動かして、画面を見ながらきれいに映るように調整し、の真ん中を押して決定する。**

4 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

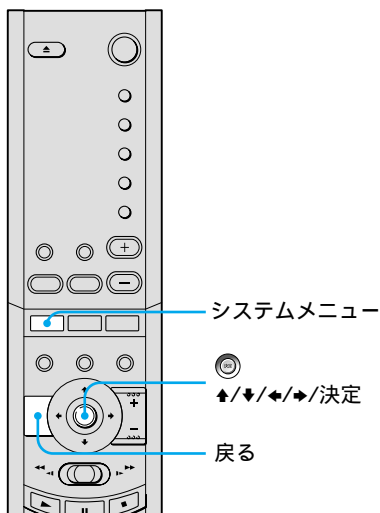
受信状態を自動調整に戻すには

「微調整」の手順2で、［自動］を選び、を押します。

音声をステレオで受信する（自動ステレオ受信）

本機では、ステレオ放送は自動的にステレオで聞くことができます。ステレオ放送で雑音が多くなる場合は、モノラルでお聞きください。

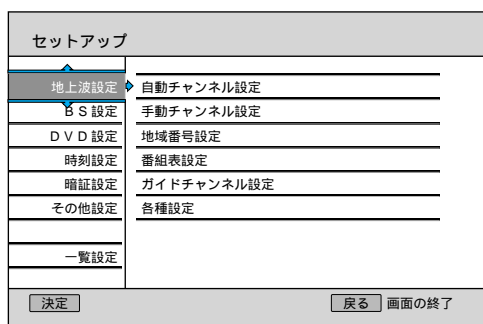
使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

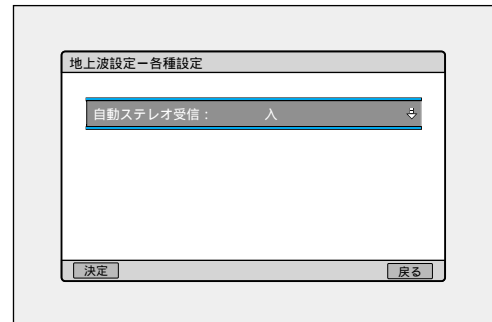
システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

3 を↑/↓に動かして［地上波設定］を選び、の真ん中を押して決定する。

4 を↑/↓に動かして［各種設定］を選び、の真ん中を押して決定する。

「各種設定」画面が表示されます。

5 もう一度の真ん中を押す。

6 を↑/↓に動かして［入］を選び、の真ん中を押して決定する。

●入	ステレオ放送がステレオで聞ける（通常はこの位置にする）。
切	ステレオ放送でもモノラルになる（雑音が多いときにこの位置にする）。

●出荷時の設定

7 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

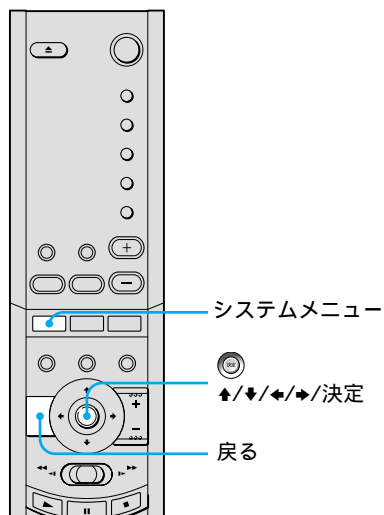
地域番号を設定する

本機で地上波番組表データを受信するには、お住まいの地域の地域番号を入れる必要があります。
地域番号とは、同じ放送局でも地域によってチャンネルが違うため、その地域で地上波番組表データの受信ができるチャンネルを設定するための番号です。

選ぶ地域番号を迷ったときは

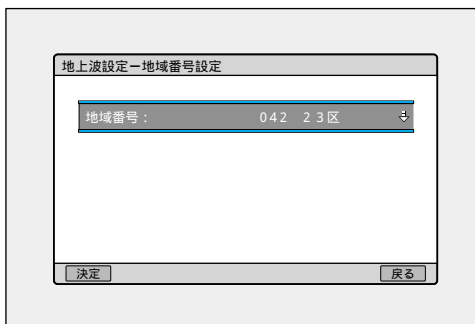
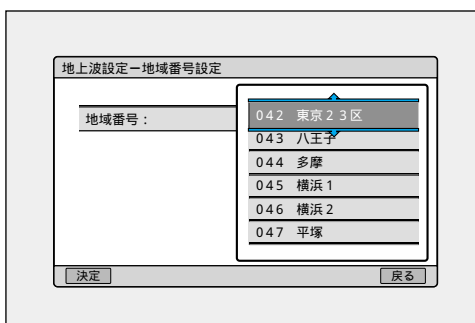
お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号（「地域コード一覧」（☞114ページ））を選びます。お住まいの地域の放送局は、新聞のテレビ欄などで確認できます。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**
システムメニューが表示されます。
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**
「セットアップ」画面が表示されます。

3 **決定を↑/↓に動かして［地上波設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

4 **決定を↑/↓に動かして［地域番号設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**
「地域番号設定」画面が表示されます。

5 **もう一度決定の真ん中を押す。**
地域番号の一覧が表示されます。

6 **決定を↑/↓に動かして、お住まいの地域番号を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

次のページにつづく

地上波設定

7 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

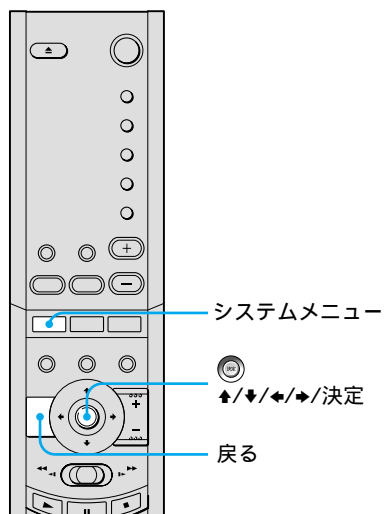
地上波番組表データを受信する放送局や時刻を設定する

お住まいの地域により、放送局が地上波番組表データを送信している時刻が決まっています。
本機は1日に数回、地上波番組表データを受信して更新します。かんたん初期設定を行うと、本機が自動的に地域ごとの受信時刻を設定します。
放送局などの都合で、データ送信時刻が変更されることがあります。その場合だけは、時刻を変更してください。
詳しくは、お客様ご相談センター（☞裏表紙）へお問い合わせください。

ご注意

- 「接続と準備」が終わってから地上波番組表データを受信するまでに、1日程度かかることがあります。地上波番組表データの受信/更新中は、地上波番組表は空欄になります。
- 電波状況によっては、地上波番組表データを受信できない場合があります。また、気象条件などにより、地上波番組表データを受信/更新できないこともあります。これらの場合、地上波番組表は空欄になります。地上波番組表について詳しくは、112ページをご覧ください。
- 本機の日付と時刻が正しく設定されていないと、地上波番組表データを受信/更新できません。
- 放送局側の都合により、地上波番組の内容や放送時間が変更になることがあります。本機での予約は、放送局側の都合による変更には対応できません。
- 引越した場合は、受信する放送局が同じであっても、最適な地上波番組表データの受信のために「かんたん初期設定」をやり直すことをおすすめします（☞100ページ）。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

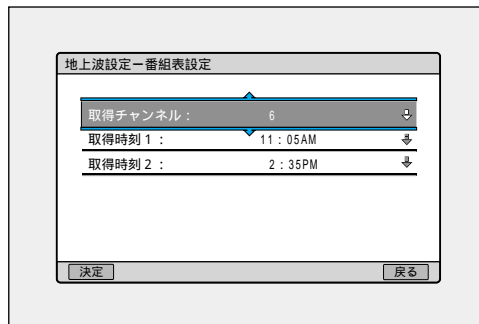
2 決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

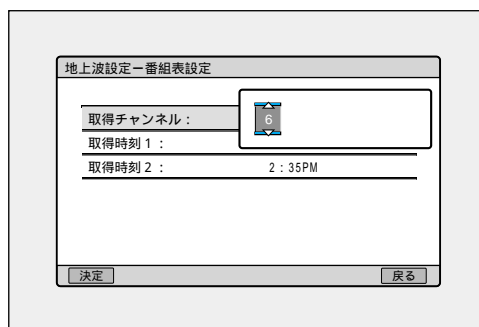
3 決定を↑/↓に動かして［地上波設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

4 決定を↑/↓に動かして［番組表設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「番組表設定」画面が表示されます。

「地域番号」を設定していないときは、「地域番号設定」画面が表示されます。一覧の中からお住まいの地域番号を選んで選んで決定を押します。

続けて、「放送局を設定する」や「取得時刻を設定する」の手順に従って地上波番組表データを受信する放送局や時刻を設定します。

放送局を設定する

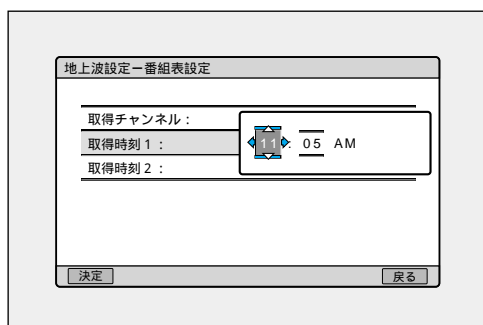
1 決定を↑/↓に動かして［取得チャンネル］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

2 決定を↑/↓に動かして、放送局のチャンネル番号を選び、決定の真ん中を押して決定する。

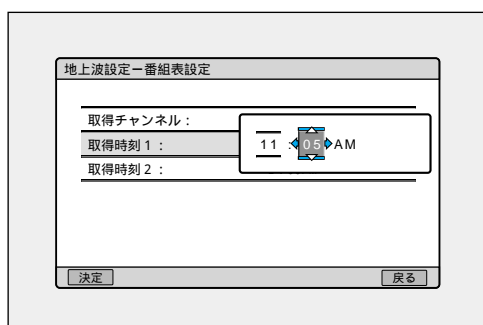
地上波設定

3 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

取得時刻を設定する

1 **決定を↑/↓に動かして［取得時刻1］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

2 **決定を↑/↓に動かして、「時」を設定し、決定を→に動かす。**

同じように「分」を設定します。

3 **「分」まで入力したら、決定の真ん中を押して決定する。**

地上波番組表データを受信する時刻が設定されます。

4 **続けて別の時刻を設定したいときは、決定を↑/↓に動かして［取得時刻2］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

手順2と3を繰り返して、時間を設定します。

設定しない場合は、手順5に進みます。

5 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

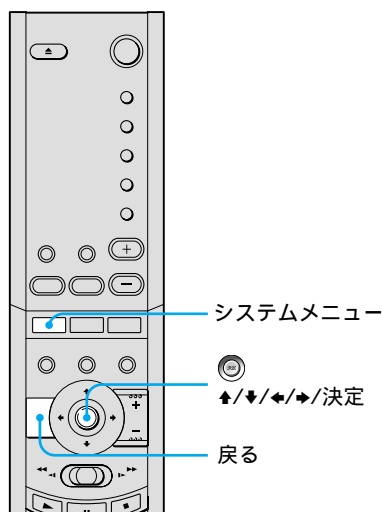
もう一度押すと、システムメニューが消えます。

BS設定

リモコンに好みのBSチャンネルを登録する（ダイレクト選局設定）

出荷時は、1～10を押すと、あらかじめ割り当てられているBSテレビの代表チャンネルを選局できます。
また、1～10に割り当てられているBSチャンネルを変更したり、11、12に、新たに好みのチャンネルを割り当てることもできます。

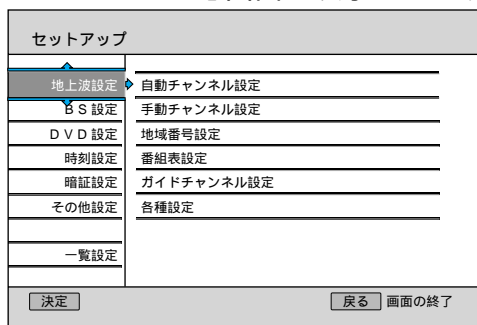
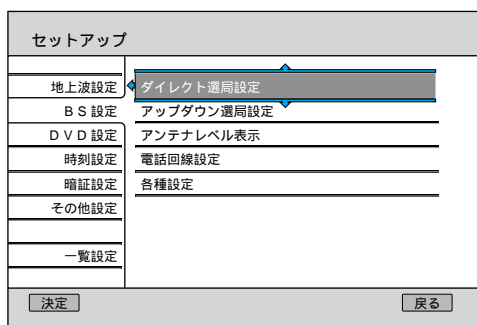
使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**

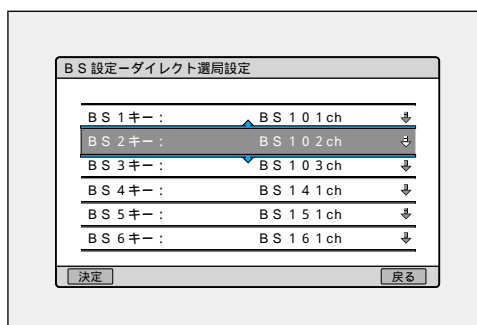
システムメニューが表示されます。

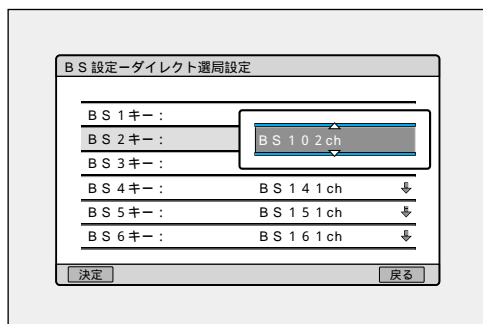
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「セットアップ」画面が表示されます。

3 **決定を↑/↓に動かして［BS設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

4 **決定を↑/↓に動かして［ダイレクト選局設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「ダイレクト選局設定」画面が表示されます。

次のページにつづく

リモコンに好みのBSチャンネルを登録する（ダイレクト選局設定）（つづき）

5 （決定）を↑/↓に動かして、変更したいBSチャンネル番号を選び、（決定）の真ん中を押して決定する。

6 （決定）を↑/↓に動かして、登録したい放送局の表示チャンネル番号を選び、（決定）の真ん中を押して決定する。

放送のあるチャンネルから選ぶことができます。新しくBS局が開設されると、チャンネルが自動で追加されます。
リモコンの数字ボタンを押したとき、この操作で選んだチャンネルが選局されます。

7 （システムメニュー）を押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

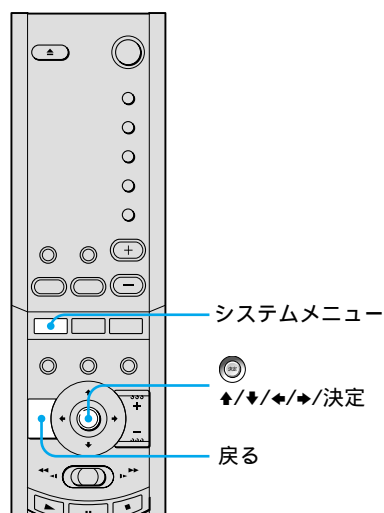
ご注意

リモコンの数字ボタンに割り当てられているチャンネルは、番組表に表示されないように設定することはできません。

不要なBSチャンネルをとばす（アップダウン選局）

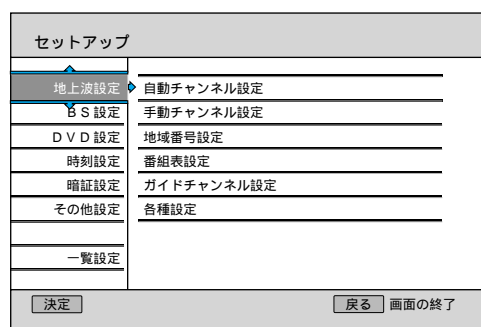
不要なチャンネルを映らないようにします。
（＋）/（－）でチャンネルを選んだときに、映るように設定したチャンネルだけを見ることができます。ただし、臨時チャンネルや、（1）〜（12）に設定したチャンネルはとばすように設定することはできません。

使用するボタン

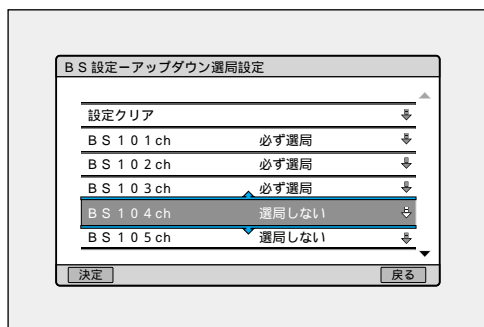
図のボタンを操作して設定します。

1 （システムメニュー）を押す。

システムメニューが表示されます。
（システムメニュー）は、録画や再生をしていないときに押します。

2 （決定）を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、（決定）の真ん中を押して決定する。

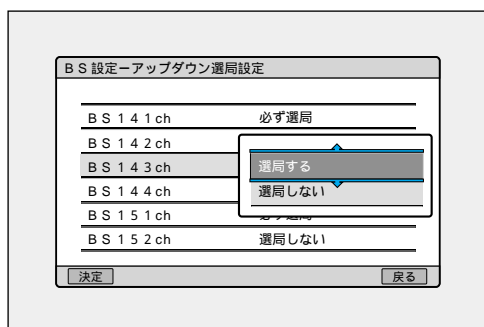
「セットアップ」画面が表示されます。

3 （決定）を↑/↓に動かして［BS設定］を選び、（決定）の真ん中を押して決定する。

4 （決定）を↑/↓に動かして［アップダウン選局設定］を選び、（決定）の真ん中を押して決定する。

「アップダウン選局設定」画面が表示されます。

5 （決定）を↑/↓に動かして、とばしたい放送局の表示チャンネルを選び、（決定）の真ん中を押して決定する。

選択項目が表示されます。

●選局する	選局時にこのチャンネルを選局する
選局しない	選局時にこのチャンネルをとばす

●出荷時の設定

ご注意

- 臨時チャンネルや、1～12に割り当てられているチャンネルは設定を変更することはできません。
- 「必ず選局」と表示されているチャンネルは1～12に割り当てられています。とばすように設定することはできません。

6 （決定）を↑/↓に動かして［選局しない］を選び、（決定）の真ん中を押して決定する。

7 手順5と6を繰り返して、とばしたいチャンネルを設定する。

8 （システムメニュー）を押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

BS設定

BSアンテナ電源を設定する

BSアンテナのつなぎかた（マンションなどの共同受信システムか、本機などに直接つないでいるかなど）に合わせて、BSアンテナへの電源供給を設定します。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

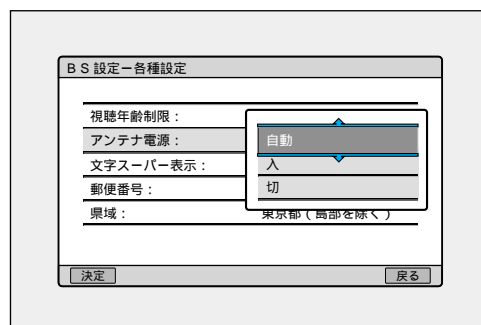
2 を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

3 を↑/↓に動かして［BS設定］を選び、の真ん中を押して決定する。

4 を↑/↓に動かして［各種設定］を選び、の真ん中を押して決定する。

「各種設定」画面が表示されます。

5 を↑/↓に動かして［アンテナ電源］を選び、の真ん中を押して決定する。

6 を↑/↓に動かして、設定を選ぶ。

マンションなどの共同受信システムのときは

「切」を選び、の真ん中を押す。

BSアンテナをつないでいるときは

「入」または「自動」を選び、の真ん中を押す。

BSが映ったり消えたりするとき

「入」を選び、の真ん中を押す。

●自動	本機の電源を入れたときに、本機がBSアンテナに電源を供給する。本機の電源が切れているときは供給しない。
入	本機の電源と関係なく電源を供給する。
切	電源を供給しない。

●出荷時の設定

7 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

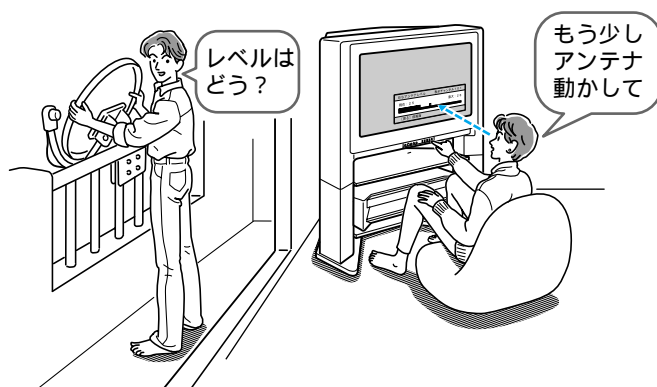
もう一度押すと、システムメニューが消えます。

ご注意

- 「自動」にしていても、BSアンテナの電源供給システムによっては、うまく働かないことがあります。このときは「入」にしてください。
- 1本のBSアンテナに分配器などをつないでBS電波を分け、本機と他のテレビやビデオ機器の両方でBSを受信できるようにしているときは、本機を「自動」に、他の機器を「入」（または「連動」）にしてください。このようにしないと、本機の電源を切ると他のテレビやビデオ機器からBSアンテナに電源が供給されないことがあります。他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

受信状態を確認する（アンテナレベル）

BSアンテナをご自分で設置するときや画像の映りが悪いときは、アンテナの向きを調節します。調節には2人必要です。1人がテレビ画面の画像とレベル表示を見て、もう1人がそのレベル表示が最大になるようにBSアンテナを動かして調節します。

一部のBSアンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないため、受信できない場合があります。受信状況が悪い場合は、BSアンテナ製造元のお客様窓口や、BSアンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。

BSアンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。

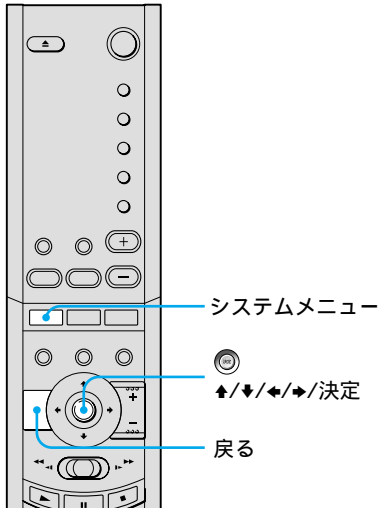
ご注意

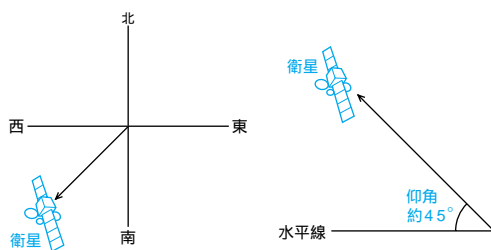
BSアンテナを本機に直接つないだ場合、メニューの「BS設定」で、「各種設定」の「アンテナ電源」を「入」または「自動」にしてください（☞60ページ）。

BS設定

受信状態を確認する（アンテナレベル）（つづき）

使用するボタン

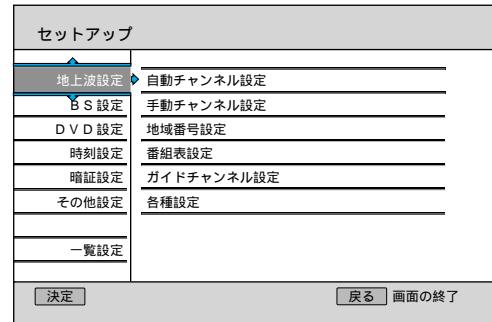
図のボタンを操作して設定します。

1 **BSアンテナを南西の方位に仰角約45度を目安として設置する。**

仰角は、アンテナの仰角目盛で合わせます。南西で仰角約45度の方向に、木や建物などの障害物がない場所を選んでください。

2 **システムメニューを押す。**

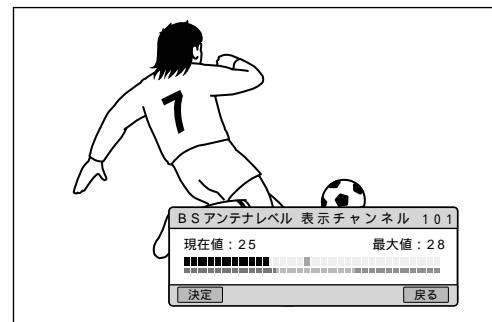
システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

3 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「セットアップ」画面が表示されます。

4 **決定を↑/↓に動かして［BS設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

5 **決定を動かして［アンテナレベル表示］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

アンテナレベルを確認する画面が表示されます。

6 **テレビにBS放送の画像が出るように、BSアンテナをゆっくり動かす。**

BS放送の画像がテレビに映った状態で、「最大値」レベルの数字がより大きくなるようにします。20以下では受信できないことがあります。

BS放送の受信電波が弱く安定した受信ができないときは

BSアンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。

7 「現在値」レベルと「最大値」レベルの数字が一致または一番近づいたところで、アンテナを固定する。

「現在値」レベルの数字が変わらないことを確認しながら、アンテナを固定します。

8 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

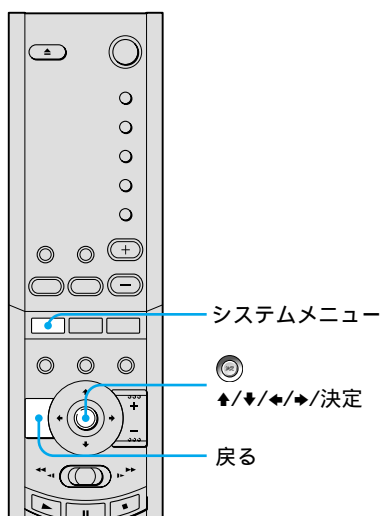
ご注意

雷雨や雪の日は、アンテナレベルが低い場合があります。

電話回線の設定をする

電話回線の接続を行って、接続を確認します。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

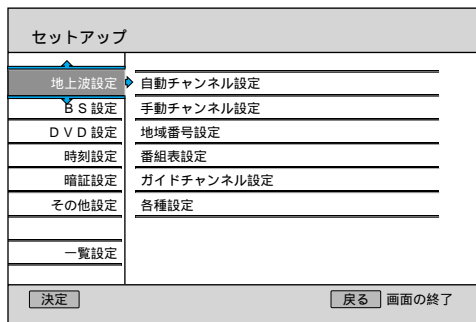
2 決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

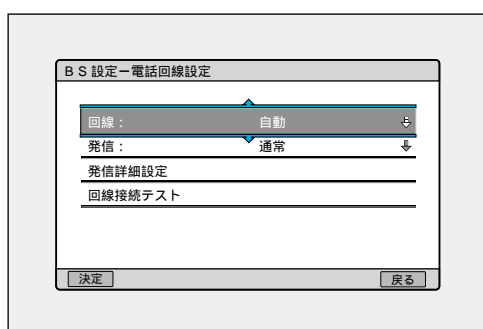
「セットアップ」画面が表示されます。

次のページにつづく

BS設定

電話回線の設定をする（つづき）

3 **決定ボタンを↑/↓に動かして［BS設定］を選び、決定ボタンの真ん中を押して決定する。**

4 **決定ボタンを↑/↓に動かして［電話回線設定］を選び、決定ボタンの真ん中を押して決定する。**

「電話回線設定」画面が表示されます。

5 **決定ボタンを↑/↓に動かして［回線］を選び、決定ボタンの真ん中を押して決定する。**

回線を選ぶ画面が表示されます。

6 **決定ボタンを↑/↓に動かして回線の設定を選び、決定ボタンの真ん中を押して決定する。**

出荷時は、「自動」に設定されています。

- **「自動」でうまく通信できないときは**
  NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されているときは、**「トーン」**を選んでください。請求されていないときは、**「20pps」**を選んでください。
- **ISDN回線などによるターミナルアダプターやダイヤルアップルーターを使っているときは**
  「トーン」を選んでください。
- **別売りのコードレス通信ユニットCTU-50やSPP-TU1を使っているときは**
  「SONY無線通信ユニット」を選んでください。
  「SONY無線通信ユニット」でうまく通信できないときは**「10pps」**を選んでください。

7 **決定ボタンを↑/↓に動かして［発信］を選び、決定ボタンの真ん中を押して決定する。**

発信方法を選ぶ画面が表示されます。

8 **決定ボタンを↑/↓に動かして発信方法の設定を選び、決定ボタンの真ん中を押して決定する。**

出荷時は、「通常」に設定されています。

- **外線に電話するときに、相手の電話番号にそのまかける場合は**
  「通常」を選んでください。
- **外線に電話するときに、電話番号の前に「0」または「9」を付ける場合は**
  寮や会社、学校、団体、法人などでPBX（交換機）を使い、外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」を付ける（0発信する）、または「9」を付ける（9発信する）場合のみ、次のように設定します。
  0発信するとき→「0発信する」を選ぶ。
  9発信するとき→「9発信する」を選ぶ。

ご注意

- 会社や法人などでビジネス回線を使っているときは、本機をつなげません。寮やビルの電話回線の管理者に、「2線式一般アナログ回線」を依頼してください。通常、ファクシミリはこの回線に接続されています。
- 引越しなどで外線に電話する方法が変わったときは、必ず発信方法の設定を行ってください。

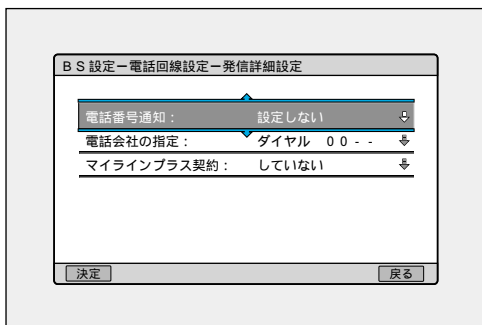
9 **システムメニューボタンを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

電話番号の通知／非通知および電話会社の設定をするには

データ放送などでは、本機に接続した電話回線で、放送局と双方向で通信する場合があります。電話番号を通知しないで、
放送局と通信したいときは、以下の設定を行ってください（マイラインプラス契約をしていても設定できます）。
データ放送によって、通知しないと双方向通信できないときは、通知する設定に変更してください。
また、お客様が登録している電話会社以外の特定の電話会社を指定して双方向通信することもできます。

1 「電話回線の設定をする」の手順1〜4を行う。

2 を↑/↓に動かして［発信詳細設定］を選び、の真ん中を押す。

3 を↑/↓に動かして［電話番号通知］を選び、の真ん中を押す。

電話番号通知を選ぶ画面が表示されます。

- 電話番号の先頭に「184」を付けて、相手先にこちらの電話番号を知らせないときは、**「通知しない」**を選んでください。
- 電話番号の先頭に「186」を付けて、相手先にこちらの電話番号を知らせるときは、**「通知する」**を選んでください。
- 電話番号の先頭に何も付けないときは、**「設定しない」**を選んでください。

特定の電話会社を指定しないときは、手順7に進んでください。

ご注意

BS放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごとの非通知設定」を解除してください。

4 を↑/↓に動かして［電話会社の指定］を選び、の真ん中を押す。

5 を↑/↓/←/→に動かして電話会社の事業者識別番号の下位2桁を選び、の真ん中を押す。

ご注意

電話会社の識別番号を間違えると通信ができなくなりますので、電話会社からの請求書などで確認してください。

6 を↑/↓に動かして［マイラインプラス契約］を選び、の真ん中を押す。

「している」または「していない」を選びます。

7 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

電話回線の接続を確認する

電話回線の接続テストを行って、接続を確認します。

1 「電話回線の設定をする」の手順1〜4を行う。

2 を↑/↓に動かして［回線接続テスト］を選び、の真ん中を押す。

3 を↑/↓に動かして［実行］を選び、の真ん中を押す。

接続テストが始まります。

ご注意

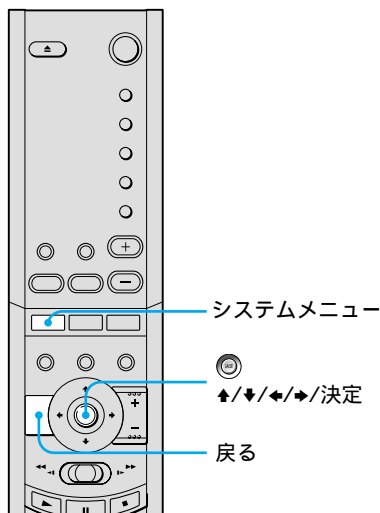
- 接続テストで「電話回線が接続されていません。」と表示された場合は、正しく接続されているか確認してからもう一度接続テストを行ってください。それでもうまく行かない場合は、販売店にご相談ください。
- 「回線接続テスト」は、本機と電話回線が物理的に接続されてやり取りできるかをテストするもので、実際に電話が放送局へつながるかどうかはテストされていません。
そのため、本機と電話回線が接続されていても電話がつながらないことがあります。
このときは、再び、手順4で電話回線の種類（「トーン」や「20pps」、「SONY無線通信ユニット」、「10pps」）を正しく設定し直してください。

次のページにつづく

文字スーパーの言語を変える（文字スーパー表示）

地域情報や速報など、映像に連動しない文字情報を「文字スーパー」と呼びます。
文字スーパー放送は最大2言語の放送が行われます。
文字スーパー放送が行われているときに、「第一言語」または「第二言語」に設定されていると、文字スーパーは自動的に表示されます。出荷時は「第一言語」に設定されています。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**

システムメニューが表示されます。
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

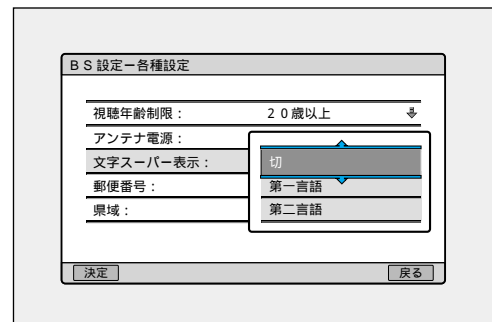
2 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「セットアップ」画面が表示されます。

3 **決定を↑/↓に動かして［BS設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

4 **決定を↑/↓に動かして［各種設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「各種設定」画面が表示されます。

5 **決定を↑/↓に動かして［文字スーパー表示］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

6 **決定を↑/↓に動かして［第一言語］または［第二言語］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

切	文字スーパーを表示しない。
●第一言語	第一言語の文字スーパーを表示する。
第二言語	第二言語の文字スーパーを表示する。

●出荷時の設定

7 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

文字スーパーを自動的に表示させないようにするには

手順6で［切］を選びます。

ご注意

放送局側で文字スーパーを消せない設定にしている番組では、「切」に設定しても文字スーパーを消せません。

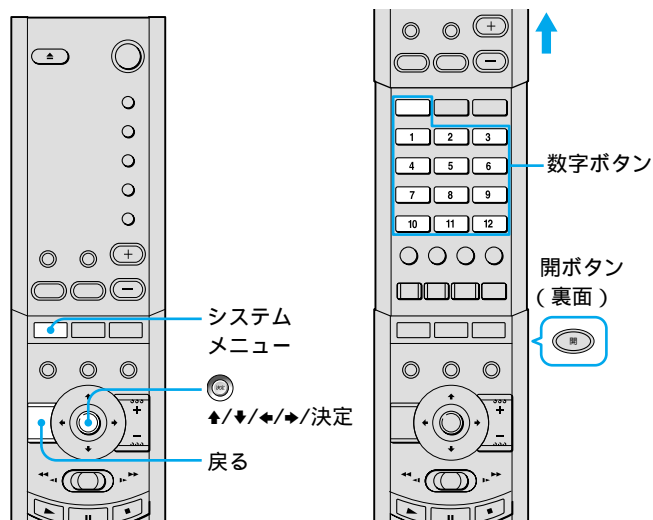
視聴年齢を制限する

視聴年齢制限付き番組の年齢制限を設定します。
制限すると、「かんたん初期設定」（☞33ページ）で設定した暗証番号を入力しないと、視聴できなくなります。
出荷時には、視聴者年齢制限は設定されません。

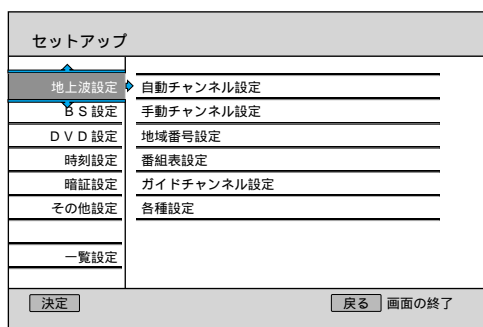
ちょっと一言

暗証番号はDVDの視聴制限用の番号と同じですが、BSデジタルとDVDそれぞれに制限を設定することができます。
DVDの視聴制限を設定するには、74ページをご覧ください。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

次のページにつづく

BS設定

2 〔決定〕を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、〔決定〕の真ん中を押して決定する。

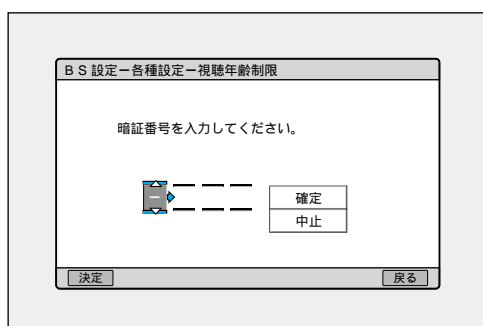
「セットアップ」画面が表示されます。

3 〔決定〕を↑/↓に動かして［BS設定］を選び、〔決定〕の真ん中を押して決定する。

4 〔決定〕を↑/↓に動かして［各種設定］を選び、〔決定〕の真ん中を押して決定する。

「各種設定」画面が表示されます。

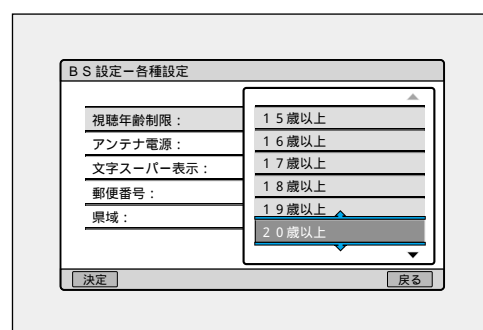
5 〔決定〕を↑/↓に動かして［視聴年齢制限］を選び、〔決定〕の真ん中を押して決定する。

暗証番号を入力する画面が表示されます。

6 「かんたん初期設定」で設定した4桁の暗証番号*を入力する。

- **〔決定〕を使う**
  ↑/↓に動かして数字を選び、→に動かしてカーソルを次の桁に移動させます。
- **数字ボタンを使う**
  数字ボタンを押すと数字が表示され、カーソルが次の桁に移動します。続けて数字を入力します。

* 暗証番号は「暗証番号を設定する」（☞81ページ）で設定することもできます。

7 4桁の暗証番号を入力したら、〔決定〕の真ん中を押して決定する。

年齢制限を設定する画面が表示されます。

8 〔決定〕を↑/↓に動かして、設定を選び、〔決定〕の真ん中を押して決定する。

「制限しない」～「20歳以上」で設定できます。

例えば「14歳以上」に設定すると、15歳から視聴可能な番組を視聴するときに暗証番号の入力が必要です。

視聴年齢制限をしないときは

制限年齢を「制限しない」に設定する。
視聴年齢制限付き番組でも暗証番号を入力しないで、見ることができます。

9 〔システムメニュー〕を押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

ご注意

- 暗証番号の設定のしかたについて詳しくは、「暗証番号を設定する」（☞81ページ）をご覧ください。
- 暗証番号を変更するときは、「暗証番号を変更するには」（☞82ページ）の手順に従って行ってください。
- 暗証番号を忘れたときは、初期設定で出荷時の状態に戻してから設定し直すか（☞99ページ）、サービス対応になります。

郵便番号と県域を設定する

BSデジタルでは、地域ごとに特有の放送が行われている場合があります。お住まいの地域特有の放送を受信できるように、地域設定を行っておく必要があります。

ご注意

お住まいの地域の郵便番号7桁を正しく入力してください。まちがった郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の情報を誤って受信したりするためです。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

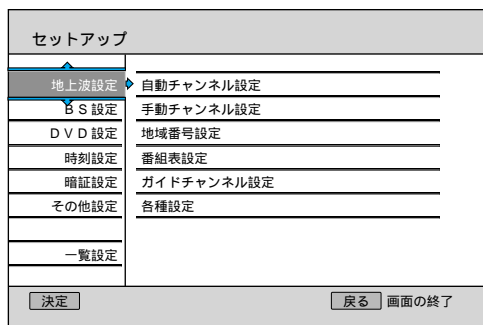
1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

BS設定

郵便番号と県域を設定する（つづき）

2 ◎を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

3 ◎を↑/↓に動かして［BS設定］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

4 ◎を↑/↓に動かして［各種設定］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

「各種設定」画面が表示されます。

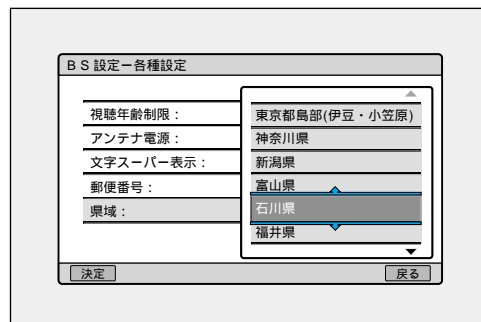
5 ◎を↑/↓に動かして［郵便番号］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

郵便番号を入力する画面が表示されます。

6 ◎を↑/↓に動かして、7桁の郵便番号を入力し、◎の真ん中を押して決定する。

◎を↑/↓に動かして数字を選び、→に動かしてカーソルを次の桁に移動させます。

7 ◎を↑/↓に動かして［県域］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

県域の一覧表示されます。

ちょっと一言

「東北海道」と「西北海道」は下記の地域です。

「東北海道」：宗谷、上川、留萌、網走、根室、釧路、十勝の各支庁

「西北海道」：石狩、空知、後志、胆振、日高、渡島、桧山の各支庁

8 ◎を↑/↓に動かして、お住まいの県域を選び、◎の真ん中を押して決定する。

9 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

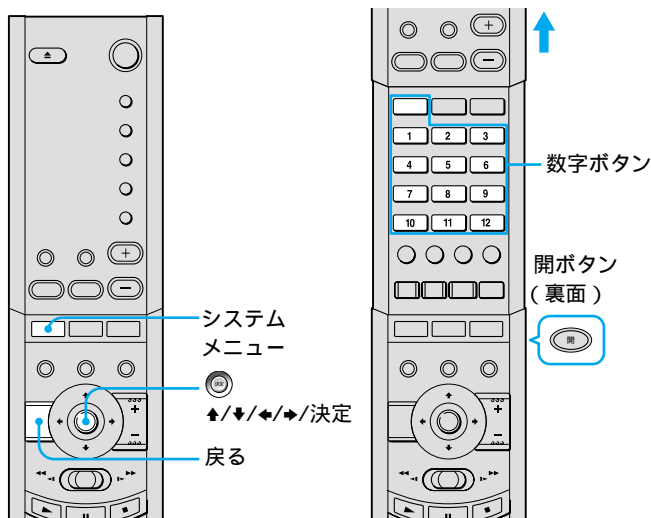
もう一度押すと、システムメニューが消えます。

ちょっと一言

郵便番号だけを設定したいときは、手順6で郵便番号を決定したあとに、システムメニューを続けて2回押します。

DVDメニュー言語を設定する

DVDメニューの言語を切り換えます。

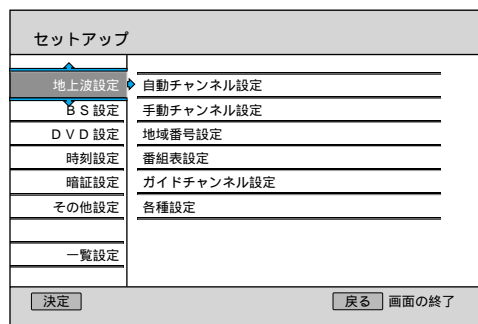
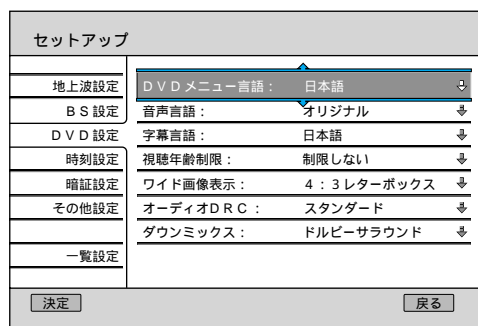
使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

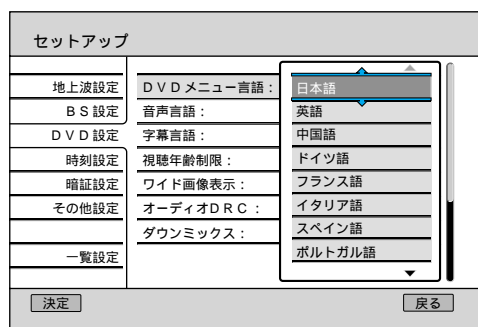
システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

3 を↑/↓に動かして［DVD設定］を選び、の真ん中を押して決定する。

4 を↑/↓に動かして［DVDメニュー言語］を選び、の真ん中を押して決定する。

メニュー言語の一覧が表示されます。

出荷時は「日本語」に設定されています。

次のページにつづく

5 **を↑/↓に動かして、言語を選び、の真ん中を押して決定する。**

［言語コード指定］を選ぶと、言語コードを入力する画面が表示されます。
を動かすか、数字ボタンを使って、数字を入力してから、の真ん中を押してください。言語コードについては、「言語コード一覧」（☞113ページ）をご覧ください。

6 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

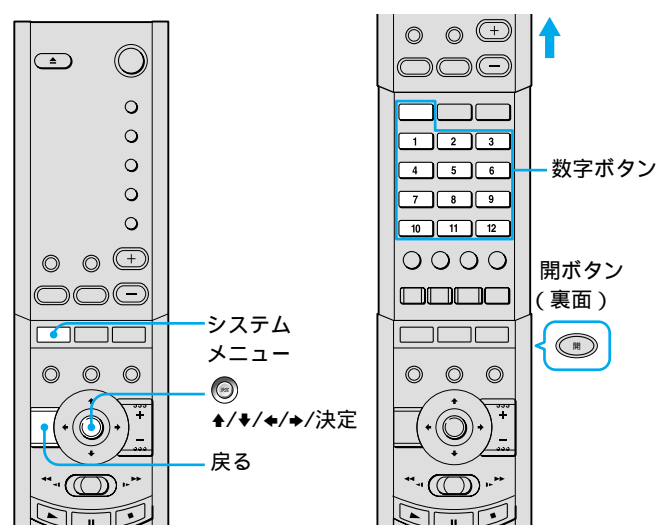
もう一度押すと、システムメニューが消えます。

ご注意

選んだ言語がディスクに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

音声言語を設定する

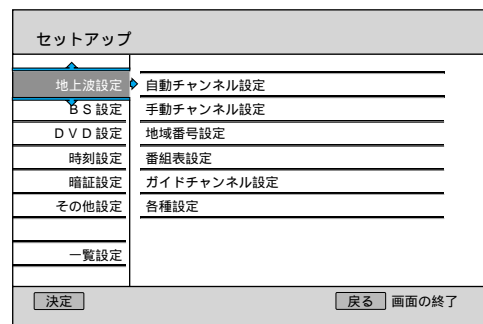
DVD音声の言語を切り換えます。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**

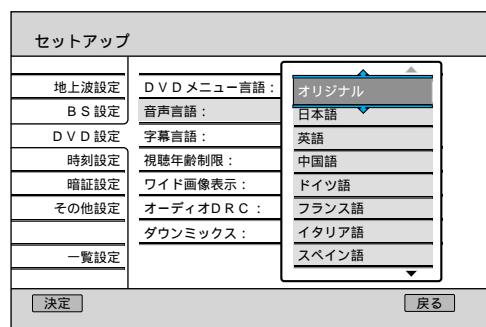
システムメニューが表示されます。
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 **を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、の真ん中を押して決定する。**

「セットアップ」画面が表示されます。

3 決定を↑/↓に動かして［DVD設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

4 決定を↑/↓に動かして［音声言語］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

音声言語の一覧が表示されます。

出荷時は［オリジナル］に設定されています。［オリジナル］を選ぶと、DVDディスク内で優先されている言語が選ばれます。

5 決定を↑/↓に動かして、言語を選び、決定の真ん中を押して決定する。

［言語コード指定］を選ぶと、言語コードを入力する画面が表示されます。

決定を動かすか、数字ボタンを使って、数字を入力してから、決定の真ん中を押してください。言語コードについては、「言語コード一覧」（☞113ページ）をご覧ください。

6 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

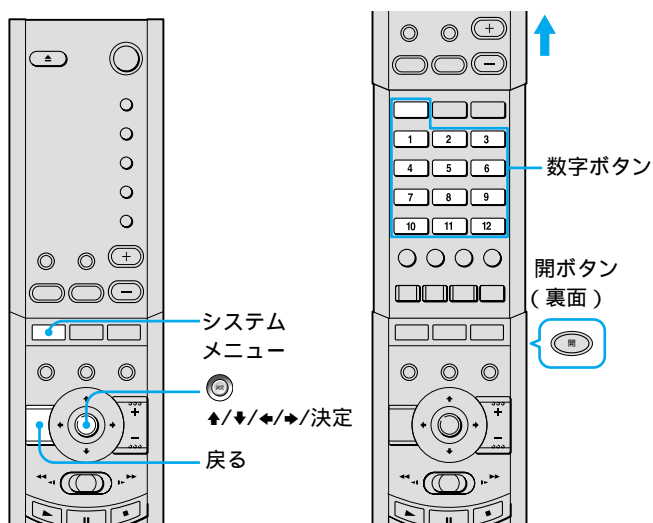
もう一度押すと、システムメニューが消えます。

ご注意

選んだ言語がディスクに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

字幕言語を設定する

DVDの字幕の言語を切り換えます。

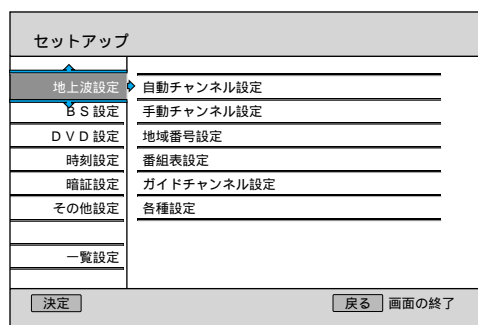
使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。

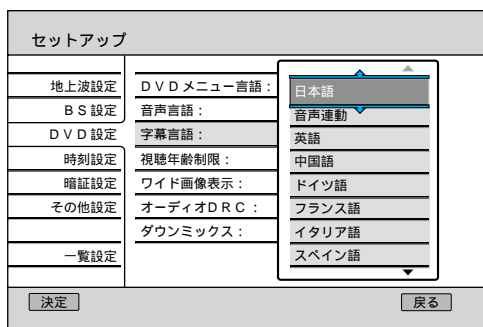
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

次のページにつづく

3 決定を↑/↓に動かして［DVD設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

4 決定を↑/↓に動かして［字幕言語］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

字幕言語の一覧が表示されます。
出荷時は「日本語」に設定されています。
［音声連動］を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

5 決定を↑/↓に動かして、言語を選び、決定の真ん中を押して決定する。

［言語コード指定］を選ぶと、言語コードを入力する画面が表示されます。
決定を動かすか、数字ボタンを使って、数字を入力してから、決定の真ん中を押してください。言語コードについては、「言語コード一覧」（☞113ページ）をご覧ください。

6 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

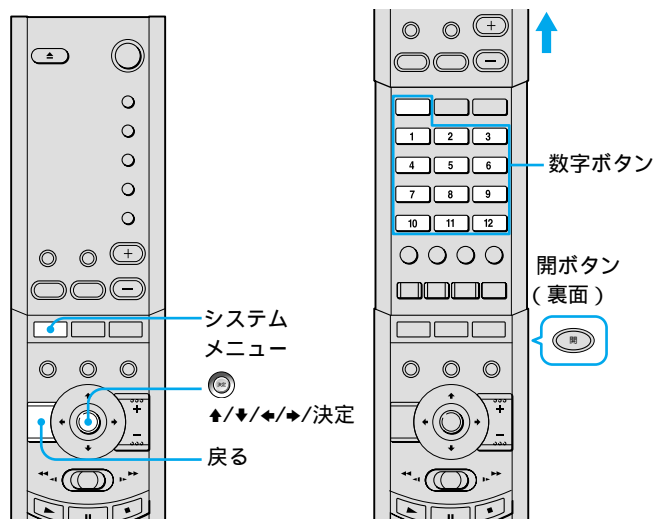
ご注意

選んだ言語がディスクに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

視聴年齢制限を設定する

DVDの中には、視聴者の年齢などによって視聴を制限できるようにレベルが設定されたディスクがあります。本機の視聴制限機能のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、制限されているシーンを再生する際、そのシーンをカットしたり、あらかじめ用意された別のシーンに差し替えて再生します。
出荷時は、「制限なし」に設定されています。

ちょっと一言

暗証番号はBSデジタルの視聴年齢制限用の番号と同じですが、BSデジタルとDVDそれぞれに違う制限レベルを設定することができます。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

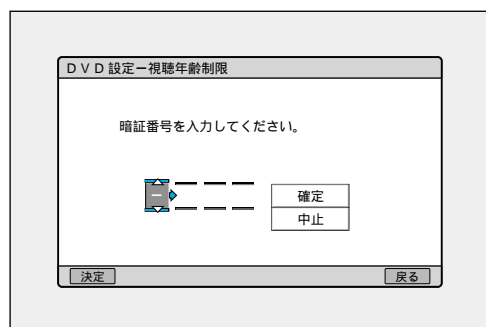
システムメニューが表示されます。
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 （決定）を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、（決定）の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

3 （決定）を↑/↓に動かして［DVD設定］を選び、（決定）の真ん中を押して決定する。

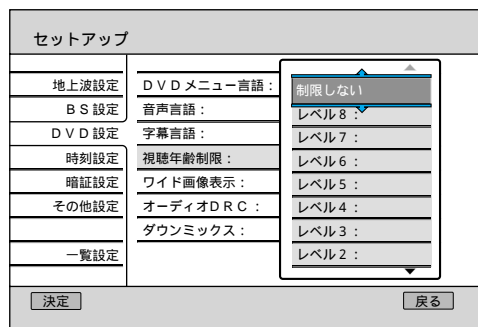
4 （決定）を↑/↓に動かして［視聴年齢制限］を選び、（決定）の真ん中を押して決定する。

暗証番号を入力する画面が表示されます。

5 「かんたん初期設定」で設定した4桁の暗証番号*を入力する。

- **（決定）を使う**
  ↑/↓に動かして数字を選び、→に動かしてカーソルを次の桁に移動させます。
- **数字ボタンを使う**
  数字ボタンを押すと数字が表示され、カーソルが次の桁に移動します。続けて数字を入力します。

* 暗証番号は「暗証番号を設定する」（☞81ページ）で設定することもできます。

6 （決定）の真ん中を押して決定する。

年齢制限を設定する画面が表示されます。

7 （決定）を↑/↓に動かして、制限するレベルを選び、（決定）の真ん中を押して決定する。

8 （システムメニュー）を押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

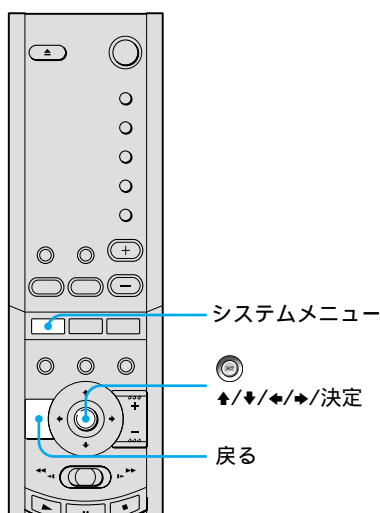
ご注意

- 暗証番号の設定のしかたについて詳しくは、「暗証番号を設定する」（☞81ページ）をご覧ください。
- 暗証番号を変更するときは、「暗証番号を変更するには」（☞82ページ）の手順に従って行ってください。
- 暗証番号を忘れたときは、初期設定で出荷時の状態に戻してから設定し直すか（☞99ページ）、サービス対応になります。
- 視聴年齢制限がないDVDは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。DVDによっては、再生中に視聴制限レベルの変更を要求されることがあります。このときは暗証番号を入力してレベルを変更してください。なお、停止すると元のレベルに戻ります。

ワイド画像を表示する

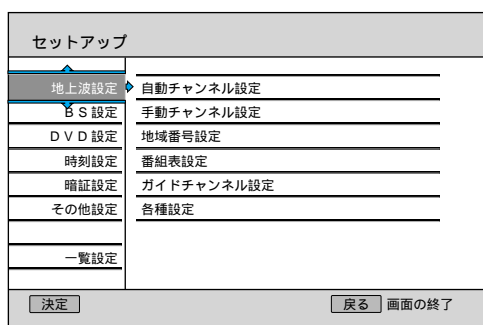
4:3 のテレビでDVDのワイド画像を再生するときに出力する画面の形を設定します。
「テレビの横縦比に画像を合わせる」(☞83ページ)で「4:3」に設定しているときに有効になります。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**

システムメニューが表示されます。
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 **を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、の真ん中を押して決定する。**

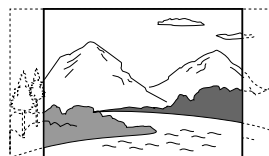
「セットアップ」画面が表示されます。

3 **を↑/↓に動かして［DVD設定］を選び、の真ん中を押して決定する。**

4 **を↑/↓に動かして［ワイド画像表示］を選び、の真ん中を押して決定する。**

5 **を↑/↓に動かして、設定を選び、の真ん中を押して決定する。**

● 4:3レターボックス

4:3 のテレビに、ワイド画像を横長に表示して画面の上下に黒い帯を入れるとき。

4:3パンスキャン

4:3 のテレビに、ワイド画像の左右の一部を自動的にカットして画面全体に表示するとき。

● 出荷時の設定

6 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

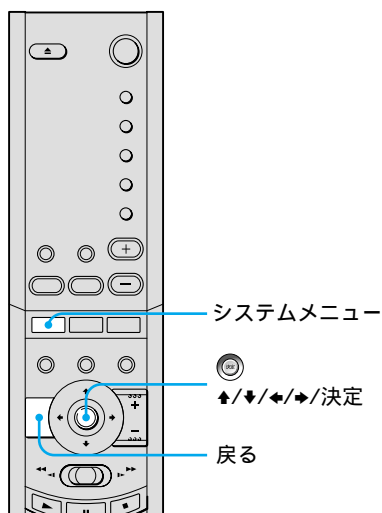
ご注意

DVDによっては「4:3 レターボックス」あるいは「4:3 パンスキャン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

DVDの音声を設定する

DVDを再生するときの音の設定を、再生や接続などの条件に合わせて設定します。

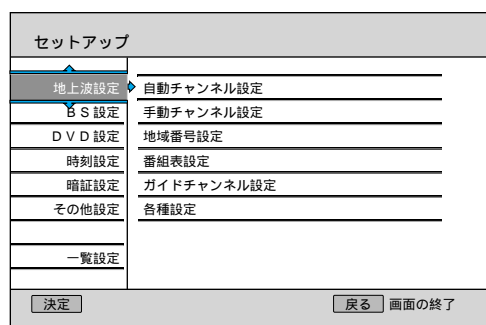
使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「セットアップ」画面が表示されます。

3 **決定を↑/↓に動かして［DVD設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

続けて、「オーディオDRC」や「ダウンミックス」の手順にしたがって音声を設定します。

オーディオDRC（Dynamic Range Control）

（ダイナミック レンジ コントロール）

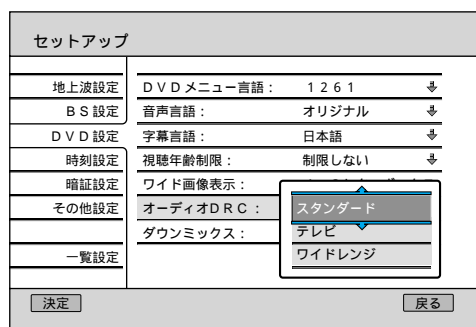
DVDの音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。オーディオDRC機能のあるDVDを再生しているときのみ効果があります。

この機能は、次の端子からの出力に効果があります。

- LINE OUT AUDIO L/R（1、2、3）端子
- 音声デジタル出力信号の「ドルビーデジタル」を「PCM」に設定したときのデジタル音声出力（OPTICALまたはCOAXIAL）端子

1 **決定を↑/↓に動かして［オーディオDRC］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

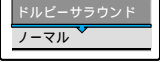
DVD設定

次のページにつづく

2 ⓔを↑/↓に動かして、設定を選び、ⓔの真ん中を押して決定する。

● スタンダード	通常はこの設定にする。
テレビ	小さい音までよく聞こえるようにする。特に、テレビのスピーカーを使って音を聞いているときに効果がある。
ワイドレンジ	迫力のある音になる。高品質のスピーカーを使うとさらに効果を得られる。

● 出荷時の設定

3 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

ダウンミックス

左右リア信号やモノラルリア信号などのリア信号成分を含むドルビーデジタルで記録されているDVD を再生するとき、ダウンミックスの方式を切り換えます。

「ダウンミックス」の設定は次の端子からの出力に効果があります。

- LINE OUT AUDIO L/R（1、2、3）端子
- 「音声デジタル出力」の「ドルビーデジタル」を「PCM」に設定したときのデジタル音声出力（OPTICALまたはCOAXIAL）端子

1 ⓔを↑/↓に動かして［ダウンミックス］を選び、ⓔの真ん中を押して決定する。

2 ⓔを↑/↓に動かして、設定を選び、ⓔの真ん中を押して決定する。

● ドルビーサラウンド	ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応しているオーディオ機器に接続しているときに選ぶ。ドルビーサラウンド（プロロジック）の効果のかかった信号が2チャンネルにダウンミックスして出力される。
ノーマル	ドルビーサラウンド（プロロジック）に対応していないオーディオ機器に接続しているときに選ぶ。ドルビーサラウンド（プロロジック）の効果がかかっていない信号が出力される。

● 出荷時の設定

3 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

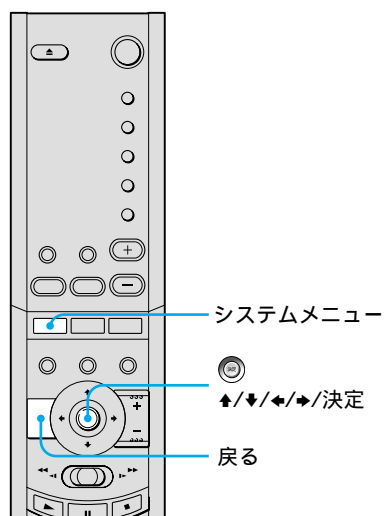
時刻を設定する

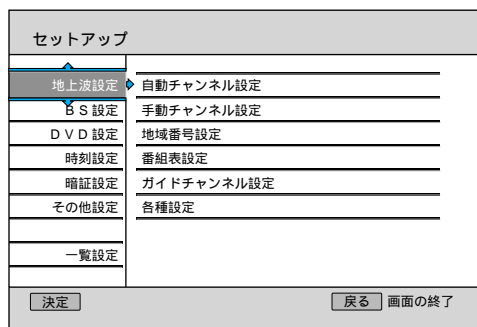
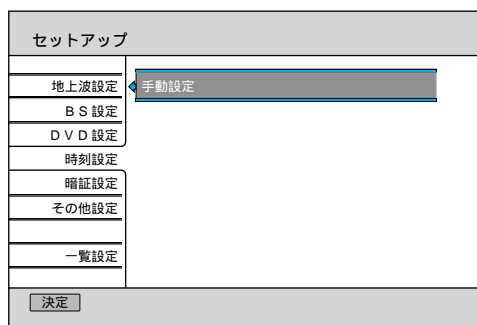
BSデジタルを正しく受信しているときは、時刻は自動的に正しく設定されます。
時刻を自動で設定できなかったときは、手動で行います。

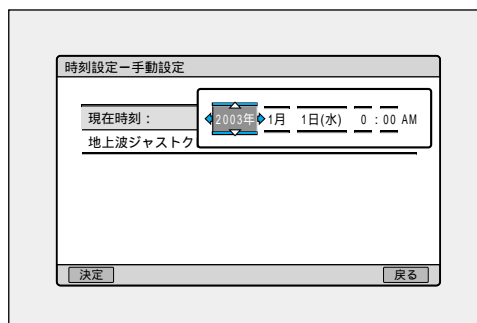
ちょっと一言
手動で設定しても、BSデジタルを受信できた時点で、自動的に正しく再設定されます。

ご注意
BSデジタルを受信していて、時刻を自動で設定できる状態にあるときは、手動での設定はできません。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。
システムメニューが表示されます。
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

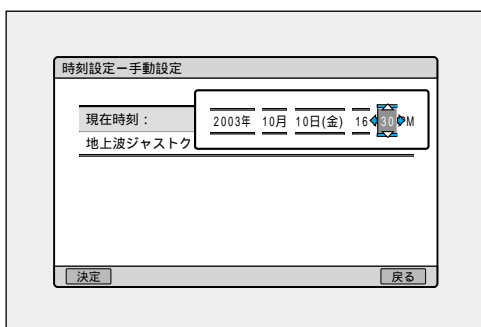
2 決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。
「セットアップ」画面が表示されます。

3 決定を↑/↓に動かして［時刻設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

4 もう一度決定の真ん中を押す。
「時刻設定」画面が表示されます。

5 決定を↑/↓に動かして［現在時刻］を選び、決定の真ん中を押して決定する。
日付と時刻を入力する画面が表示されます。

次のページにつづく

6 ◎を↑/↓に動かして「年」を設定し、◎を→に動かす。

同じようにして、「月」、「日」、「時間」、「分」を設定します。

ご注意

数字ボタンは使用できません。

7 「分」まで設定し、時報と同時に◎の真ん中を押して決定する。

8 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

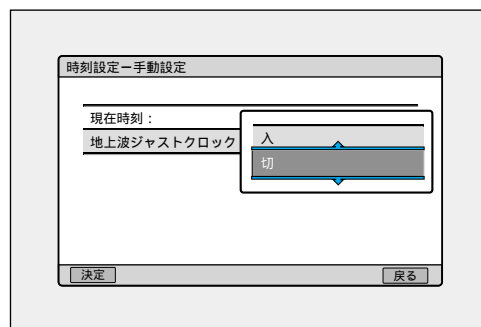
もう一度押すと、システムメニューが消えます。

時計を自動補正する（ジャストクロック）

NHK教育テレビの正午の時報を読みとり、本機の時計を補正します（ただし、正午に時報が送信されない場合は、自動補正されません）。時計が2分以上ずれていると自動補正できませんので、あらかじめ時計を合わせておいてください。

「時刻を設定する」（☞前ページ）の手順7のあと、次の手順にしたがってジャストクロックを設定します。ジャストクロックの設定からしたいときは、「時刻を設定する」の手順1〜4にしたがって、「時刻設定」画面を表示します。

1 ◎を↑/↓に動かして［地上波ジャストクロック］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

入／切を選ぶ画面が表示されます。

2 ◎を↑/↓に動かして［入］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

地上波ジャストクロック設定画面が表示されます。

3 もう一度◎の真ん中を押して決定する。

4 決定を↑/↓に動かして、NHK教育テレビの表示チャンネル番号を選び、決定の真ん中を押して決定する。

5 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

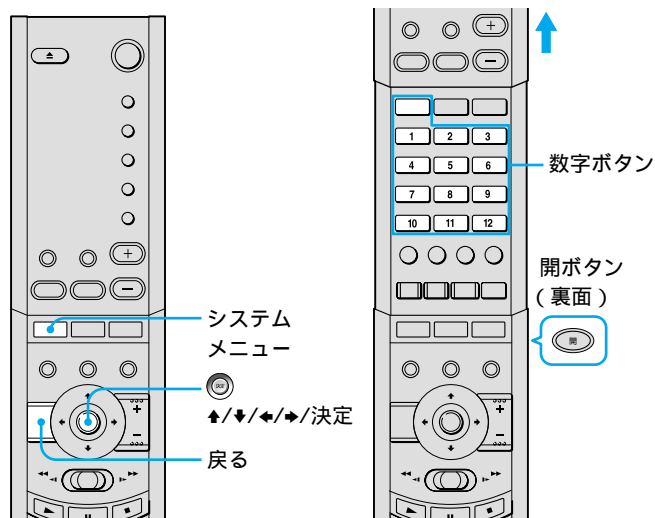
もう一度押すと、システムメニューが消えます。

暗証番号を設定する

暗証番号を設定すると、下記の場合に視聴や再生を制限できます。

- 視聴制限があるBSデジタルの番組を見るとき
- 視聴制限があるBSデジタルの番組を録画するとき
- 視聴制限があるDVDを再生するとき

ちょっと一言

暗証番号はBSデジタルおよびDVDの視聴制限用の番号と同じですが、BSデジタル（☞67ページ）とDVD（☞74ページ）それぞれに違う制限レベルを設定することができます。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

その他の設定

暗証番号設定する（つづき）

1 **システムメニューを押す。**

システムメニューが表示されます。

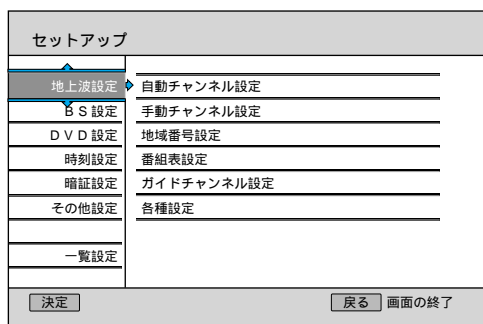
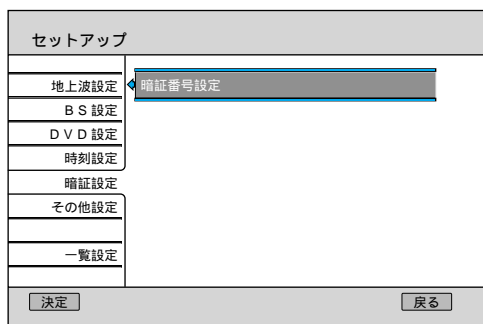
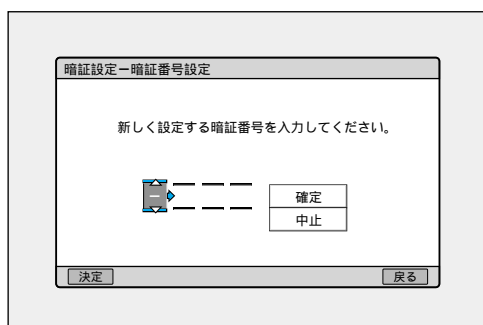
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

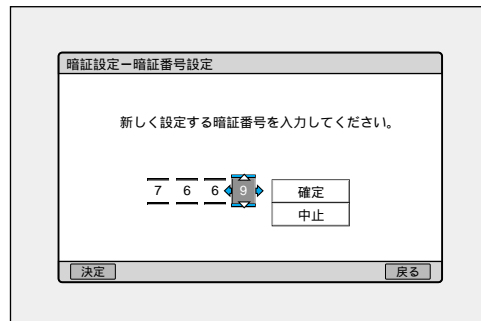
2 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「セットアップ」画面が表示されます。

3 **決定を↑/↓に動かして［暗証設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

セットアップ
地上波設定
B S 設定
D V D 設定
時刻設定
暗証設定
その他設定
一覧設定
暗証番号設定
決定
戻る

4 **もう一度決定の真ん中を押す。**

暗証番号を設定する画面が表示されます。

5 **暗証番号を入力する。**

- **決定を使う**
  ↑/↓に動かして数字を選び、→に動かしてカーソルを次の桁に移動させます。
- **数字ボタンを使う**
  数字ボタンを押すと数字が表示され、カーソルが次の桁に移動します。続けて数字を入力します。

6 **暗証番号を入力したら、決定を→に動かして［確定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

7 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

暗証番号を変更するには

1. **「セットアップ」画面で、決定を↑/↓に動かして［暗証設定］を選び、決定の真ん中を押す。**
2. **もう一度決定の真ん中を押す。**
   暗証番号を設定する画面が表示されます。
3. **変更前の暗証番号を入力し、決定の真ん中を押す。**
4. **新しい暗証番号を入力し、決定の真ん中を押す。**
   暗証番号が変更されます。

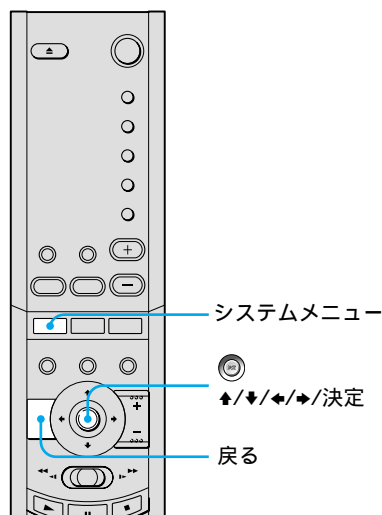
ご注意

暗証番号を忘れたときは、初期設定で出荷時の状態に戻してから設定し直すか（☞99ページ）、サービス対応になります。

テレビの横縦比に画像を合わせる

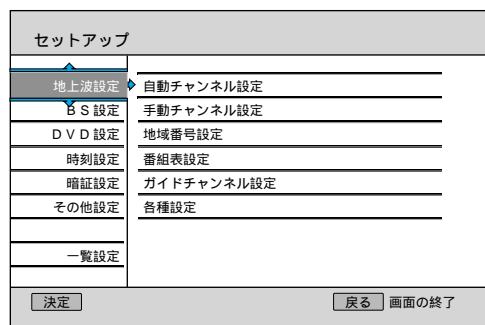
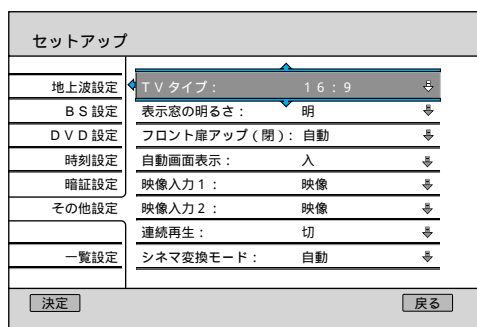
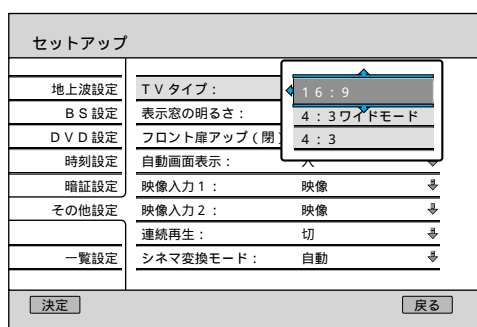
本機とテレビの電源を入れた後、テレビの横縦比に合った画像が映るように設定します。
テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

3 決定を↑/↓に動かして［その他設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

4 決定を↑/↓に動かして［TVタイプ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

5 決定を↑/↓に動かして、お使いのテレビのタイプ*を選び、決定の真ん中を押して決定する。

ワイドテレビ（横縦比16：9）のときは

［16:9］を選び、決定の真ん中を押す。

テレビ（横縦比4:3）でワイドモードがあるときは**

［4:3ワイドモード］を選び、決定の真ん中を押す。

テレビ（横縦比4:3）でワイドモードがないときは**

［4:3］を選び、決定の真ん中を押す。

ちょっと一言

テレビ（横縦比4:3）でワイドモード**があるかないかは、テレビの取扱説明書で確認してください。

その他の設定

6 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

*テレビのタイプ

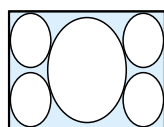
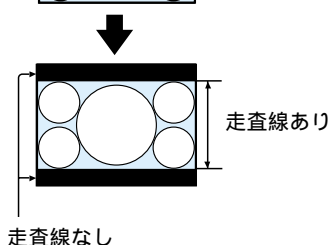
接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の4：3画面テレビ）

● 16：9	ワイドテレビとつなぐとき。
4：3 ワイドモード	ワイドモードのある4：3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する。
4：3	4：3画面のテレビとつなぐとき。

● 出荷時の設定

**ワイドモードとは

下のイラストのように、BSデジタルやDVDプレーヤー、ビデオカメラなどで、あらかじめ縦長に圧縮（スクィーズ）して記録された横縦比4:3映像を、元の16:9のワイド画像で見ることができるテレビの機能です。画面上下の黒帯を除いた映像部分に水平走査線を集めるため、16:9のワイド画像をよりオリジナルに近い画質で楽しめます。

オリジナルの映像
（16:9映像を4:3に縦長圧縮した映像）

ワイドモードが働いたテレビでの映像
走査線を密にしてより高画質にします。

ご注意

DVDの再生では、「4:3」に設定していても、DVDの「ワイド画像表示」にしたがって出力されます（☞76ページ）。

ワイドテレビやワイドモード付きのテレビのときは、テレビ側のワイドモード設定もあわせて行ってください。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

BSデジタルの画質（HDとSD）については、22ページもご覧ください。

テレビ画面での画像の見えかた一覧

オリジナルの映像	「テレビタイプ」の設定によるテレビ画面での画像の見えかた		
	「16:9」を選んだとき	「4:3ワイドモード」を選んだとき	「4:3」を選んだとき
デジタルハイビジョン放送 HD の16:9映像	1)	1) 走査線なし / 走査線を密にしてより高画質にします。	1)
標準テレビ放送 SD の16:9映像	2)	走査線なし / 走査線を密にしてより高画質にします。	
標準テレビ放送 SD のレターボックス4:3映像（画面上下の黒帯を除いた映像部分は16:9）	2)、3)、5)	5) 走査線なし / 走査線を密にしてより高画質にします。	
デジタルハイビジョン放送 HD のサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）	1)	1)	1)、4)
標準テレビ放送 SD の4:3映像	2)	2)	2)
標準テレビ放送 SD のサイドパネル16:9映像（画面左右の黒帯を除いた映像部分は4:3）	2)	2)	2)、4)

1) 本機前面の映像出力切換ボタン（D1/D3/D4）の設定が「D1」のときは、標準テレビ放送 SD の画質（525i）に変換されて映ります。

2) 本機前面の映像出力切換ボタン（D1/D3/D4）の設定が「D3」または「D4」のときは、デジタルハイビジョン放送 HD の画質（1125i）に変換されて映ります。

3) テレビ側のワイド設定によっては、チャンネル表示などが画面からはみ出ることがあります。

4) サイドパネル16:9映像でなくても、画面左右に黒帯が入る16:9映像があります。その場合は、イラストのようにはなりません。

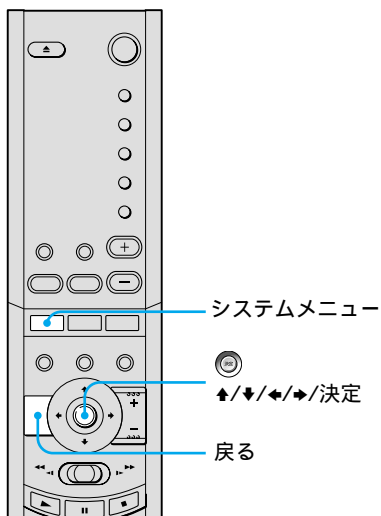
5) レターボックス映像でなくても、画面上下に黒帯が入る4:3映像があります。その場合は、イラストのようになりません。

その他の設定

表示窓の明るさを設定する

本体の表示窓の明るさを設定します。

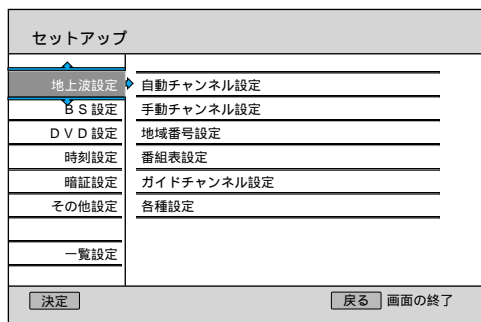
使用するボタン

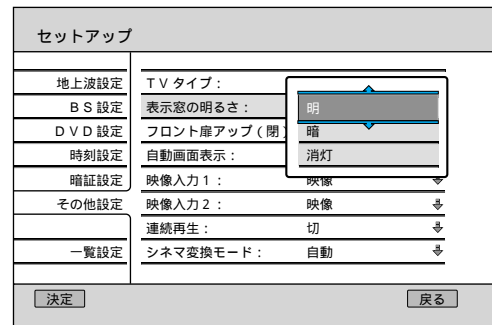
図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「セットアップ」画面が表示されます。

3 **決定を↑/↓に動かして［その他設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

4 **決定を↑/↓に動かして［表示窓の明るさ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

5 **決定を↑/↓に動かして、表示窓の明るさを選び、決定の真ん中を押して決定する。**

●	明	明るくする
	暗	暗くする
	消灯	本体の表示窓の表示を消す

● 出荷時の設定

6 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

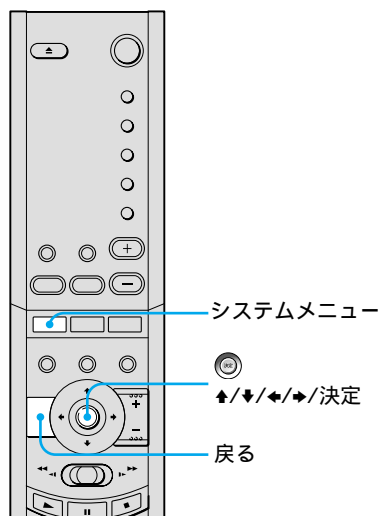
ご注意

- 表示窓の明るさを「消灯」に設定しても、本体のランプは消えません。
- 電源が入っている状態では、表示窓の表示は消えません。

フロント扉の開閉動作を設定する

フロント扉が開いている状態で電源を切ったときに、フロント扉が開いたままになるように設定することができます。この設定を行うと、フロント扉内のDV端子にケーブルを接続した状態で、フロント扉が自動的に閉じてケーブルを圧迫したり、傷めたりする心配がありません。**DV端子でデジタルビデオカメラをつなぐ場合は、［手動］に設定してください。**

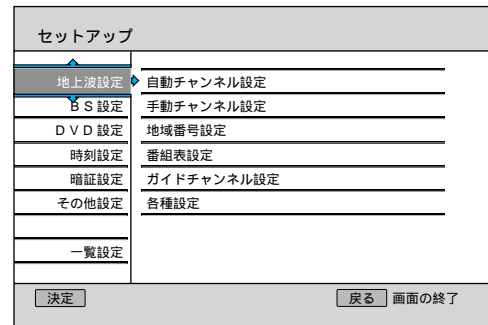
使用するボタン

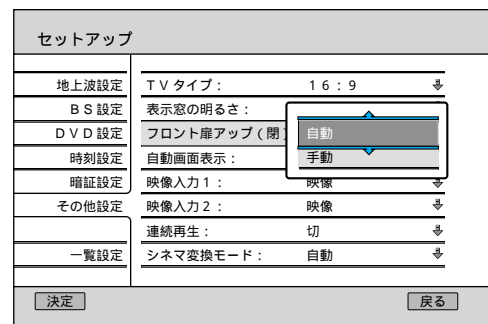
図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「セットアップ」画面が表示されます。

3 **決定を↑/↓に動かして［その他設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

4 **決定を↑/↓に動かして［フロント扉アップ（閉）］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

5 **決定を↑/↓に動かして［手動］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

●	自動	電源を切ると自動でフロント扉が閉まる
	手動	自動で閉まらない

● 出荷時の設定

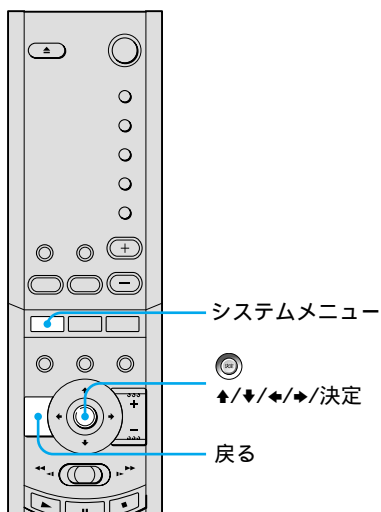
6 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

その他の設定

自動画面表示を設定する

番組を切り換えたときにタイトルを表示したり、映像モードや音声モードが切り換わるときに、画面上で自動的にその情報を表示することができます。

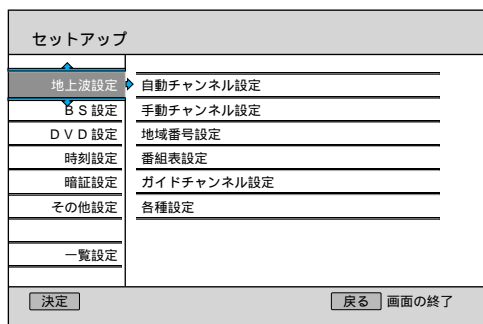
使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

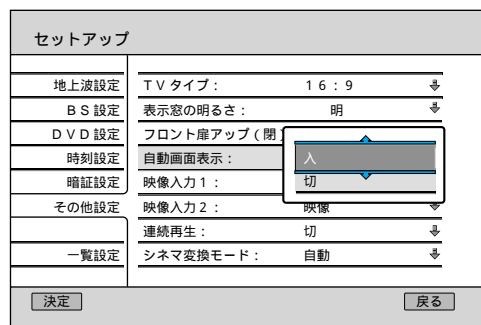
1 **システムメニューを押す。**

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「セットアップ」画面が表示されます。

3 **決定を↑/↓に動かして［その他設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

4 **決定を↑/↓に動かして［自動画面表示］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

5 **決定を↑/↓に動かして［入］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

● 入	画面表示を自動で表示する
切	画面表示を自動で表示しない

● 出荷時の設定

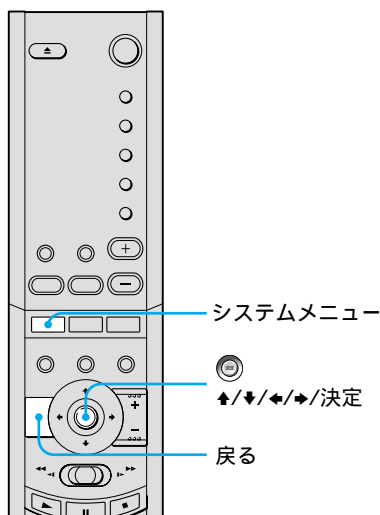
6 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

S映像入力端子を使う

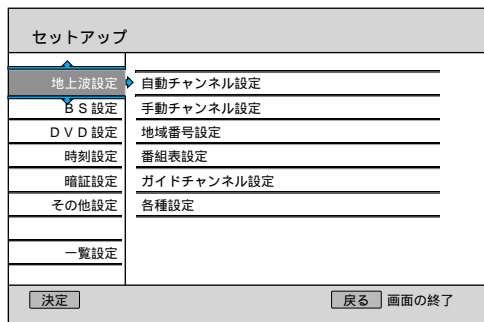
本機のS映像入力端子につないだ機器からの映像を見るには、入力する映像の信号設定が必要です。

使用するボタン

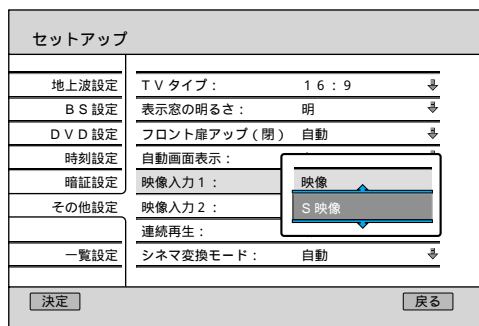
図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**

システムメニューが表示されます。
システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「セットアップ」画面が表示されます。

3 **決定を↑/↓に動かして［その他設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

4 **決定を↑/↓に動かして［映像入力1］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

入力端子2につないでいるときは、［映像入力2］を選びます。

5 **決定を↑/↓に動かして、［S映像］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

● 映像	映像入力端子に映像コードをつないだときにこの設定にする
S映像	映像入力端子にS映像コードをつないだときにこの設定にする

● 出荷時の設定

6 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

ちょっと一言

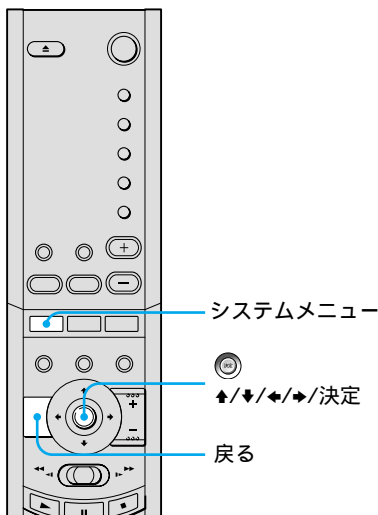
S映像コードをはずして映像コードでつなぎ直したときは、設定を［映像］に戻してください。

その他の設定

録画した内容を続けて見る

BDに録画した内容を「タイトル」といいます。タイトルを１つだけ再生するか、挿入したBDに録画されたすべてのタイトルを番号順に連続して再生するかを設定します。

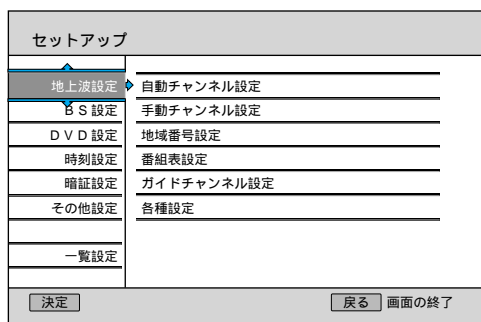
使用するボタン

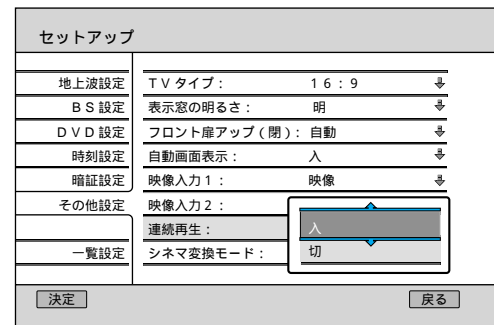
図のボタンを操作して設定します。

1 **システムメニューを押す。**

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 **決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

「セットアップ」画面が表示されます。

3 **決定を↑/↓に動かして［その他設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

4 **決定を↑/↓に動かして［連続再生］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

5 **決定を↑/↓に動かして［入］を選び、決定の真ん中を押して決定する。**

入	タイトルを番号順に、続けて再生する
● 切	タイトルリストで選んだタイトルだけを再生する

● 出荷時の設定

6 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

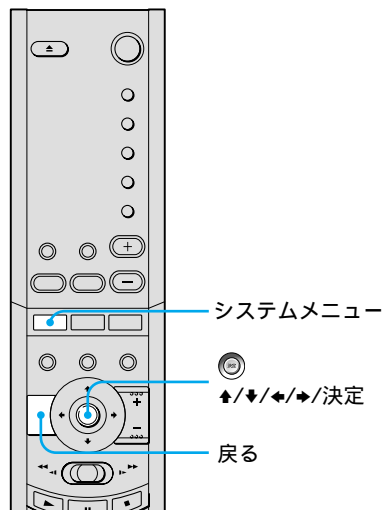
映像に合った再生方法を選ぶ（シネマ変換モード）

テレビやDVDの映像素材には、大きく分けて「ビデオ素材」と「フィルム素材」があります。ビデオ素材はテレビドラマやテレビアニメーションなどの番組（1秒30フレーム、60フィールド）を記録したもので、フィルム素材は映画フィルム（1秒24コマ）を記録したものです。これらの素材を1秒あたり60のコマ（フレーム）で構成しているプログレッシブ方式対応のテレビで自然に再現するためには、素材に合わせて変換方法を使い分ける必要があります。

この機能は、次の場合に効果があります。

- 映像出力の設定が「D4」または「D3」のとき
- 下記の映像信号を出力しているとき
  - －地上波放送
  - －525iのBSデジタル放送およびBSデジタルの録画タイトル（DRモードのみ）
  - －DVD（DVD-RWは除く）
- 下記の映像信号を入力しているとき
  - －ライン入力
  - －DV入力

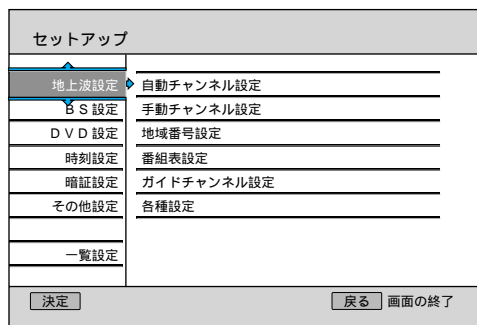
使用するボタン

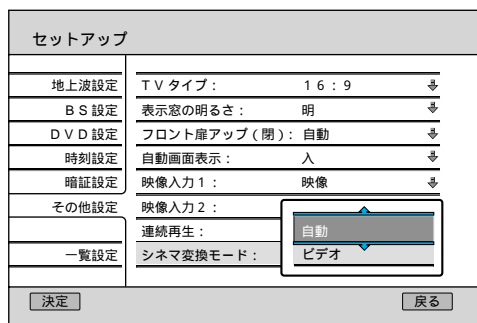
図のボタンを操作して設定します。

1 **［システムメニュー］を押す。**

システムメニューが表示されます。

［システムメニュー］は、録画や再生をしていないときに押します。

2 **［決定］を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、［決定］の真ん中を押して決定する。**

「セットアップ」画面が表示されます。

3 **［決定］を↑/↓に動かして［その他設定］を選び、［決定］の真ん中を押して決定する。**

4 **［決定］を↑/↓に動かして［シネマ変換モード］を選び、［決定］の真ん中を押して決定する。**

5 **［決定］を↑/↓に動かして［自動］を選び、［決定］の真ん中を押して決定する。**

● 自動	ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動的に素材に合わせた変換モードに切り換える
ビデオ	常にビデオ素材用の変換モードで映像を変換する

● 出荷時の設定

6 **［システムメニュー］を押して、システムメニューに戻る。**

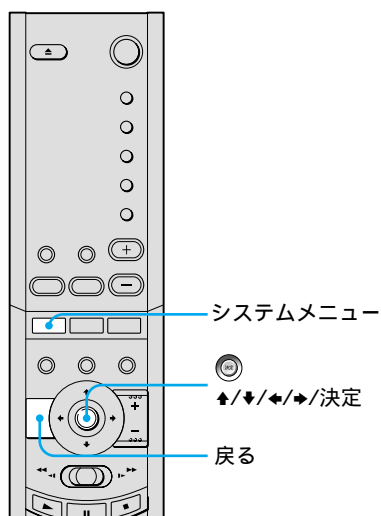
もう一度押すと、システムメニューが消えます。

その他の設定

音の歪みを低減する（音声出力ATT）

音が歪むときにこの設定を「入」にし、本機の音声出力レベルを低くします。

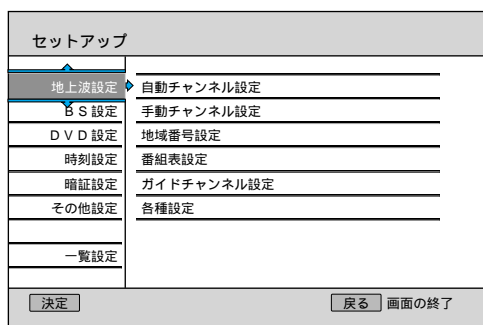
使用するボタン

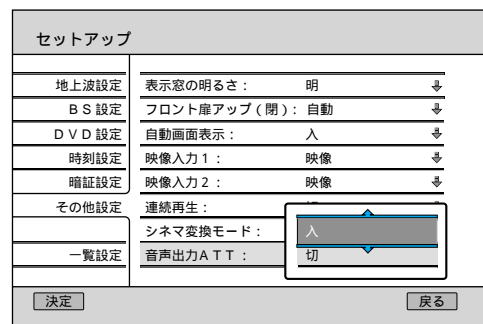
図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

3 決定を↑/↓に動かして［その他設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

4 決定を↑/↓に動かして［音声出力ATT］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

5 決定を↑/↓に動かして［入］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

入	音が歪まないように音声の出力レベルを低くする。 テレビのスピーカーからの音が歪むときなどにこの設定を選ぶ。
● 切	通常は「切」にする。

● 出荷時の設定

6 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

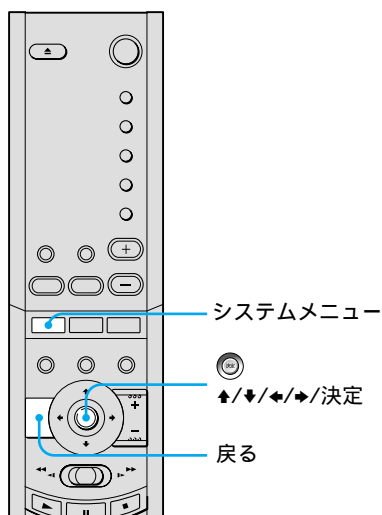
ご注意

デジタル音声出力には効果がありません。

デジタル音声を設定する

デジタル音声出力（OPTICALまたはCOAXIAL）端子に、光デジタルコードや同軸デジタルコードを使って次のような機器をつないだときの、音声信号の出力方式を設定します。
- デジタル入力端子のあるAVアンプ
- AACデコーダー内蔵機器
- ドルビーデジタルまたはDTSデコーダー内蔵機器
- MDデッキまたはDATデッキ

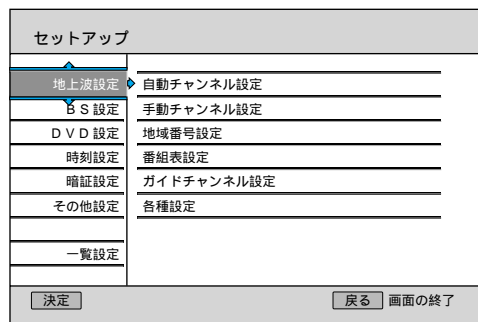
使用するボタン

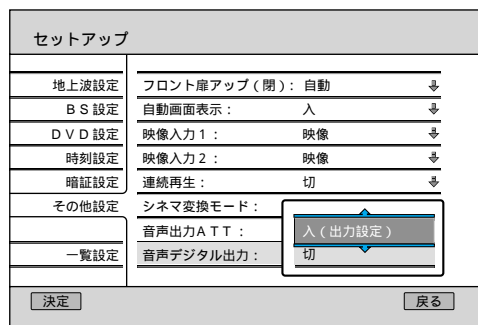
図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

3 決定を↑/↓に動かして［その他設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

4 決定を↑/↓に動かして［音声デジタル出力］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

5 決定を↑/↓に動かして［入（出力設定）］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

出力設定画面が表示されます。

● 入	デジタル音声出力（OPTICALまたはCOAXIAL）端子から音声信号を出力する。「入」を選んだら、「ドルビーデジタル」、「AAC」、「DTS」、「96kHz PCM」の設定をする。
切	デジタル音声出力（OPTICALまたはCOAXIAL）端子から音声信号を出力しない。この設定にすると、デジタル回路がアナログ回路に与える影響を最小限に抑えられる。

● 出荷時の設定

その他の設定

次のページにつづく

デジタル音声を設定する（つづき）

6 **◎を↑/↓に動かして、つないでいる機器に応じて設定を選ぶ。**

ドルビーデジタルデコーダー内蔵機器をつないでいるとき

［ドルビーデジタル］を選び、◎の真ん中を押す。
デジタル音声出力から出力するドルビーデジタル信号の方式を選びます。

ドルビーデジタル	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときは、この設定にしない。誤って設定すると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損したりすることがある。
● PCM	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。

● 出荷時の設定

AACデコーダー内蔵機器をつないでいるとき

［AAC］を選び、◎の真ん中を押す。
デジタル音声出力から出力する信号の方式を選びます。

AAC	AACデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。AACデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときは、この設定にしない。
● PCM	AACデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。

● 出荷時の設定

ご注意

「AAC」に設定すると、二か国語放送の音声を切り換えることができません。

DTSデコーダー内蔵機器をつないでいるとき

［DTS］を選び、◎の真ん中を押す。
デジタル音声出力からDTS信号を出力するか、しないかを設定します。

入	DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときは、この設定にしない。誤って設定すると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損したりすることがある。
● 切	DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。

● 出荷時の設定

リニアPCM 96 kHzの音声信号を出力するとき

［96kHz PCM］を選び、◎の真ん中を押す。
デジタル音声出力端子から出力するオーディオ信号のサンプリング周波数を48kHz/16bitで出力するか、デジタル音声出力から音声信号を出力しないかを選びます。

● 48kHz/16bit	サンプリング周波数48 kHzのオーディオ信号を出力する。通常はこの設定にする。著作権保護のため、デジタル音声出力からは、96 kHzで出力することはできません。
切	デジタル音声出力から音声信号を出力しない。

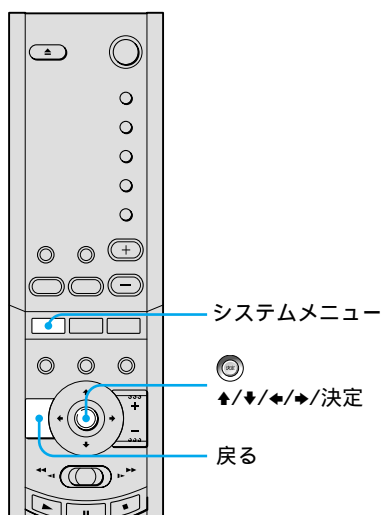
● 出荷時の設定

7 **システムメニューを押して、システムメニューに戻る。**

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

リモコンモードを切り換えて操作する（リモコンモード）

リモコンモードの設定を変更して、本機を含めて3台までBDレコーダーを個別に操作することができます。

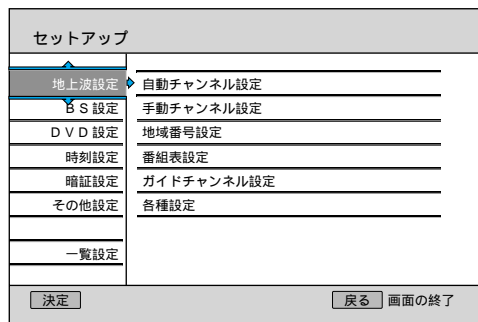
使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

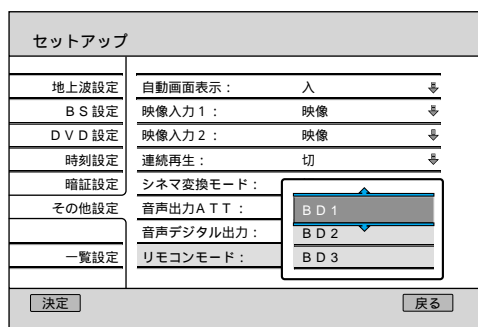
1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

3 決定を↑/↓に動かして［その他設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

4 決定を↑/↓に動かして［リモコンモード］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

5 決定を↑/↓に動かして、設定したいリモコンモードを選び、決定の真ん中を押して決定する。

出荷時は［BD1］（本機）に設定されています。

リモコンモードは表示窓に表示されます。

6 手順5で設定したリモコンモードに合わせて、リモコン裏面にあるリモコンモードスイッチを切り換える。

次のページにつづく

その他の設定

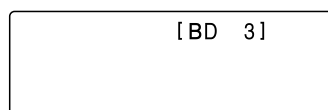
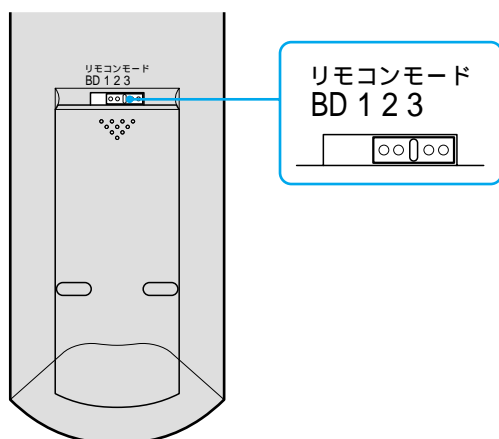
リモコンモードを切り換えて操作する（リモコンモード）（つづき）

7 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

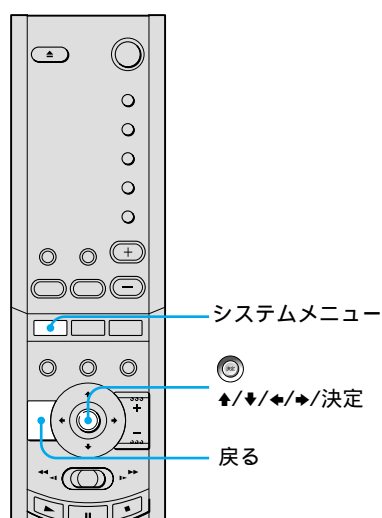
もう一度押すと、システムメニューが消えます。

ご注意

他のBDレコーダーを操作できないときは、設定したリモコンモードとリモコン裏面にあるリモコンモードスイッチの設定が同じかどうか、確認してください。設定したリモコンモードは本機の表示窓に表示されます。

本体表示窓

リモコン裏面

一覧設定を使って設定する

セットアップの設定を一覧表示して設定することができます。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

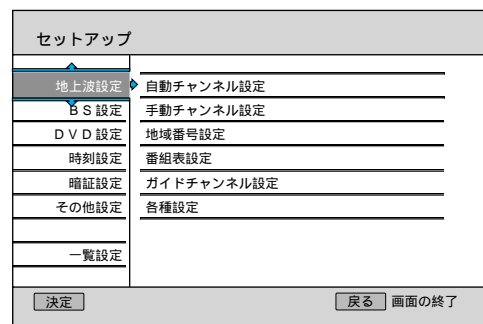
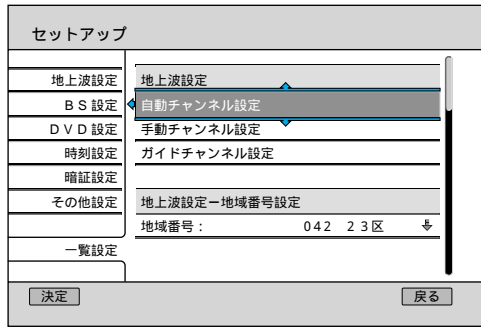
2 決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

3 を↑/↓に動かして［一覧設定］を選び、の真ん中を押して決定する。

セットアップ

地上波設定	地上波設定
ＢＳ設定	自動チャンネル設定
ＤＶＤ設定	手動チャンネル設定
時刻設定	ガイドチャンネル設定
暗証設定	
その他設定	地上波設定ー地域番号設定
	地域番号：　042　23区
一覧設定	

決定　戻る

4 を↑/↓に動かして、設定したい項目を選び、の真ん中を押して決定する。

各項目について詳しくは、それぞれのページをご覧ください。

地上波設定

- 自動チャンネル設定
  →「地上波のチャンネルを設定する」（☞47ページ）
- 手動チャンネル設定
  →「地上波のチャンネルを設定する」（☞46ページ）
- ガイドチャンネル設定
  →「チャンネルの番号をテレビに合わせる（ガイドチャンネル）」（☞42ページ）
- 地域番号
  →「地域番号を設定する」（☞53ページ）
- 取得チャンネル
  →「地上波番組表データを受信する放送局や時刻を設定する」（☞54ページ）
- 取得時刻1、取得時刻2
  →「地上波番組表データを受信する放送局や時刻を設定する」（☞54ページ）
- 自動ステレオ受信
  →「音声をステレオで受信する（自動ステレオ受信）」（☞52ページ）

BS設定

- ダイレクト選局設定
  →「リモコンに好みのBSチャンネルを登録する（ダイレクト選局設定）」（☞57ページ）
- アップダウン選局設定
  →「不要なBSチャンネルをとばす（アップダウン選局）」（☞58ページ）
- アンテナレベル表示
  →「受信状態を確認する（アンテナレベル）」（☞61ページ）
- 回線
  →「電話回線の設定をする」（☞63ページ）
- 発信
  →「電話回線の設定をする」（☞63ページ）
- 回線接続テスト
  →「電話回線の設定をする」（☞65ページ）
- 視聴年齢制限
  →「視聴年齢を制限する」（☞67ページ）
- アンテナ電源
  →「BSアンテナ電源を設定する」（☞60ページ）
- 文字スーパー表示
  →「文字スーパーの言語を変える（文字スーパー表示）」（☞66ページ）
- 郵便番号
  →「郵便番号と県域を設定する」（☞69ページ）
- 県域
  →「郵便番号と県域を設定する」（☞69ページ）

DVD設定

- DVDメニュー言語
  →「DVDメニュー言語を設定する」（☞71ページ）
- 音声言語
  →「音声言語を設定する」（☞72ページ）

一覧設定を使って設定する（つづき）

- 字幕言語
  →「字幕言語を設定する」（☞73ページ）
- 視聴年齢制限
  →「視聴年齢制限を設定する」（☞74ページ）
- ワイド画像表示
  →「ワイド画像を表示する」（☞76ページ）
- オーディオDRC
  →「DVDの音声を設定する」（☞77ページ）
- ダウンミックス
  →「DVDの音声を設定する」（☞78ページ）

時刻設定－手動設定

- 現在時刻
  →「時刻を設定する」（☞79ページ）
- 地上波ジャストクロック
  →「時刻を設定する」（☞80ページ）

時刻設定－手動設定－地上波ジャストクロック

- 取得チャンネル

暗証設定

- 暗証番号設定
  →「暗証番号を設定する」（☞81ページ）

その他設定

- TVタイプ
  →「テレビの横縦比に画像を合わせる」（☞83ページ）
- 表示窓の明るさ
  →「表示窓の明るさを設定する」（☞86ページ）
- フロント扉アップ（閉）
  →「フロント扉の開閉動作を設定する」（☞87ページ）
- 自動画面表示
  →「自動画面表示を設定する」（☞88ページ）
- 映像入力1、映像入力2
  →「S映像入力端子を使う」（☞89ページ）
- 連続再生
  →「録画した内容を続けて見る」（☞90ページ）
- シネマ変換モード
  →「映像に合った再生方法を選ぶ（シネマ変換モード）」（☞91ページ）
- 音声出力ATT
  →「音の歪みを低減する（音声出力ATT）」（☞92ページ）
- 音声デジタル出力
  →「デジタル音声を設定する」（☞93ページ）
- リモコンモード
  →「リモコンモードを切り換えて操作する（リモコンモード）」（☞95ページ）
- バージョン情報
  →本機のソフトウェアのバージョン情報が表示されます。

初期設定

- かんたん初期設定
  →「かんたん初期設定をやりなおす」（☞100ページ）
- 出荷時の状態に設定
  →「出荷時の設定に戻す」（☞99ページ）

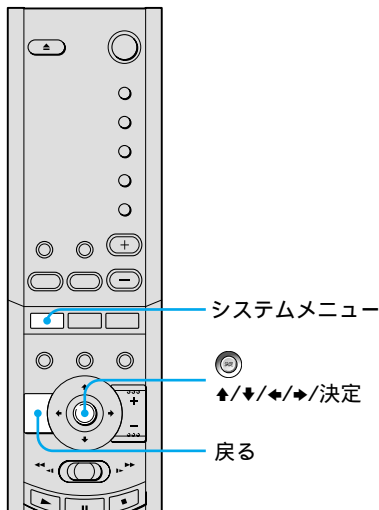
ご注意

「かんたん初期設定」と「出荷時の状態に設定」は、セットアップ画面の一覧設定からのみ行えます。

出荷時の設定に戻す

かんたん初期設定や手動で行なったすべての設定を、工場出荷時の設定に戻します。チャンネル合わせやガイドチャンネル設定も取り消されます。ただし、録画したタイトルは消去されません。

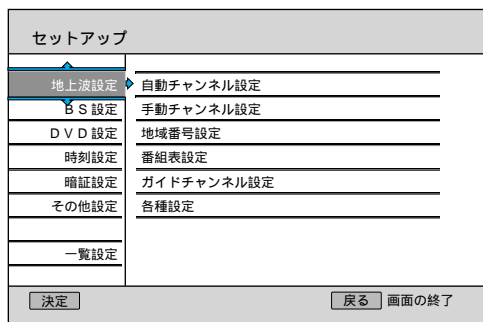
使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 決定を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

3 決定を↑/↓に動かして［一覧設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

4 決定を↑/↓に動かして［出荷時の状態に設定］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

5 決定を↑/↓に動かして、出荷時の状態に設定したい項目を選び、決定の真ん中を押して決定する。

出荷時の状態に設定する確認画面が表示されます。

6 決定を←/→に動かして［実行］を選び、決定の真ん中を押して決定する。

7 「設定が終了しました。」というメッセージが表示されたら、決定の真ん中を押す。

8 続けて他の項目を工場出荷時の設定に戻すときは、手順5～7を行う。

9 システムメニューを押して、システムメニューに戻る。

もう一度押すと、システムメニューが消えます。

ご注意

「その他設定の内容」または「すべての設定の内容」を出荷時の状態に設定すると、リモコンモードは「1」に戻ります。リモコン裏面のリモコンモードスイッチを1に合わせてください。

かんたん初期設定をやりなおす

引越しなどで、お住まいの地域が変わった場合や、再度設定を最初からやり直したいときなどは、かんたん初期設定をされることをおすすめします。

使用するボタン

図のボタンを操作して設定します。

1 システムメニューを押す。

システムメニューが表示されます。

システムメニューは、録画や再生をしていないときに押します。

2 を↑/↓に動かして［セットアップ］を選び、の真ん中を押して決定する。

「セットアップ」画面が表示されます。

3 を↑/↓に動かして［一覧設定］を選び、の真ん中を押して決定する。

4 を↑/↓に動かして［かんたん初期設定］を選び、の真ん中を押して決定する。

5 を←に動かして［実行］を選び、の真ん中を押して決定する。

6 「準備8：かんたん初期設定をする」（☞33ページ）の手順4～16を行う。

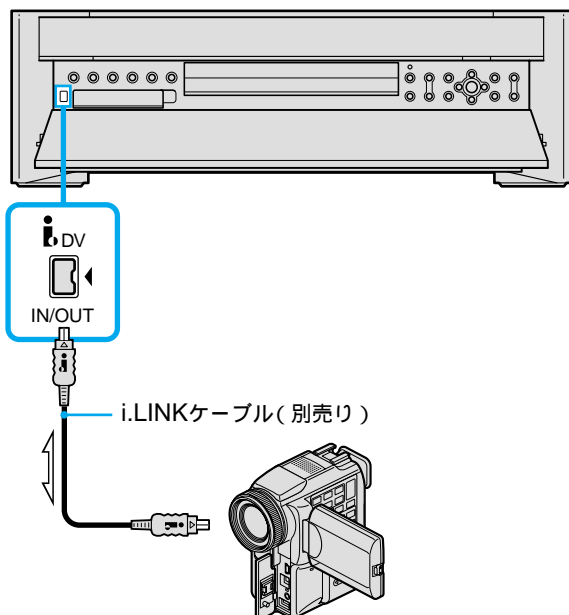
ちょっと一言

手順4で［実行］を選ばずに［戻る］を選ぶと、設定を変更せずにキャンセルできます。

他の機器との接続

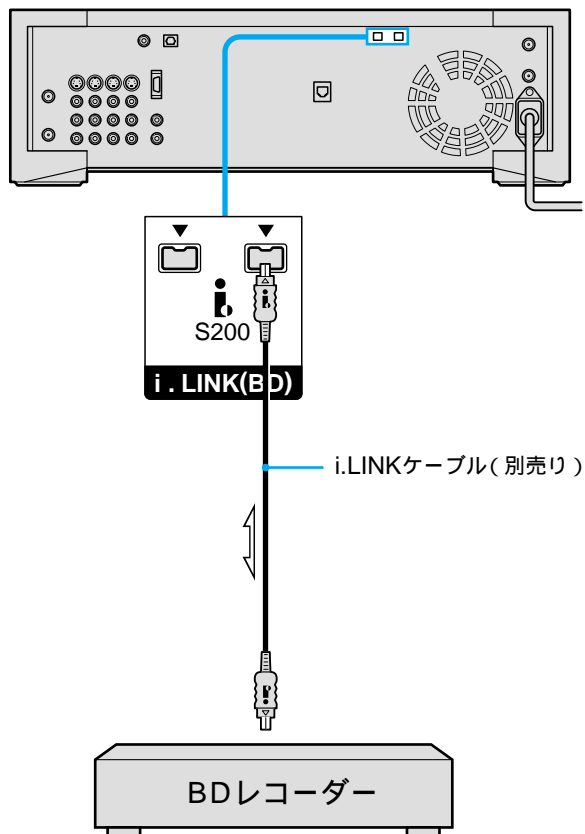
本機と他の機器を接続します。操作については、別冊の「操作」編をご覧ください。

DV端子でデジタルビデオカメラとつなぐ

本機のデジタルビデオカメラ用DV端子に接続したデジタルビデオカメラから映像を録画したり、本機で再生する映像をデジタルビデオカメラで録画できます。ビデオカメラの制御も本機のリモコンでできるので、簡単に録画することができます。
本機と接続する前に、必ず「フロント扉アップ（閉）」を「手動」に設定してください（☞87ページ）。
デジタルビデオカメラとは次のように接続します。デジタルビデオカメラの取扱説明書も合わせてご覧ください。

ご注意

デジタルビデオカメラは、本機前面のDV端子にのみつなぐことができます。本機のDV端子は、ソニー製家庭用DV方式のデジタルビデオカメラ、デジタルビデオデッキでのみ接続動作を確認しています。（2002年6月末日までに日本国内で発売した機器。DCR-VX700/VX1000、DHR-1000を除く。）
MICROMV方式のデジタルビデオカメラとは接続できません。

i.LINKで他のBDレコーダーとつなぐ

本機と他のBDレコーダーとをi.LINKケーブルでつなぐと、デジタルの高画質のままタイトルをダビングすることができます。

ちょっと一言

本機後面のどちらのi.LINK端子につないでも違いはありません。

ご注意

BDレコーダーは、本機後面のi.LINK端子にのみつなぐことができます。

必要なi.LINKケーブル

i.LINK対応機器の接続には、下記のソニー製i.LINKケーブル（別売り）をお使いください。

- VMC-IL4408B（0.8m）
- VMC-IL4415B（1.5m）
- VMC-IL4435B（3.5m）

ご注意

DVケーブルはご使用になれません。

i.LINKについて

i.LINKで何ができるの？

i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などの信号を双方向でやりとりしたり、他機を操作したりできます。次のような特徴があります。

① i.LINKケーブル1本だけでi.LINK対応機器間をつなげます。

② 複数のi.LINK対応機器をつないだときは、他の機器を介してつないでも、操作やデータのやりとりができます。このため、接続順序は気にする必要ありません。

③ ただし、つなぐ機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、つないでも操作やデータのやりとりができない場合があります。

④ i.LINK操作するときは、操作する相手を1台だけ選ぶ必要があります（「LINCする」といいます）。本機の場合、1度に1台だけBDレコーダーを操作でき、同時に複数のBDレコーダーを操作できません。

ご注意

本機はソニー製のBDレコーダー*のみとLINCすることができます。BDレコーダー以外のi.LINK機器とはLINCしないでください。故障の原因となることがあります。

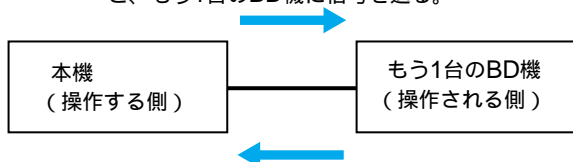
* 2003年2月現在、BDZ-S77のみ。

LINC（リンク）する

i.LINKケーブルでつなぐだけでは、つないだもう１台のBDレコーダーを操作できません。
まず操作したいBDレコーダーを選ぶ必要があります。これを「LINCする」といいます。選びかたについては、操作編の「他のBDレコーダーとLINCする」をご覧ください。
「LINCする」と、本機ともう1台のBDレコーダーとの間で、次の図のように信号のやりとりが行われます。

本機がもう1台のBD機をLINCするとき

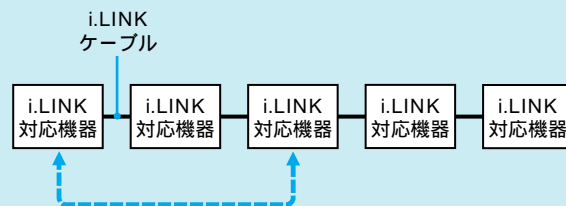
呼びかけ①と返答②でLINCが成立して初めて、もう1台のBD機を操作できるようになります。

① 本機が「これから操作してもいいですか？」と、もう1台のBD機に信号を送る。

② もう1台のBD機が「了解です」と、本機に信号を送る

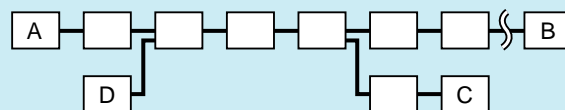
ちょっと一言

LINCとは、Logical Interface Connection（ロジカル・インターフェース・コネクション：「論理的な接続を行う」の意）の略です。
i.LINK（アイリンク）および i. はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKでの接続について

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブルで数珠つなぎにします（「デイジー・チェーン」と呼びます）。

2つの機器の間に他の機器がつながれていても、操作やデータのやりとりを行えます。

途中から分岐してつなげます

- i.LINK端子を3つ以上持つi.LINK対応機器の場合、途中から分岐してもつなげます。
- i.LINKの規格上、一番長い経路は17台までつなげます（i.LINKケーブルは、一番長い経路に対して連続して16本まで使用できます）。
  ひとつの経路に対して使用したi.LINKケーブルの数を「ホップ」と呼びます。例えば、下図のA→Cの経路は6ホップ、A→Dの経路は3ホップとなります。

A→B、A→C、A→D、B→C、B→D、C→D、
いずれの経路も最大17台の機器をつなげます（最大16ホップ）。

接続が輪（ループ）にならないようにつないでください

デジタル信号は、接続したすべてのi.LINKケーブルに流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないよう、輪にならないようにつないでください。接続が輪（環状）になることを「ループ」と呼びます。

他の機器との接続（つづき）

CSチューナーをつなぐ

デジタルCSチューナーをつないで、デジタルCS放送局と受信契約すると、本機でデジタルCS放送を録画できます。
本機は録画防止機能（コピーガード）に対応しています。このため、デジタルCSチューナーを本機に接続して番組を視聴する場合、番組によっては録画だけでなく視聴のみでも画面が乱れることがあります。この場合、デジタルCSチューナーを直接テレビにつないでください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

：映像・音声信号の流れ

S映像コードを使うときは

「セットアップ」画面の「その他設定」で「映像入力1」を「S映像」にします（☞89ページ）。S映像コードをつないだときは、映像・音声コードの映像端子（黄）はつなぎません。

ビデオをつなぐ

本機とビデオをつなぐと、ビデオテープの内容をBDに録画したり、BDのタイトルをビデオテープに録画したりできます。

本機で再生するとき

：映像・音声信号の流れ

表示窓に「D4」または「D3」が点灯しているときは

1 ツールを押す。

2 ◎を↑/↓に動かして［エディット出力切換］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

3 ◎を↑/↓に動かして［16：9エディット］または［4：3エディット］を選び、◎の真ん中を押して決定する。

録画などが終わったら［通常］に戻してください。

S映像コードを使うときは

「セットアップ」画面の「その他設定」で「映像入力1」を「S映像」にします（☞89ページ）。S映像コードをつないだときは、映像・音声コードの映像端子（黄）はつなぎません。

本機で録画するとき

：映像・音声信号の流れ

ご注意

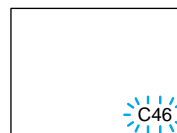
- デジタルハイビジョン放送 HD も標準テレビ放送 SD も、すべて525iに変換して出力されます。
- 以下の操作を録画中に行うと、信号が切り換わったり、画像や音声が出力されなくなったりします。そのため、正しく録画できないことがあるので、ご注意ください。
  – 番組表から番組説明を見る
  – 第二音声や第二映像、第二データなどに信号を切り換える
  －マルチビュー放送の主副番組を切り換える
  －BSアンテナレベルの調整など、受信中のチャンネルが消えてしまうメニュー操作を行う
- BSラジオやBSデータの音声は記録できますが、画像は正しく記録されません。
- 著作権保護されている番組、映像・音声は録画できません。本機は録画防止機能（コピーガード）に対応しています。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口、お買い上げ店にお問い合わせください。

ここでは、「接続と準備」編に関する内容について説明しています。操作については、「操作」編の「故障かな？と思ったら」のページをご覧ください。

自己診断機能について
（アルファベットで始まる表示が出たら）

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、画面および表示窓にアルファベットと数字でサービス番号（例：C 46）が表示され、点滅します。その際は次のように対応してください。

サービス番号	これが原因です	次のことを確認してください
C 46	ドライブ内温度上昇	電源を切って1時間おく
E XX XX（XXは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働きました。	お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。 例：E 61 10

画像について

症状		原因／対処のしかた
BSが映らない／乱れる	**アンテナの受信設定ができない/衛星が受信できない。**	● 一部のBSアンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。BSデジタル対応の推奨アンテナを使ってください。また、お手持ちのBSアンテナについては、BSアンテナ製造元のお客様窓口や、BSアンテナを購入した電気店などにお問い合わせください。 ● アンテナの前方に障害物がないところに設置してください。 ● アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 ● アンテナの方向・角度を調整してください（☞61ページ）。 ● 取付金具は水平な位置に取り付けてください。 ● アンテナと本機は、指定された別売りのサテライト用同軸ケーブルでつないでください（☞15、16ページ）。 ● 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。 – お住まいの地域またはBSを送信する放送衛星会社の地域が雷雨、強風などの悪天候のとき – BSアンテナに雪が付着しているとき – 強風などでアンテナの向きが変わったとき（BSアンテナの向きを調整してください。）
	BSが映らない/画像が乱れている。	**アンテナを直接つないでいる場合** ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 ●「セットアップ」画面の「BS設定」で、［各種設定］を選び、「アンテナ電源」を「入」または「自動」にしてください（☞60ページ）。 ● アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 ● アンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 ● アンテナの方向・角度を調整してください（☞61ページ）。 **マンションなどの共同受信システムの場合** ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください（☞17ページ）。 ● サテライト/UV分波器でVHF/UHFとBSを分波してください（☞16ページ）。 ●「セットアップ」画面の「BS設定」で、［各種設定］を選び、「アンテナ電源」を「切」にしてください（☞60ページ）。 **テレビ入力に切り換えてBSテレビを見ている場合** ● アンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。 ● 本機のコンセントを抜くと、テレビ側のBSチューナーに電源が供給されなくなります。 （次ページへつづく）

画像について（つづき）

症状		原因／対処のしかた
BSが映らない／乱れる	**BSが映らない/画像が乱れている。（つづき）**	**その他** • ハイビジョンに対応していないテレビとつないでいて、本機の映像出力切換が「D4」または「D3」に設定されている。 • 本機とテレビを離して設置してください。 • 本機から離してアンテナ線をたばねてください。 • 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。 – お住まいの地域またはBSを送信する放送衛星会社の地域が雷雨、強風などの悪天候のとき – BSアンテナに雪が付着しているとき – 強風などでアンテナの向きが変わったとき（BSアンテナの向きを調整してください。） • 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。 • BS専用のケーブルをお使いください（☞15、16ページ）。 • 加入申し込みが必要なBSチャンネルもあります（☞38ページ）。
	チャンネルが映らない／チャンネルを変えられない。	• B-CASカードを正しい向きに入れてください（☞37ページ）。 • ICカード挿入ふたを閉めてください（☞37ページ）。 • 受信契約（加入申し込み）をしてください（☞36ページ）。 • 加入申し込みの最中は、電源を入れてください。電源が入っていないと、放送局のカスタマーセンターからの信号を受信できません。 • 電源コードをしっかりつないでください（☞32ページ）。 • アンテナ線を正しく接続してください。接続が終わったら、「セットアップ」画面の「一覧設定」で「かんたん初期設定」を選び、かんたん初期設定をやり直してください（☞100ページ）。
	+/−で選局できない。	• 本機では、地上波放送とBS（テレビ、ラジオ、独立データ）放送の、それぞれのチャンネル内で順送り選局します。ご覧になっている放送の種類をご確認ください。 • チャンネルをとばすよう設定している場合は、+/−で選局できません（☞58ページ）。
	本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。	• S映像端子を使って本機の入力1または入力2端子につないだ場合は、「セットアップ」画面の「その他設定」の「映像入力1」または「映像入力2」を「S映像」に設定してください（☞89ページ）。
	画面の横縦比がおかしい。	• テレビの横縦比に画像を合わせてください（☞83ページ）。

症状		原因／対処のしかた
地上波が映らない／乱れる	**地上波が映らない/画像が乱れている。**	● 地上波の電波が弱いため、別売りアンテナブースターで電波を増幅してください。 ● 本機とテレビを離して設置してください。 ● 本機から離してアンテナ線をたばねてください。 ● 本機の近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。 ● ハイビジョンに対応していないテレビとつないでいて、本機の映像出力切換が「D4」または「D3」に設定されている。本機前面のD1/D3/D4映像出力切換ボタンで「D1」に設定してください。
	チャンネルが映らない／チャンネルを変えられない。	● 電源コードをしっかりつないでください（☞32ページ）。 ● アンテナ線を正しく接続してください。接続が終わったら、「セットアップ」画面の「一覧設定」で「かんたん初期設定」を選び、かんたん初期設定をやり直してください（☞100ページ）。
	⊕/⊖で選局できない。	● チャンネルをとばすよう設定している場合は、⊕/⊖で選局できません（☞48ページ）。 ● 本機では、地上波放送とBS（テレビ、ラジオ、独立データ）放送の、それぞれのチャンネル内で順送り選局します。ご覧になっている放送の種類をご確認ください。
	本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。	● S映像端子を使って本機の入力1または入力2端子につないだ場合は、「セットアップ」画面の「その他設定」の「映像入力1」または「映像入力2」を「S映像」に設定してください（☞89ページ）。
	画面の横縦比がおかしい。	● テレビの横縦比に画像を合わせてください（☞83ページ）。

症状	原因／対処のしかた
DVD/BD**の再生画が映らない/画像が乱れている。**	● プログレッシブに対応していないテレビとつないでいて、本機の映像出力切換が「D4」または「D3」に設定されている。本機前面のD1/D3/D4映像出力切換ボタンで「D1」に設定してください。

音声について

症状		原因／対処のしかた
音声が乱れる	**音声が出ない/音声がおかしい。**	● 接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。 ● 映像・音声コードを正しくつないでください（☞23ページ）。 ● 録画するときに「セットアップ」画面の「地上波設定」で「各種設定」の「自動ステレオ受信」を「入」に設定しておいてください（☞52ページ）。 ● デジタル音声出力（OPTICALおよびCOAXIAL）端子から音が出ないときは設定画面を確認してください（☞93ページ）。 ● DTS収録のDVDの音声は、デジタル出力端子のみから出力されます。本機のデジタル出力をDTS対応アンプまたはデコーダーのデジタル入力端子へ接続してください。デジタル出力の設定が「入」になっているか確認してください（☞93ページ）。

番組表（EPG）について

症状		原因／対処のしかた
番組表が表示されない	**番組表が表示されない。**	● 接続と設置が終了しても、地上波番組表データを受信するまでは地上波番組表は表示されません。受信が終わるまでしばらくお待ちください。受信に1日程度かかることもあります。デジタルBSの場合、約30分かかることもあります。 ● お住まいの地域によっては、番組表を受信できない場合があります。 ● 日付や時刻を正しく設定してください。 ● 番組表を更新していますので、更新が終わるまでしばらくお待ちください。 ● 受信状態が悪いときには、番組表を表示できません。 ● 間違った地域番号が設定されています。「セットアップ」画面の「一覧設定」で「かんたん初期設定」を選び、正しい地域番号でかんたん初期設定をやり直してください（☞100ページ）。 ● 地上波番組表の番組情報送信放送局または送信時刻が変更された場合は、正しい放送局や時刻を設定してください（☞54ページ）。
	表示されない放送局／番組がある。	● 間違った地域番号が設定されています。「セットアップ」画面の「一覧設定」で「かんたん初期設定」を選び、正しい地域番号でかんたん初期設定をやり直してください（☞100ページ）。 ● 地上波ケーブルテレビ（CATV）の番組は、番組表に表示されません。 ● 番組表でチャンネルを非表示に設定しています。 ● 番組表のデータに含まれない放送局は、表示されません。 ● 受信状態が悪いと、すべての番組表データを受信できないことがあります。
	番組表が更新されない。	● 地上波番組表の番組情報送信放送局または送信時刻が変更された場合は、正しい放送局や時刻を設定してください（☞54ページ）。

メニューやリモコンについて

症状		原因／対処のしかた
メニューが選べない／表示が消えない	**「ICカードとのアクセスが成立しません ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください」と表示される。**	● B-CASカードがロックするまでしっかり入っているか、入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度正しい向きで入れ直してください（☞37ページ）。 入れ直してもメッセージが表示されるときは、ご覧になっている各放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください（☞38ページ）。 ● B-CASカードが破損している場合は、ご覧になっている各BS放送局のカスタマーセンター（☞38ページ）、またはB-CASカスタマーセンター（電話番号0570-00-0250）へお問い合わせください。
リモコンが働かない	**リモコンのボタンを押しても本機やテレビが動作しない。**	● 電池が消耗しています。新しい電池に替えてください。 ● 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください（☞12ページ）。 ● リモコンモードが本体と合っていません。本体と合わせてください（☞95ページ）。

表示について

症状	原因／対処のしかた
本体表示窓に「－：－－」表示が点灯している。	● 時計を合わせてください（☞79ページ）。
表示窓が暗くなっている。	● 表示窓の明るさの設定を確認してください（☞86ページ）。
表示窓に何も表示されない。	● セットアップの「表示窓の明るさ」で「消灯」を選んでいる。「明」または「暗」にしてください（☞86ページ）。

電源スタンバイ時のデータ取得について

電源スタンバイ時に、本機の電源が自動的に入ります。
これはデータを取得するための動作です。このとき、同時にファンが回転することがあります。故障ではありません。
データ取得が終わったら、自動的にスタンバイ状態に戻り、ファンの回転も止まります。

ちょっと一言

データ取得中は、本体表示窓に DATA と表示されます。

リセットについて

万が一、本機が動作しなくなったり、電源の入/切ができなくなったりしたときは、本体のPOWER I/⏻（電源）ボタンを、ピッピーと音が鳴るまで10秒以上押してください。
本体をリセットすることで、正常に動作するようになります。

また、リセット後に異常が改善されない場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお知らせください。
- 音が出ない。
- テレビ画面の映像が動かなくなった。
- 番組表やチューナーの表示窓の現在時刻が正確でない。

地上波番組表（EPG）について

本機では、地上波電子番組表*の表示機能にGガイドシステムを採用しています。Gガイドシステムを利用した電子番組表は、特定の放送局（ホスト局）の地上波放送とともに送信されています。本機は、そのデータを1日数回受信して、テレビ画面に番組表を表示しています。
ホスト局からの放送を受信できる地域にお住まいの場合は、かんたん初期設定を行うだけで、この番組情報サービスを無料にてご利用いただけます。ただし、お住まいの地域や電波状況によっては、ご利用できない場合もあります。

* 当社では、Gガイドシステムを利用した電子番組表のサービスおよび番組表の内容には関与していません。

Gガイドシステムについて

Gガイドシステムは、（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドがサービス主体となり、特定の放送局の放送波を利用して番組表データを送信するサービスです。番組表のデータ送信は（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドと、データ送信を行う放送局側で行われているため、都合によりデータが送信されない場合もあります。また、お住まいの地域によっては、サービスを受信できない場合もあります。

Gガイドのサービス地域について

Gガイドシステムを利用した地上波番組表データは、次の放送局より送信されています（2002年4月1日現在）。

- 北海道地域―北海道放送（HBC）
- 東北地域―青森テレビ（ATV）、秋田テレビ（AKT）、IBC岩手放送（IBC）、テレビユー山形（TUY）、東北放送（TBC）、テレビユー福島（TUF）
- 関東地域―東京放送（TBS）
- 中部地域―新潟放送（BSN）、信越放送（SBC）、静岡放送（SBS）、中部日本放送（CBC）、テレビ山梨（UTY）、チューリップテレビ（TUT）、北陸放送（MRO）、福井テレビ（FTB）
- 近畿地域―毎日放送（MBS）、朝日放送（ABC）
- 中国・四国地域―山陽放送（RSK）、中国放送（RCC）、テレビ山口（TYS）、山陰放送（BSS）、伊予テレビ（ITV）、テレビ高知（KUTV）
- 九州・沖縄地域―RKB毎日放送（RKB）、長崎放送（NBC）、大分放送（OBS）、熊本放送（RKK）、宮崎放送（MRT）、南日本放送（MBC）、琉球放送（RBC）

言語コード一覧

言語名表記はISO639:1988（E/F）に準拠

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Byelorussian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali; Bangla
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French

コード	言語
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic
1299	Cambodian
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian
1332	Lithuanian

コード	言語
1334	Latvian; Lettish
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	(Afan)Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance
1482	Kirundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho
1502	Serbo-Croatian
1503	Singhalese
1505	Slovak

コード	言語
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati
1514	Sesotho
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana
1535	Tonga
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapuk
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

地域コード一覧

お住まいの地域の地域番号と、その地域番号で地上波番組表（Gガイド）予約できる放送局を一覧表にしています。

表の中の文字の見かた

• の付いている放送局（ホスト局）から地上波番組表データが送信されています（2002年4月現在）。

例：本機を3チャンネルにすると、NHK総合（識別番号80）が映る

80 → 3（NHK総合）

放送局名

ガイドチャンネル Gガイドのための放送局の識別番号

表示チャンネル 画面に映るチャンネル（一般的に「チャンネル」と呼ばれているのはこの表示チャンネルです）

現在お住まいの地域

札幌（江別） 001

地域番号
「地域番号を設定する」（☞53ページ）で選択する番号

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
北海道	札幌	001	80→3 （NHK総合） 1→1 （北海道放送）• 35→35（北海道テレビ） 17→17（テレビ北海道）	90→12（NHK教育） 5→5 （札幌テレビ） 27→27（北海道文化放送）
	小樽	002	80→11（NHK総合） 1→9 （北海道放送）• 35→4 （北海道テレビ） 17→24（テレビ北海道）	90→2 （NHK教育） 5→7 （札幌テレビ） 27→26（北海道文化放送）
	旭川	003	80→09（NHK総合） 1→11 （北海道放送）• 35→39（北海道テレビ） 17→33（テレビ北海道）	90→2 （NHK教育） 5→7 （札幌テレビ） 27→37（北海道文化放送）
	名寄	004	80→4 （NHK総合） 1→10 （北海道放送）• 35→24（北海道テレビ） 17→33（テレビ北海道）	90→12（NHK教育） 5→6 （札幌テレビ） 27→26（北海道文化放送）
	稚内	005	80→28（NHK総合） 1→10 （北海道放送）• 35→24（北海道テレビ） 17→33（テレビ北海道）	90→30（NHK教育） 5→22 （札幌テレビ） 27→26（北海道文化放送）
	室蘭	006	80→9 （NHK総合） 1→11 （北海道放送）• 35→39（北海道テレビ） 17→29（テレビ北海道）	90→2 （NHK教育） 5→7 （札幌テレビ） 27→37（北海道文化放送）
	苫小牧	007	80→51（NHK総合） 1→55 （北海道放送）• 35→61（北海道テレビ） 17→47（テレビ北海道）	90→49（NHK教育） 5→57 （札幌テレビ） 27→53（北海道文化放送）
	函館	008	80→4 （NHK総合） 1→6 （北海道放送）• 35→35（北海道テレビ） 17→21（テレビ北海道）	90→10（NHK教育） 5→12 （札幌テレビ） 27→27（北海道文化放送）
	帯広	009	80→4 （NHK総合） 1→6 （北海道放送）• 35→34（北海道テレビ）	90→12（NHK教育） 5→10 （札幌テレビ） 27→32（北海道文化放送）
	釧路	010	80→9 （NHK総合） 1→11 （北海道放送）• 35→39（北海道テレビ） 17→29（テレビ北海道）	90→2 （NHK教育） 5→7 （札幌テレビ） 27→41（北海道文化放送）

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
北海道	網走	011	80→3 （NHK総合） 1→1 （北海道放送）• 35→35（北海道テレビ）	90→12（NHK教育） 5→5 （札幌テレビ） 27→27（北海道文化放送）
	北見	012	80→9 （NHK総合） 1→53 （北海道放送）• 35→61（北海道テレビ）	90→2 （NHK教育） 5→7 （札幌テレビ） 27→59（北海道文化放送）
青森	青森（弘前）	013	80→3 （NHK総合） 1→1 （青森放送） 34→34（青森朝日放送）	90→5 （NHK教育） 38→38（青森テレビ）•
	八戸	014	80→9 （NHK総合） 1→11 （青森放送） 34→31（青森朝日放送）	90→7 （NHK教育） 38→33（青森テレビ）•
	むつ	015	80→4 （NHK総合） 1→10 （青森放送） 34→56（青森朝日放送）	90→12（NHK教育） 38→58（青森テレビ）•
岩手	盛岡	016	80→4 （NHK総合） 6→6 （岩手放送）• 33→33（岩手めんこいテレビ）	90→8 （NHK教育） 35→35（テレビ岩手） 20→31（岩手朝日テレビ）
	釜石	017	80→2 （NHK総合） 6→10 （岩手放送）• 33→60（岩手めんこいテレビ）	90→12（NHK教育） 35→58（テレビ岩手） 20→62（岩手朝日テレビ）
	二戸	018	80→5 （NHK総合） 6→2 （岩手放送）• 33→29（岩手めんこいテレビ）	90→12（NHK教育） 35→37（テレビ岩手） 20→27（岩手朝日テレビ）
宮城	仙台	019	80→3 （NHK総合） 1→1 （東北放送）• 34→34（宮城テレビ）	90→5 （NHK教育） 12→12（仙台放送） 32→32（東日本放送）
	石巻	020	80→51（NHK総合） 1→59 （東北放送）• 34→55（宮城テレビ）	90→49（NHK教育） 12→57（仙台放送） 32→61（東日本放送）
	気仙沼	021	80→2 （NHK総合） 1→4 （東北放送）• 34→37（宮城テレビ）	90→10（NHK教育） 12→6 （仙台放送） 32→43（東日本放送）
秋田	秋田	022	80→9 （NHK総合） 11→11（秋田放送） 31→31（秋田朝日放送）	90→2 （NHK教育） 37→37（秋田テレビ）•
	大館	023	80→4 （NHK総合） 11→6 （秋田放送） 31→59（秋田朝日放送）	90→8 （NHK教育） 37→57（秋田テレビ）•
	大曲	024	80→45（NHK総合） 11→47（秋田放送） 31→41（秋田朝日放送）	90→43（NHK教育） 37→51（秋田テレビ）•
山形	山形	025	80→8 （NHK総合） 10→10（山形放送） 36→36（テレビユー山形）•	90→4 （NHK教育） 38→38（山形テレビ） 30→30（さくらんぼテレビ）
	鶴岡（酒田）	026	80→3 （NHK総合） 10→1 （山形放送） 36→22（テレビユー山形）•	90→6 （NHK教育） 38→39（山形テレビ） 30→24（さくらんぼテレビ）
	米沢	027	80→52（NHK総合） 10→54（山形放送） 36→56（テレビユー山形）•	90→50（NHK教育） 38→58（山形テレビ） 30→60（さくらんぼテレビ）
福島	福島（郡山）	028	80→9 （NHK総合） 11→11（福島テレビ） 35→35（福島放送）	90→2 （NHK教育） 33→33（福島中央テレビ） 31→31（テレビユー福島）•
	いわき	029	80→4 （NHK総合） 11→8 （福島テレビ） 35→60（福島放送）	90→10（NHK教育） 33→58（福島中央テレビ） 31→62（テレビユー福島）•
	会津若松	030	80→1 （NHK総合） 11→6 （福島テレビ） 35→41（福島放送）	90→3 （NHK教育） 33→37（福島中央テレビ） 31→47（テレビユー福島）•
茨城	水戸	031	80→44（NHK総合） 4→42 （日本テレビ） 8→38 （フジテレビ） 12→32（テレビ東京） 46→39（千葉テレビ）	90→46（NHK教育） 6→40 （TBSテレビ）• 10→36（テレビ朝日） 14→14（東京メトロポリタン）
	日立	032	80→52（NHK総合） 4→54 （日本テレビ） 8→58 （フジテレビ） 12→62（テレビ東京） 46→39（千葉テレビ）	90→50（NHK教育） 6→56 （TBSテレビ）• 10→60（テレビ朝日） 14→14（東京メトロポリタン）
栃木	宇都宮	033	80→29（NHK総合） 4→25 （日本テレビ） 8→21 （フジテレビ） 12→17（テレビ東京） 14→14（東京メトロポリタン）	90→27（NHK教育） 6→23 （TBSテレビ）• 10→19（テレビ朝日） 23→31（とちぎテレビ）
	矢板	034	80→51（NHK総合） 4→53 （日本テレビ） 8→57 （フジテレビ） 12→61（テレビ東京） 14→14（東京メトロポリタン）	90→49（NHK教育） 6→55 （TBSテレビ）• 10→59（テレビ朝日） 23→31（とちぎテレビ）

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
群馬	前橋（伊勢崎・高崎）	035	80→52（NHK総合） 90→50（NHK教育） 4→54（日本テレビ） 6→56（TBSテレビ）● 8→58（フジテレビ） 10→60（テレビ朝日） 12→62（テレビ東京） 48→48（群馬テレビ） 38→38（テレビ埼玉） 14→14（東京メトロポリタン）
	桐生	036	80→43（NHK総合） 90→45（NHK教育） 4→39（日本テレビ） 6→37（TBSテレビ）● 8→35（フジテレビ） 10→33（テレビ朝日） 12→31（テレビ東京） 48→41（群馬テレビ） 38→38（テレビ埼玉） 14→14（東京メトロポリタン）
埼玉	さいたま	037	80→1（NHK総合） 90→3（NHK教育） 4→4（日本テレビ） 6→6（TBSテレビ）● 8→8（フジテレビ） 10→10（テレビ朝日） 12→12（テレビ東京） 38→38（テレビ埼玉） 14→14（東京メトロポリタン）
	熊谷	038	80→33（NHK総合） 90→35（NHK教育） 4→25（日本テレビ） 6→23（TBSテレビ）● 8→21（フジテレビ） 10→19（テレビ朝日） 12→17（テレビ東京） 38→28（テレビ埼玉）
	秩父	039	80→51（NHK総合） 90→49（NHK教育） 4→53（日本テレビ） 6→55（TBSテレビ）● 8→57（フジテレビ） 10→59（テレビ朝日） 12→61（テレビ東京） 38→47（テレビ埼玉）
千葉	千葉	040	80→1（NHK総合） 90→3（NHK教育） 4→4（日本テレビ） 6→6（TBSテレビ）● 8→8（フジテレビ） 10→10（テレビ朝日） 12→12（テレビ東京） 46→46（千葉テレビ） 42→42（テレビ神奈川） 14→14（東京メトロポリタン）
	銚子	041	80→51（NHK総合） 90→49（NHK教育） 4→53（日本テレビ） 6→55（TBSテレビ）● 8→57（フジテレビ） 10→59（テレビ朝日） 12→61（テレビ東京） 46→39（千葉テレビ） 42→42（テレビ神奈川）
東京	23区	042	80→1（NHK総合） 90→3（NHK教育） 4→4（日本テレビ） 6→6（TBSテレビ）● 8→8（フジテレビ） 10→10（テレビ朝日） 12→12（テレビ東京） 46→46（千葉テレビ） 42→42（テレビ神奈川） 38→38（テレビ埼玉） 14→14（東京メトロポリタン）
	八王子	043	80→51（NHK総合） 90→49（NHK教育） 4→53（日本テレビ） 6→55（TBSテレビ）● 8→57（フジテレビ） 10→59（テレビ朝日） 12→61（テレビ東京） 46→46（千葉テレビ） 42→42（テレビ神奈川） 38→38（テレビ埼玉） 14→14（東京メトロポリタン）
	多摩	044	80→30（NHK総合） 90→32（NHK教育） 4→26（日本テレビ） 6→24（TBSテレビ）● 8→22（フジテレビ） 10→20（テレビ朝日） 12→18（テレビ東京） 46→46（千葉テレビ） 42→42（テレビ神奈川） 38→38（テレビ埼玉） 14→28（東京メトロポリタン）
神奈川	横浜1*	045	80→52（NHK総合） 90→50（NHK教育） 4→54（日本テレビ） 6→56（TBSテレビ）● 8→58（フジテレビ） 10→60（テレビ朝日） 12→62（テレビ東京） 42→48（テレビ神奈川） 14→14（東京メトロポリタン）
	横浜2*	046	80→1（NHK総合） 90→3（NHK教育） 4→4（日本テレビ） 6→6（TBSテレビ）● 8→8（フジテレビ） 10→10（テレビ朝日） 12→12（テレビ東京） 42→42（テレビ神奈川） 14→14（東京メトロポリタン）
	平塚（茅ヶ崎）	047	80→33（NHK総合） 90→29（NHK教育） 4→35（日本テレビ） 6→37（TBSテレビ）● 8→39（フジテレビ） 10→41（テレビ朝日） 12→43（テレビ東京） 42→31（テレビ神奈川） 14→14（東京メトロポリタン）
	秦野	048	80→47（NHK総合） 90→49（NHK教育） 4→51（日本テレビ） 6→53（TBSテレビ）● 8→55（フジテレビ） 10→57（テレビ朝日） 12→59（テレビ東京） 42→61（テレビ神奈川） 14→14（東京メトロポリタン）
	小田原	049	80→52（NHK総合） 90→50（NHK教育） 4→54（日本テレビ） 6→56（TBSテレビ）● 8→58（フジテレビ） 10→60（テレビ朝日） 12→62（テレビ東京） 42→46（テレビ神奈川） 14→14（東京メトロポリタン）

* NHK総合を52チャンネルでご覧の方は「横浜1」を、それ以外の方は「横浜2」を選んでください。どちらかわからない方は「横浜2」を選び、受信状態を確認してください。正しく受信できないときは、「横浜1」を選びなおしてください。

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）
山梨	甲府	050	80→1（NHK総合） 90→3（NHK教育） 5→5（山梨放送） 37→37（テレビ山梨）●
長野	長野1**	051	80→44（NHK総合） 90→46（NHK教育） 11→48（信越放送）● 38→42（長野放送） 30→40（テレビ信州） 20→50（長野朝日放送）
	長野2**	052	80→02（NHK総合） 90→9（NHK教育） 11→11（信越放送）● 38→38（長野放送） 30→30（テレビ信州） 20→20（長野朝日放送）
	松本	053	80→44（NHK総合） 90→46（NHK教育） 30→48（テレビ信州） 11→40（信越放送）● 38→42（長野放送） 20→50（長野朝日放送）
	飯田	054	80→4（NHK総合） 90→3（NHK教育） 11→6（信越放送）● 38→40（長野放送） 30→42（テレビ信州） 20→44（長野朝日放送）
	岡谷・上諏訪	055	80→4（NHK総合） 90→8（NHK教育） 30→59（テレビ信州） 11→6（信越放送）● 38→47（長野放送） 20→61（長野朝日放送）
新潟	新潟（長岡）	056	80→8（NHK総合） 90→12（NHK教育） 5→5（新潟放送）● 35→35（新潟総合テレビ） 29→29（テレビ新潟） 21→21（新潟テレビ21）
	上越	057	80→3（NHK総合） 90→1（NHK教育） 5→10（新潟放送）● 35→33（新潟総合テレビ） 29→27（テレビ新潟） 21→37（新潟テレビ21）
富山	富山	058	80→3（NHK総合） 90→10（NHK教育） 1→1（北日本放送） 34→34（富山テレビ） 32→32（チューリップテレビ）●
	高岡	059	80→48（NHK総合） 90→46（NHK教育） 1→50（北日本放送） 34→44（富山テレビ） 32→42（チューリップテレビ）●
石川	金沢（小松）	060	80→4（NHK総合） 90→08（NHK教育） 6→6（北陸放送）● 37→37（石川テレビ） 33→33（テレビ金沢） 25→25（北陸朝日放送）
	七尾	061	80→9（NHK総合） 90→5（NHK教育） 6→11（北陸放送）● 37→55（石川テレビ） 33→57（テレビ金沢） 25→59（北陸朝日放送）
福井	福井	062	80→9（NHK総合） 90→3（NHK教育） 11→11（福井放送） 39→39（福井テレビ）●
	敦賀	063	80→6（NHK総合） 90→12（NHK教育） 11→08（福井放送） 39→38（福井テレビ）●
岐阜	岐阜（大垣）	064	80→39（NHK総合） 90→9（NHK教育） 5→5（中部日本放送）● 1→1（東海テレビ） 11→11（名古屋テレビ） 35→35（中京テレビ） 37→37（岐阜放送） 25→25（テレビ愛知） 33→33（三重テレビ）
	高山	065	80→4（NHK総合） 90→2（NHK教育） 5→6（中部日本放送）● 1→8（東海テレビ） 11→12（名古屋テレビ） 35→26（中京テレビ） 37→38（岐阜放送） 25→25（テレビ愛知） 33→33（三重テレビ）
	中津川	066	80→4（NHK総合） 90→12（NHK教育） 5→8（中部日本放送）● 1→10（東海テレビ） 11→6（名古屋テレビ） 35→26（中京テレビ） 37→28（岐阜放送） 25→25（テレビ愛知） 33→33（三重テレビ）
静岡	静岡（清水・焼津）	067	80→9（NHK総合） 90→2（NHK教育） 11→11（静岡放送）● 35→35（テレビ静岡） 33→33（静岡朝日テレビ） 31→31（静岡第一テレビ）
	浜松	068	80→4（NHK総合） 90→8（NHK教育） 11→6（静岡放送）● 35→34（テレビ静岡） 33→28（静岡朝日テレビ） 31→30（静岡第一テレビ）
	富士（富士宮）	069	80→52（NHK総合） 90→54（NHK教育） 11→41（静岡放送）● 35→39（テレビ静岡） 33→29（静岡朝日テレビ） 31→27（静岡第一テレビ）
	三島・沼津	070	80→53（NHK総合） 90→51（NHK教育） 11→55（静岡放送）● 35→59（テレビ静岡） 33→57（静岡朝日テレビ） 31→61（静岡第一テレビ）
	島田	071	80→1（NHK総合） 90→3（NHK教育） 11→5（静岡放送）● 35→58（テレビ静岡） 33→50（静岡朝日テレビ） 31→48（静岡第一テレビ）
	藤枝	072	80→42（NHK総合） 90→44（NHK教育） 11→40（静岡放送）● 35→38（テレビ静岡） 33→26（静岡朝日テレビ） 31→24（静岡第一テレビ）

** NHK総合を44チャンネルでご覧の方は「長野1」を、それ以外の方は「長野2」を選んでください。どちらかわからない方は「長野2」を選び、受信状態を確認してください。正しく受信できないときは、「長野1」を選びなおしてください。

地域コード一覧（つづき）

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
愛知	名古屋	073	80→3 （NHK総合） 5→5 （中部日本放送）● 11→11（名古屋テレビ） 25→25（テレビ愛知） 37→37（岐阜放送）	90→9 （NHK教育） 1→1 （東海テレビ） 35→35（中京テレビ） 33→33（三重テレビ）
	豊橋 （豊川）	074	80→54（NHK総合） 5→62 （中部日本放送）● 11→60（名古屋テレビ） 25→52（テレビ愛知） 37→37（岐阜放送）	90→50（NHK教育） 1→56 （東海テレビ） 35→58（中京テレビ） 33→33（三重テレビ）
	豊田	075	80→53（NHK総合） 5→55 （中部日本放送）● 11→61（名古屋テレビ） 25→49（テレビ愛知） 37→37（岐阜放送）	90→51（NHK教育） 1→57 （東海テレビ） 35→59（中京テレビ） 33→33（三重テレビ）
三重	津	076	80→31（NHK総合） 5→5 （中部日本放送）● 11→11（名古屋テレビ） 33→33（三重テレビ）	90→9 （NHK教育） 1→1 （東海テレビ） 35→35（中京テレビ） 25→25（テレビ愛知）
	伊勢	077	80→53（NHK総合） 5→55 （中部日本放送）● 11→61（名古屋テレビ） 33→59（三重テレビ）	90→49（NHK教育） 1→57 （東海テレビ） 35→47（中京テレビ） 25→25（テレビ愛知）
	名張	078	80→52（NHK総合） 5→60 （中部日本放送）● 11→56（名古屋テレビ） 33→58（三重テレビ）	90→50（NHK教育） 1→62 （東海テレビ） 35→54（中京テレビ） 25→25（テレビ愛知）
滋賀	大津	079	80→28（NHK総合） 4→36 （毎日放送）● 8→40 （関西テレビ） 30→30（びわ湖放送）	90→46（NHK教育） 6→38 （朝日放送） 10→42（読売テレビ） 34→34（京都テレビ）
	彦根	080	80→52（NHK総合） 4→54 （毎日放送）● 8→60 （関西テレビ） 30→56（びわ湖放送）	90→50（NHK教育） 6→58 （朝日放送） 10→62（読売テレビ） 34→34（京都テレビ）
京都	京都 （宇治）	081	80→2 （NHK総合） 4→4 （毎日放送）● 8→8 （関西テレビ） 34→34（京都テレビ） 36→36（サンテレビ）	90→12（NHK教育） 6→6 （朝日放送） 10→10（読売テレビ） 19→19（テレビ大阪）
	舞鶴	082	80→51（NHK総合） 4→53 （毎日放送）● 8→59 （関西テレビ） 19→19（テレビ大阪） 36→36（サンテレビ）	90→49（NHK教育） 6→55 （朝日放送） 10→61（読売テレビ） 34→57（京都テレビ）
	福知山	083	80→50（NHK総合） 4→54 （毎日放送）● 8→60 （関西テレビ） 19→19（テレビ大阪） 36→36（サンテレビ）	90→52（NHK教育） 6→58 （朝日放送） 10→62（読売テレビ） 34→56（京都テレビ）
大阪	大阪	084	80→2 （NHK総合） 4→4 （毎日放送）● 8→8 （関西テレビ） 19→19（テレビ大阪） 36→36（サンテレビ）	90→12（NHK教育） 6→6 （朝日放送） 10→10（読売テレビ） 34→34（京都テレビ）
兵庫	神戸	085	80→28（NHK総合） 4→18 （毎日放送）● 8→22 （関西テレビ） 36→36（サンテレビ）	90→26（NHK教育） 6→20 （朝日放送） 10→24（読売テレビ） 19→19（テレビ大阪）
	神戸灘	086	80→52（NHK総合） 4→54 （毎日放送）● 8→58 （関西テレビ） 36→62（サンテレビ）	90→50（NHK教育） 6→56 （朝日放送） 10→60（読売テレビ） 19→19（テレビ大阪）
	川西	087	80→29（NHK総合） 4→35 （毎日放送）● 8→39 （関西テレビ） 36→33（サンテレビ）	90→31（NHK教育） 6→37 （朝日放送） 10→41（読売テレビ） 19→19（テレビ大阪）
	三木	088	80→44（NHK総合） 4→34 （毎日放送）● 8→40 （関西テレビ） 19→19（テレビ大阪）	90→46（NHK教育） 6→38 （朝日放送） 10→42（読売テレビ） 36→36（サンテレビ）
	姫路	089	80→50（NHK総合） 4→54 （毎日放送）● 8→60 （関西テレビ） 36→56（サンテレビ）	90→52（NHK教育） 6→58 （朝日放送） 10→62（読売テレビ） 19→19（テレビ大阪）

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
兵庫	明石 （加古川）	090	80→51（NHK総合） 4→53 （毎日放送）● 8→59 （関西テレビ） 36→55（サンテレビ）	90→49（NHK教育） 6→57 （朝日放送） 10→61（読売テレビ） 19→19（テレビ大阪）
奈良	奈良	091	80→51（NHK総合） 4→4 （毎日放送）● 8→8 （関西テレビ） 55→55（奈良テレビ） 34→34（京都テレビ）	90→12（NHK教育） 6→6 （朝日放送） 10→10（読売テレビ） 36→36（サンテレビ） 19→19（テレビ大阪）
	五條	092	80→43（NHK総合） 4→33 （毎日放送）● 8→37 （関西テレビ） 55→41（奈良テレビ） 34→34（京都テレビ）	90→45（NHK教育） 6→35 （朝日放送） 10→39（読売テレビ） 36→36（サンテレビ） 19→19（テレビ大阪）
和歌山	和歌山	093	80→32（NHK総合） 4→42 （毎日放送）● 8→46 （関西テレビ） 30→30（テレビ和歌山）	90→26（NHK教育） 6→44 （朝日放送） 10→48（読売テレビ）
	海南・田辺	094	80→50（NHK総合） 4→54 （毎日放送）● 8→60 （関西テレビ） 30→56（テレビ和歌山）	90→52（NHK教育） 6→58 （朝日放送） 10→62（読売テレビ）
鳥取	鳥取	095	80→3 （NHK総合） 1→1 （日本海テレビ） 34→24（山陰中央テレビ）	90→4 （NHK教育） 10→22（山陰放送）●
島根	松江	096	80→6 （NHK総合） 10→10（山陰放送）● 1→30 （日本海テレビ）	90→12（NHK教育） 34→34（山陰中央テレビ）
	浜田	097	80→2 （NHK総合） 10→5 （山陰放送）● 1→54 （日本海テレビ）	90→9 （NHK教育） 34→58（山陰中央テレビ）
岡山	岡山 （倉敷）	098	80→5 （NHK総合） 11→11（山陽放送）● 23→23（テレビせとうち） 33→25（瀬戸内海放送）	90→3 （NHK教育） 35→35（岡山放送） 9→9 （西日本放送）
	津山	099	80→2 （NHK総合） 11→7 （山陽放送）● 23→56（テレビせとうち） 33→62（瀬戸内海放送）	90→12（NHK教育） 35→60（岡山放送） 9→58 （西日本放送）
	笠岡	100	80→2 （NHK総合） 11→6 （山陽放送）● 23→19（テレビせとうち） 33→21（瀬戸内海放送）	90→4 （NHK教育） 35→60（岡山放送） 9→17 （西日本放送）
広島	広島	101	80→3 （NHK総合） 4→4 （中国放送）● 35→35（広島ホームテレビ）	90→7 （NHK教育） 12→12（広島テレビ） 31→31（テレビ新広島）
	福山	102	80→5 （NHK総合） 4→7 （中国放送）● 35→57（広島ホームテレビ）	90→3 （NHK教育） 12→11（広島テレビ） 31→54（テレビ新広島）
	尾道	103	80→1 （NHK総合） 4→10 （中国放送）● 35→24（広島ホームテレビ）	90→7 （NHK教育） 12→12（広島テレビ） 31→26（テレビ新広島）
	呉	104	80→11（NHK総合） 4→9 （中国放送）● 35→24（広島ホームテレビ）	90→1 （NHK教育） 12→5 （広島テレビ） 31→26（テレビ新広島）
山口	山口 （徳山・防府）	105	80→9 （NHK総合） 11→11（山口放送） 28→28（山口朝日放送）	90→1 （NHK教育） 38→38（テレビ山口）●
	下関	106	80→39（NHK総合） 11→4 （山口放送） 28→21（山口朝日放送）	90→41（NHK教育） 38→33（テレビ山口）●
	宇部	107	80→16（NHK総合） 11→18（山口放送） 28→31（山口朝日放送）	90→14（NHK教育） 38→20（テレビ山口）●
	岩国	108	80→9 （NHK総合） 11→11（山口放送） 28→28（山口朝日放送）	90→1 （NHK教育） 38→22（テレビ山口）●
徳島	徳島	109	80→3 （NHK総合） 1→1 （四国放送） 6→6 （朝日放送）●	90→38（NHK教育） 4→4 （毎日放送）● 8→8 （関西テレビ）
香川	高松	110	80→37（NHK総合） 33→33（瀬戸内海放送） 11→29（山陽放送）● 23→19（テレビせとうち）	90→39（NHK教育） 9→41 （西日本放送） 35→31（岡山放送）
	丸亀	111	80→44（NHK総合） 33→42（瀬戸内海放送） 11→18（山陽放送）● 23→16（テレビせとうち）	90→40（NHK教育） 9→20 （西日本放送） 35→22（岡山放送）

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと表示チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
愛媛	**松山**	112	80→6 （NHK総合） 10→10（南海放送） 29→29（あいテレビ）•	90→2 （NHK教育） 37→37（愛媛放送） 25→25（愛媛朝日テレビ）
	新居浜	113	80→2 （NHK総合） 10→6 （南海放送） 29→27（あいテレビ）•	90→4 （NHK教育） 37→36（愛媛放送） 25→14（愛媛朝日テレビ）
	今治	114	80→32（NHK総合） 10→34（南海放送） 29→27（あいテレビ）•	90→30（NHK教育） 37→36（愛媛放送） 25→17（愛媛朝日テレビ）
	宇和島	115	80→6 （NHK総合） 10→10（南海放送） 29→34（あいテレビ）•	90→1 （NHK教育） 37→32（愛媛放送） 25→16（愛媛朝日テレビ）
高知	**高知**	116	80→4 （NHK総合） 8→8 （高知放送） 40→40（高知さんさんテレビ）	90→6 （NHK教育） 38→38（テレビ高知）•
福岡	**福岡**	117	80→3 （NHK総合） 4→4 （RKB毎日放送）• 9→9 （テレビ西日本） 19→19（TXN九州）	90→6 （NHK教育） 1→1 （九州朝日放送） 37→37（福岡放送）
	久留米	118	80→46（NHK総合） 4→48 （RKB毎日放送）• 9→60 （テレビ西日本） 19→14（TXN九州）	90→54（NHK教育） 1→57 （九州朝日放送） 37→52（福岡放送）
	大牟田	119	80→53（NHK総合） 4→61 （RKB毎日放送）• 9→55 （テレビ西日本） 19→19（TXN九州）	90→50（NHK教育） 1→58 （九州朝日放送） 37→43（福岡放送）
	北九州	120	80→6 （NHK総合） 4→8 （RKB毎日放送）• 9→10 （テレビ西日本） 19→23（TXN九州）	90→12（NHK教育） 1→2 （九州朝日放送） 37→35（福岡放送）
	行橋	121	80→49（NHK総合） 4→60 （RKB毎日放送）• 9→54 （テレビ西日本） 19→19（TXN九州）	90→46（NHK教育） 1→57 （九州朝日放送） 37→43（福岡放送）
佐賀	**佐賀**	122	80→38（NHK総合） 36→36（サガテレビ） 37→52（福岡放送） 4→48 （RKB毎日放送）•	90→40（NHK教育） 11→11（熊本放送） 19→14（TXN九州） 1→57 （九州朝日放送）
長崎	**長崎**	123	80→3 （NHK総合） 5→5 （長崎放送）• 27→27（長崎文化放送）	90→1 （NHK教育） 37→37（テレビ長崎） 25→25（長崎国際テレビ）
	佐世保	124	80→8 （NHK総合） 5→10 （長崎放送）• 27→31（長崎文化放送）	90→2 （NHK教育） 37→35（テレビ長崎） 25→17（長崎国際テレビ）
	諫早	125	80→47（NHK総合） 5→49 （長崎放送）• 27→24（長崎文化放送）	90→45（NHK教育） 37→42（テレビ長崎） 25→20（長崎国際テレビ）
熊本	**熊本**	126	80→9 （NHK総合） 11→11（熊本放送）• 22→22（熊本県民テレビ）	90→2 （NHK教育） 34→34（テレビ熊本） 16→16（熊本朝日放送）
大分	**大分**（別府）	127	80→3 （NHK総合） 5→5 （大分放送）• 24→24（大分朝日放送）	90→12（NHK教育） 36→36（テレビ大分）
	中津	128	80→48（NHK総合） 5→51 （大分放送）• 24→17（大分朝日放送）	90→45（NHK教育） 36→37（テレビ大分）
宮崎	**宮崎**	129	80→8 （NHK総合） 10→10（宮崎放送）•	90→12（NHK教育） 35→35（テレビ宮崎）
	延岡	130	80→4 （NHK総合） 10→6 （宮崎放送）•	90→2 （NHK教育） 35→39（テレビ宮崎）
鹿児島	**鹿児島**	131	80→3 （NHK総合） 1→1 （南日本放送）• 32→32（鹿児島放送）	90→5 （NHK教育） 38→38（鹿児島テレビ） 30→30（鹿児島読売テレビ）
	阿久根	132	80→8 （NHK総合） 1→10 （南日本放送）• 32→23（鹿児島放送）	90→12（NHK教育） 38→35（鹿児島テレビ） 30→17（鹿児島読売テレビ）
	鹿屋	133	80→4 （NHK総合） 1→6 （南日本放送）• 32→31（鹿児島放送）	90→2 （NHK教育） 38→33（鹿児島テレビ） 30→25（鹿児島読売テレビ）
沖縄	**沖縄**	134	80→2 （NHK総合） 10→10（琉球放送）• 28→28（琉球朝日放送）	90→12（NHK教育） 8→8 （沖縄テレビ）

主な仕様

システム

録画方式	MPEG-2
録音方式	Dolby Digital (256 kbps) MPEG-2 AAC
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
最大録画時間	約12時間（詳しくは「操作」編の「録画モードを選ぶ」をご覧ください。）
映像受信方式	周波数シンセサイザー方式
音声受信方式	スプリットキャリア方式
受信チャンネル	VHF：1～12チャンネル UHF：13～62チャンネル CATV：C13～C38チャンネル BS デジタルテレビ、BS ラジオ、BS 独立データの各チャンネル

入・出力端子

アンテナ入出力	地上波: VHF/UHF一軸、75Ω F型コネクター BS-IF: 75Ω F型コネクター（コンバーター用電源出力DC15V 最大4W、芯線側＋、オート/入/切、メニュー切り換え
映像入力	入力1/入力2の2系統、 ピンジャック 1Vp-p（75Ω不平衡）
S映像入力	入力1/入力2の2系統、4ピンミニDIN、 輝度信号：1Vp-p（75Ω不平衡） 色信号：バースト286mVp-p（75Ω不平衡）
映像出力	出力1/出力2の2系統、 ピンジャック 1Vp-p（75Ω不平衡）
S映像出力	出力1/出力2の2系統、4ピンミニDIN、 輝度信号：1Vp-p（75Ω不平衡） 色信号：バースト286mVp-p（75Ω不平衡）
コンポーネント映像出力	D1/D3/D4 ボタンにより切り換え、 14ピンマルチコネクター、 輝度信号：1Vp-p（75Ω不平衡、0.3V負同期つき） CR/CB信号：±350mVp-p（75Ω不平衡）
音声入力	入力1/入力2の2系統（左、右）、 ピンジャック 入力レベル：2Vrms （入力インピーダンス：22kΩ以上）
音声出力	出力1/出力2/出力3の3系統（左、右）、 ピンジャック 出力レベル：2Vrms （負荷インピーダンス：10kΩ）

次のページにつづく

主な仕様（つづき）

デジタル音声出力（光）	光出力コネクター、 出力レベル：-18dBm 発光波長：660nm
デジタル音声出力（同軸）	ピンジャック、 出力レベル：0.5Vp-p（75Ω終端）
i.LINK端子	2系統、IEEE1394準拠、4ピンコネクター、S200
電話回線端子	モデム通信速度：2400bps
DV入出力	1系統、IEEE1394準拠、4ピンコネクター、S100

電源部・その他

電源部	AC100V、50/60Hz
消費電力	65W（コンバーター用電源「切」時）
待機消費電力	9W（電源「切」時・表示窓「消灯」時）
時計方式	クォーツクロック
停電補償時間	1回 約1時間以内
許容動作温度	5℃～ 40℃
許容保存温度	－20℃ ～ 60℃
最大外形寸法	幅 430×高さ 135×奥行き 398mm（最大突起含む）
本体質量	約 14kg
付属リモコン	RMT-B001J 電源：DC 3V 単3形（R6）マンガン乾電池2個付属
付属品	11ページ参照

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。
症状が改善されないときは、お客様ご相談センターへご相談ください。連絡先は添付の「ソニーご相談窓口のご案内」または裏表紙をご覧ください。
この商品は、修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきますので、あらかじめご了承ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はBSデジタルハイビジョンチューナー内蔵デジタルビデオディスクレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保存しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店かサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- **型名：**BDZ-S77
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **再生していたディスクのタイトル名：**
- **再生していたディスクの種類**（BD、DVD、**ＣＤなど**）
- **お買い上げ年月日：**
- **お買い上げ店：**

This BS digital tuner-integrated digital video disc recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット/数字順

その他

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX…………………………………0466-31-2595

受付時間：月〜金曜日 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in Japan